山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社　竜巳一級建築設計事務所

図面番号	図面名	SCALE
Ａ－　１	図面リスト	―――
Ａ－　２	特記仕様書１	―――
Ａ－　３	特記仕様書２	―――
Ａ－　４	特記仕様書３	―――
Ａ－　５	特記仕様書４	―――
Ａ－　６	設計概要	―――
Ａ－　７	案内図・配置図	1:100
Ａ－　８	求積図・求積表・平均地盤面算定図・算定表	1:200
Ａ－　９	外部仕上表	―――
Ａ－１０	内部仕上表	―――
Ａ－１１	平面図	1:100
Ａ－１２	屋根伏図・法規チェック図	1:100
Ａ－１３	立面図１	1:100
Ａ－１４	立面図２	1:100
Ａ－１５	断面図	1:100
Ａ－１６	矩計図１	1:50
Ａ－１７	矩計図２	1:50
Ａ－１８	１階平面詳細図	1:50
Ａ－１９	２階平面詳細図	1:50
Ａ－２０	天井伏図	1:100
Ａ－２１	展開図１	1:50
Ａ－２２	展開図２	1:50
Ａ－２３	建具表１	1:50
Ａ－２４	建具表２	1:50
Ａ－２５	部分詳細図１	1:5･1:10･1:20
Ａ－２６	部分詳細図２	1:5･1:10･1:20
Ａ－２７	部分詳細図３	1:10
Ａ－２８	キッチン詳細図	1:30
Ａ－２９	ユニットバス詳細図	1:30
Ａ－３０	洗面化粧台詳細図	1:20
Ａ－３１	外構図	1:100
Ａ－３２	外構詳細図	1:10･1:30
Ａ－３３	解体図	1:100
Ａ－３４	仮設計画図	1:150

図面番号	図面名	SCALE
Ｓ－　１	構造設計標準仕様	―――
Ｓ－　２	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図１	―――
Ｓ－　３	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図２	―――
Ｓ－　４	基礎伏図	1:100
Ｓ－　５	梁伏図	1:100
Ｓ－　６	軸組図１	1:100
Ｓ－　７	軸組図２	1:100
Ｓ－　８	基礎詳細図	1:40
Ｓ－　９	梁リスト図	1:40
Ｓ－１０	壁・床リスト図	1:40
Ｓ－１１	１階平面配筋図	1:40
Ｓ－１２	２階平面配筋図	1:40
Ｓ－１３	ラーメン配筋図	1:40
Ｓ－１４	雑詳細図	1:40

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

平成　　年　　月(全　　枚)

仕様書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所

敷地所在地	山梨県韮崎市旭町上條南割字外御勅使3314-13の一部

2. 敷地面積

敷地面積	221.55㎡

3. 工事種目　　図示の内容全て

4. 工事範囲

※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。

・「3. 工事種目」のうち＿＿＿＿＿＿の工事範囲は下記表のとおりとする。

ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

2 仮設工事	
3 土工事	
4 地業工事	
5 鉄筋工事	
6 コンクリート工事	
7 鉄骨工事	
8 コンクリートブロック・ALCパネル押出成形セメント板工事	
9 防水工事	
10 石工事	
11 タイル工事	
12 木工事	
13 屋根及びとい工事	
14 金属工事	
15 左官工事	
16 建具工事	
17 カーテンウォール工事	
18 塗装工事	
19 内装工事	
20 ユニット及びその他の工事	

Ⅱ　建築工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「標仕」という。）による。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。

⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

⊙ と ◎ 印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の（別　　）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。

(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。

(6) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	1 適用基準等	⊙建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修　最新版） ⊙工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ・ ・
	2 工事実績情報の登録	※適用する　(1.1.4)
	3 品質計画	・建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。　(1.2.2) ※風速（Vo＝30m/S　） ※地表面粗度区分（　・Ⅰ　・Ⅱ　・㊢　・Ⅳ） ・積雪区分　建告示第1455号　別表（　　） ・
	4 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　(1.3.3) ⊙要　　・不要
	5 条件明示項目	(1.3.5)
	6 発生材の処理等	※現場説明書による　⊙構外搬出適切処理　(1.3.8)
	7 建築材料等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、ＪＩＳ及びＪＡＳマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（１）～（６）の事項を満たすものとする。 （1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること （2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること （3）安定的な供給が可能であること （4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること （6）販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会　他）が発行する資料等の写しを監督員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受ける。
	8 化学物質を放散する建築材料等	建築材料の使用制限 建築材料等について、規制の対象となる範囲は下地、仕上げ材共にＦ☆☆☆☆または規制対象外の建材を用いることとし、該当する材料が無い場合は監督員の承諾を受けＦ☆☆☆のものを採用する。
	9 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	10 技能士	(1.5.2)

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	⊙鉄筋施工（鉄筋組立て作業）
コンクリート工事	⊙型枠施工
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築　・ALCパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業　⊙合成ゴム系シート防水工事作業 ・塗膜防水工事作業　⊙シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り施工）
タイル工事	・タイル張り
木工事	⊙建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装板金作業）
金属工事	⊙内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	⊙左官
建具工事	⊙サッシ施工　⊙ガラス施工　・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	⊙塗装（建築塗装作業）
内装工事	⊙プラスチック系床仕上げ工事作業 ⊙ボード仕上げ工事作業　⊙表装（壁装作業）
植栽工事（別途工事）	⊙造園

1 一般共通事項	11 電子納品	⊙工事関係図書を電子納品すること ⊙適用基準は以下の通りとする。　（作成・納品の基準、納品する資料の範囲等） ⊙山梨県県土整備部　電子納品要領（最新版） ⊙書面による署名及び捺印の取り扱い（電子成果物の原本性保証に関する処置） 電子納品の導入にあたっては、従来の署名または捺印に代わる措置として、 電子署名の導入が求められるが、電子署名の導入は現時点では困難であるため、 1）　受注者は電子媒体の内容の原本性を照明するために、電子媒体に署名又は捺印の上、提出する。 2）　共通仕様書に基づく各書面に対する署名又は捺印は、 上記１） の措置を持って 代えることができる ⊙設計図CADデータ貸与する。 ⊙設計図CADデータの著作権は以下の者にある 貸与するCADデータを当該工事における施工図面又は完成図の作図のため以外に使用してはならない。 （有）竜巳一級建築設計事務所
	12 化学物質の濃度測定	(1.5.9) 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの５物質について測定し、厚生労働省で定める指針値以下の濃度であることを確認し、測定結果報告書を監督員に提出すること。（測定結果が指針値を超えた場合は、発生源を特定し、換気などの措置を講じた後、再度測定を行う。）

測定対象科学物質	厚生労働省の指針値（25℃の場合）
ホルムアルデヒド	0.08 ppm（　100μg/m³）
トルエン	0.07 ppm（　260μg/m³）
キシレン	0.20 ppm（　870μg/m³）
エチルベンゼン	0.88 ppm（ 3,800μg/m³）
スチレン	0.05 ppm（　220μg/m³）

測定はパッシブ型採取機器により行う。
着工前の測定　　・行う
測定対象室　・図示　⊙ 洋室
測定箇所数　・図示　⊙ 2箇所
測定結果の報告

1 一般共通事項	13 完成図等	※作成する　・作成しない　(1.7.1～3)　(表1.7.1) ※完成図　提出部数　※各2部　・　部（A3版第2原図及び電子媒体（CD-R）） ※施工計画書　提出部数　※1部　・　部 ※施工図　提出部数　※1部　・　部 ※保全に関する資料　提出部数　※2部　・　部
	14 完成写真	下記のものを監督員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ（mm）
⊙カラー ※キャビネ版 ※べた焼 （他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出）	外部（ 5 ）内部（ 10 ）	※ 2	※100×125以上 ・
⊙竣工パネル A3アルミ額縁入り	外部（　）内部（　）	※ 1	
・電子データ	外部（　）内部（　）	※ 2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原板を使う場合は、監督員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。
電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者　※監督員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）

1 一般共通事項	15 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。
	16 設計ＧＬ	図示
	17 工事写真	⊙山梨県県土整備部　電子納品要領（最新版）
2 仮設工事	1 監督員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。　(2.3.1)
	2 工事用水	構内既存の施設を有償にて利用できる。　(2.3.1)
	3 工事用電力	電気工事にて仮設電源を確保する。　(2.3.1)
3 土工事	1 埋戻し及び盛土	種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　(3.2.3)　(表3.2.1) ・建設汚泥から再生した処理土　G
	2 建設発生土の処理	構外搬出適切処理とする。　(3.2.5)
4 地業工事	1 既製コンクリート杭地業	種類　(4.3.1～2) ※高強度プレストレストコンクリート杭 ・

	杭径（mm）	杭長（m）及び種別	継手数	セット数	備考
試験杭					
本　杭		構造図による。			

杭頭の処理　※切断しない　・　(4.3.7)
先端部形状　※開放形　・閉そく平たん形　(4.3.2)
杭の継手　建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。　(4.3.6)
施工法　(4.3.3～5)
・特定埋込み杭工法
工法　・プレボーリング拡大根固め工法　・中堀拡大根固め工法
H13国交告1113号第6による支持力算定式でα=250程度を採用できる工法
杭周固定液　・使用する
・
セメントの種類　6章コンクリート工事のセメントの種類による

1 一般共通事項	2 場所打ちコンクリート杭地業	コンクリートの種別及び設計基準強度　(4.5.3)　(表4.5.1) （　）種かつ（　）Ｎ/mm²以上 鉄筋の種類　5章鉄筋工事の鉄筋の種類による　(4.5.3) 掘削工法　・アースドリル工法（・安定液使用　・無水掘削）　(4.5.4) ・リバース工法 ・オールケーシング工法（孔内の水張　・行う　・行わない） ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法　(4.5.5) ・拡底杭工法（※安定液使用　・　　） 側壁測定　・行う（　　）　・行わない　(4.5.4) セメントの種類　6章コンクリート工事のセメントの種類による
	3 砂利地業	※再生クラッシャラン　G　・切込み砂利及び切込み砕石　(4.6.3)
	4 床下防湿層	施工箇所　※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下　(4.6.6)
5 鉄筋工事	1 鉄筋の種類	(5.2.1)　(表5.2.1)

種類の記号	呼び名（mm）
⊙SD295A	※D16以下　・
⊙SD345	※D19以上　・

5 鉄筋工事	2 鉄筋の継手	呼び名19mm以上の柱、梁の主筋　※ガス圧接　・重ね継手　(5.3.4)
	3 鉄筋の最小かぶり厚さ	最小かぶり厚さは目地底から算定する。　(5.3.5) ・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所	標仕表5.3.6の値に加える寸法（mm）
・柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面	※10　・
・	

5 鉄筋工事	4 既製コンクリート杭の杭頭補強	・Ａ形　・Ｂ形　※図示　(5.3.1)　(別1.1)
	5 最上階柱頭補強	※行う　・行わない　(別2.1)
	6 帯筋	※Ｈ形（口は除く）　(別2.2)
	7 壁開口部の補強	一般壁　・Ａ形　※Ｂ形　⊙図示　(別4.2)　(別表4.3～4) 耐震壁　※図示
	8 梁貫通孔の補強形式	※Ｈ形　・ＭＨ形　・Ｍ形　(別7.1)　(別表7.1～3)
	9 機械吊上げ用フック	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種（　　ヶ所）　⊙支給品　(別7.3)
	10 圧接完了後の試験	※超音波探傷試験　・引張試験　(5.4.9)
6 コンクリート工事	1 普通コンクリートの設計基準強度	(6.1.4)

設計基準強度Ｆｃ（Ｎ/mm²）	施工箇所
◎ 21	建物躯体
⊙ 21	土間コンクリート
⊙ 18	捨コンクリート
⊙ 18	押えコンクリート

6 コンクリート工事	2 レディーミクストコンクリートの類別	※Ⅰ類　・Ⅱ類　(6.1.5)　(6.4.1～2)　(表6.1.1)
	3 スランプ	工作物のスランプ　15又は18cm　(6.2.3)
	4 セメントの種類	(6.3.2)　(6.13.2)　(6.16.2)　(表6.3.1) ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種 ・高炉セメントＢ種　G　（・　　）

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱	7 d	352 J/g 以下
	28 d	402 J/g 以下

6 コンクリート工事	5 骨材の種類	アルカリシリカ反応による区分　(6.3.3)　(6.5.4) ※Ａ ・Ｂ（※コンクリート中のアルカリ総量Ｒt＝3.0kg/m³以下）
	6 混和材料	混和剤　※ＡＥ減水剤
	7 無筋コンクリート	設計基準強度　※18Ｎ/mm²　・15Ｎ/mm²　(6.14.3)
	8 コンクリート躯体表面の処理	外装タイル後張り面の躯体表面の処理 MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧50N/mm²以上かつ、2.5分/m²以上とし、施工計画書を監督員に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督員に承諾を受ける。 コンクリートの増打ち厚さ　※20mm ※施工範囲は図示による。
	9 断熱材兼用型枠	適用及び適用個所について 標仕19章内装工事14断熱材による。

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社　竜巳一級建築設計事務所
〒400－0827　山梨県甲府市湯沢１丁目１７番２４号
ＴＥＬ　０５５（２３５）４１００　ＦＡＸ　０５５（２２７）９４００
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

特記仕様書１

DATE

NO. Ａ－２

7 鉄骨工事

1 鉄骨の製作工場　(7.1.3)

製作工場の加工能力
・監督職員の承諾する製作工場
・建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（　）グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。

入熱、パス間温度の溶接条件
適用箇所　・図示　・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件
※図示　・

2 施工管理技術者　適用する　(7.1.4)

3 鋼材　(7.2.1)　(7.2.10)　(表7.2.1)

種類の記号	使用箇所	規格等

4 スカラップ　・改良型スカラップ　・ノンスカラップ

5 エンドタブ　鋼製エンドタブ
切断する個所（　）

6 高力ボルト　※トルシア形高力ボルト　・JIS形高力ボルト　・溶融亜鉛めっき高力ボルト　(7.2.2)　(7.12.4)

7 溶接部の試験　AQL　※4.0%　・2.5%　(7.6.11)
検査水準　※第6水準　・図示　(7.6.11)　(表7.6.2)

試験の種別	試験箇所	試験方法
※超音波探傷試験	完全溶込み溶接部	※標仕7.6.11（b）による ・図示
・放射線試験		
・マクロ試験		

8 耐火被覆　(7.9.2～6)

種　別		所要性能及び適用構造部位
・ラス張りモルタル塗り		
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
	・	
・耐火板張り		

9 アンカーボルトの保持及び埋込み工法　・構造用アンカーボルト　（※図示　・　）
・建方用アンカーボルト　（・A種　※B種　・C種）　(7.10.3)　(表7.10.1)

10 柱底均しモルタル工法　※A種　・B種　(7.2.9)　(7.10.3)　(表7.10.2)

無収縮モルタル

混和材	セメント系（膨化カルシウム及びカルシウムサルフォネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメント	JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通または早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。
配合比	（各重量比） （セメント＋混和材）：砂＝1：1

無収縮モルタルの品質及び試験方法

コンシステンシー	Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値は　8±2秒
ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率　：　2.0%以下
凝結時間	凝結開始時間　1時間以上 終結時間　10時間以内
無収縮性	材齢7日　収縮しないこと
圧縮強度	材齢3日　25.0N/mm²以上 材齢28日　45.0N/mm²以上
付着強度	材齢28日　3.0N/mm²以上
塩化物量	0.30kg/m³以下
試験方法	1）日本道路公団規格（ＪＨＳ）「無収縮モルタル品質管理試験方法」312-1992による。 2）塩化物量は、JIS A 5308「レディミクストコンクリート」付属書5（規定）「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

11 溶融亜鉛めっき工法　(7.12.3)　(表14.2.2)

亜鉛めっきの種別	材　料	適用部位
A種	最低板厚4.5mm以上の形鋼、鋼板	鉄骨階段（外構）
B種	最低板厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板	
C種	普通ボルト、アンカーボルト 最低板厚2.2mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	

素地ごしらえは、JIS H 9124溶融亜鉛めっき作業指針による。

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造　※空洞ブロック16　・空洞ブロック16－W　(8.2.2)

2 コンクリートブロック帳壁及び塀　※標仕表8.3.1及び下表による　(8.3.2)

適用箇所		厚さ（mm）
・間仕切壁　・地下二重壁　・外壁		・100　・150
・塀	高さ 2m以下	・120
	高さ 2mを超える	・150
・衛生配管用裏積みブロック		・100
		・

3 ＡＬＣパネル　(8.4.2～6)　(表8.4.3～4)

種　類	単位荷重（N/m²）	厚さ（mm）	取付け工法種別
・外壁パネル	・1180　・1960	※100　・	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
・間仕切壁パネル		※100　・	・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種
・屋根パネル	・980	※100　・	※標仕8.4.6による
・床パネル	・2350　・3530	・100　・150	

・床パネルの耐火性能（・1時間　・2時間）

4 押出成形セメント板（ECP）　(8.5.2～6)　(表8.5.1～2)

種　類	表面形状	厚さ（mm）	幅（mm）	工法種別
・外壁パネル	※Ｆ　・Ｆ－Ｒ			・Ａ種 ・Ｂ種
	・Ｄ　・Ｄ－Ｒ			
	・Ｔ　・Ｔ－Ｒ			
・間仕切パネル	※Ｆ　・Ｆ－Ｒ			・Ｂ種 ・Ｃ種
	・Ｄ　・Ｄ－Ｒ			
	・Ｔ　・Ｔ－Ｒ			

耐火性能　・有り（　）
・無し

9 防水工事

1 アスファルト防水　(9.2.2～3)　(表9.2.3～8)

種　別	施工箇所
※ＡＩ－２	
・Ａ－２	
・Ｄ－２	
・Ｅ－２	浴室床及び腰壁
・	

アスファルト　※３種　・４種　(9.2.2)
断熱工法の断熱材　厚さ（mm）　※25　・　(9.2.2)
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護
・乾式保護材　※押出成形セメント板（厚さ　15mm）　(9.2.5)

2 改質アスファルトシート防水　(9.3.2～4)　(表9.3.1)

種　別	・ＡＳ－１　・ＡＳ－２	厚　さ	（　）
施工箇所	・		

3 合成高分子系ルーフィングシート防水　(9.4.2～3)　(表9.4.1)

種　別	厚さ（mm）	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類
⓪Ｓ－Ｆ１	※1.2　・1.5	屋上	・シルバー	※歩行
・Ｓ－Ｆ２	※2.0　・1.5		・カラー	⓪飛火試験 合格品
・Ｓ－Ｍ１	※1.5　・			
・Ｓ－Ｍ２	※1.5　・			
・Ｓ－Ｍ３	※1.2　・			

4 塗膜防水　(9.5.2～3)　(表9.5.1～2)

種　別	施工個所	備　考
・Ｘ－１		仕上げ塗料塗り
・Ｘ－２		・シルバー
		・カラー
・Ｙ－１		Ｙ－２工法の保護シート
・Ｙ－２		※適用する　・適用しない

脱気装置
・設ける　材質（　）　設置数量（　m²当たり１箇所）

5 シーリング　下表以外は、標仕表9.6.1による　(9.6.2)　(表9.6.1)

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

10 石工事

1 天然石張り　石の種類・表面仕上げ　(10.2.1)　(表10.2.1～2)

施工箇所	種　類	産地・名称	厚さ（mm）	仕上げの種類

2 テラゾ張り　種石の種類　※大理石　・　(10.2.1)　(表10.2.2)
表面仕上げ　※本磨き　・
形状・寸法　※図示

3 壁の石張り工法　外壁石張り　(10.3.2～3)　(10.5.2～3)
工法
・外壁湿式工法（※流し筋工法　・　）
・乾式工法
石裏面処理　・行う（・小口共）
裏打ち処理　・行う
ドレインパイプ　※ステンレスSUS304　・

内壁石張り　(10.4.2～3)　(10.5.2～3)
工法
・内壁空積工法（※あと施工アンカー横筋流し工法　・あと施工アンカー工法）
・乾式工法
裏打ち処理　・行う

4 床及び階段の石張り　床石張りの裏面処理　・行う　(10.6.2)
屋内のワックス掛け　・行う　(10.1.5)

11 タイル工事

1 陶磁器質タイル　タイルの種類　(11.2.1)

施工箇所	形状寸法（mm）	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	再生材の適用 G	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　）

2 張り付け用材料　既成調合モルタル（仕上げ表の仕様により合成樹脂を添加する）

保水率（%）	単位容積質量（kg/l）	接着強さ（N/mm²） 標準時	接着強さ（N/mm²） 温冷繰返し後	長さ変化率（%）	曲げ強さ（N/mm²）
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種　(11.2.3)

3 壁タイル張りの工法　内装タイル　※壁タイル接着剤張り　・積上げ張り　(11.3.3)　(表11.3.2)

外装タイル　※密着張り　・マスク張り
躯体表面の処理　・行わない　※行う（施工範囲　※図示　・　）
躯体表面の処理方法　ＭＣＲ工法又は目荒し工法（６章コンクリート工事）
下地モルタル塗り　※標仕15.2.2～15.2.5（仕上げ表の仕様により合成樹脂を添加する）
タイルの試験張り　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　）　(11.2.1)

4 陶磁器質タイル型枠先付け工法　(11.2.2)　(11.4.2)　(表11.4.1)

種　別	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板
※タイルシート法	・小口タイル	※標仕6.9.3［材料］(b)（2）又は
・目地樹工法	・二丁掛タイル	金属製タイル先付け用パネル
・桟木法	大型タイル	・

12 木工事

1 木材の品質　※標仕12.2.1　・市販品　(12.2.1)
・保存処理木材を適用する箇所（　）

2 樹種　※標仕表12.2.3による　(12.2.1)　(表12.2.3)
・代用樹種を適用しない箇所（　）

3 集成材等 G　(12.2.2)

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	⓪たも　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	・１種　※２種　・３種	・	
・造作用集成材	※１等　・２等	・	
・化粧ばり造作用集成材	※１等　・２等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

4 接着剤　接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。　(12.2.6)
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤（以下、「フィブグ樹脂等」という。）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種

5 防腐・防蟻処理　行う箇所（　）
防腐処理　※行う（※図示　・　）　(12.2.8)
防蟻処理　・行う（※図示　・　）　(12.2.9)
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤（防腐・防蟻剤）は監督職員の承諾するものとする。

6 床板張り　フローリング及び縁甲板張り床　(12.7.1)　(表12.7.1)

下張り用床板	※無し		
	⓪有り	※合板張り	ホルムアルデヒドの放散量
		⓪図示	※規制対象外　・第三種
		・板張り	
床板	※複層フローリング（標仕19.5.2による）		ホルムアルデヒドの放散量
			※規制対象外　・第三種
	・縁甲板		※ひのき　・

13 屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺　(13.2.2～3)　(表13.2.1)

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚（mm）
・縦ハゼ葺き	※塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150）	※0.35 ・0.40
（断熱ボード付）	・	

2 折板葺　(13.3.2～3)　(表13.2.1)

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形状（mm）	山高（　）　山ピッチ（　）　板厚※0.6　・0.8
材　料（規格等）	※塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150） ・塗装亜鉛めっき鋼板
軒先面戸板	※有り　・無し
断　熱　材	※有り（種別：　厚さ：　4　mm）　・無し
耐火性能	※30分耐火　・無し

3 とい　材　種　※配管用鋼管　・硬質塩化ビニル管　(13.5.2)　(表13.5.1)
⓪アルミニウム管

鋼管製といの防露　※標仕表13.5.5による　(13.5.3)　(表13.5.5)
防露材のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種
掃　除　口　※有り　・無し

14 金属工事

1 ステンレスの表面仕上げ　(14.2.1)

種　類	施工箇所
※ＨＬ程度	下記以外の見え掛かり全て
・No.２Ｂ程度	
・鏡面仕上げ	
・	

2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理　(14.2.2)　(表14.2.1)

種　別	施工箇所
⓪Ｂ－１種（無着色）	
・Ｂ－２種（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）	
・	

3 鉄の亜鉛めっき　(14.2.3)　(表14.2.2)

表面処理方法	種　別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・Ａ種	
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
電気亜鉛めっき	・Ｄ種	
	・Ｅ種	
	・Ｆ種	

4 金属成形板張り　(14.6.2)　(表14.2.1)

形　状	製　法	材　種	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面処理
・スパンドレル形	・押出し ・ロール	※アルミニウム製 ・			・Ｂ－１種 ・Ｂ－２種（　） ・
・パネル形	※プレス ・				

伸縮調整継手　※設けない　・設ける（施工箇所は図示）

5 アルミニウム製笠木　(14.7.2)　(表14.2.1)　(表14.7.1)

種　類	呼称肉厚（mm）	表面処理	固定間隔	備　考
・250形	1.6以上	※Ａ－１又は Ｂ－１種 ・Ｂ－２種 （　）	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	1.8以上			
・350形	2.0以上			
・100形				
・				

6 手すり及びタラップ　(14.2.1)　(14.8.2～3)　(表14.2.2)

種　類	材料の種別	表面処理
手すり	※ステンレスSUS304	※ＨＬ程度　・鏡面程度　・塗装仕上げ
	⓪アルミ	亜鉛めっき　外部　※Ｃ種　・ 内部　※Ｅ種　・
タラップ	※ステンレスSUS304	※研磨無し　・
	・鉄	亜鉛めっき　内外部　※Ｃ種 ・

15 左官工事

1 モルタル塗り材料　吸水調整材　(15.2.2)

全面剥分（%）	吸水量（g）	接着強度（N/mm²）	界面破断率（%）
表示値±1.0	30分で1g以下	0.98以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）　(15.2.2)
防水剤の種類　建築用のモルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験において 始発　1時間以上 終結　10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。

2 床コンクリートの直均し仕上げ　下表以外は標仕表6.2.4及び標仕15.3.2による　(表6.2.4)　(15.3.1～2)

施工箇所	平たん さ（mm）	備　考

3 仕上塗材仕上げ　(15.5.2)　(表15.5.1)

種　類	呼び名	仕上げの形状等
⓪薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓｉ	・
	・可とう形外装薄塗材Ｓｉ	・
	⓪外装薄塗材Ｅ	⓪砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材Ｅ	・砂壁状じゅらく　・ゆず肌状
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・ゆず肌状　・さざ波状
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・ゆず肌状　・さざ波形　・凹凸状
	・外装薄塗材Ｓ	砂壁状
	・内装薄塗材Ｃ	・
	・内装薄塗材Ｌ	・
	・内装薄塗材Ｓｉ	・
	・内装薄塗材Ｗ	京壁状じゅらく
⓪複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ	・ゆず肌状　・凸部処理　※凹凸模様
	・可とう形複層塗材ＣＥ	耐候性　※3種　・
	・複層塗材Ｓｉ	上塗材
	・複層塗材Ｅ	溶媒　※水系　・溶剤系
	※複層塗材ＲＥ	樹脂　※アクリル系
	・複層塗材ＲＳ	・
	・防水形複層塗材ＣＥ	外観　※つやあり　・つやなし
	⓪防水形複層塗材Ｅ	・メタリック
	・防水形複層塗材ＲＥ	
	・防水形複層塗材ＲＳ	防水形の増塗材　※行う
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	平たん状

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種
防火材料の指定
※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社　竜巳一級建築設計事務所
〒400－0827　山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
ＴＥＬ　０５５（２３５）４１００　ＦＡＸ　０５５（２２７）９４００
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

特記仕様書２

DATE

NO. Ａ－３

⑯ 建具工事

1 見本の製作等
・特殊な建具の仮組（建具符号： ） (16.1.4)

② アルミニウム製建具
外部に面する建具 (16.2.2) (16.2.4) (表16.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
⊙A種	S－4	※A－3	※W－4	※70	※図示 ・
・B種	S－5	・	・	・	※図示 ・
・C種	S－6	A－4	W－5	100	※図示 ・

断熱等級 ⊙H－1以上 〈 0.215㎡・k／W以上 〉

表面処理 ※B－1種 ・B－2種（・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー） (表14.2.1)

屋内建具
表面処理 ※C－1種又はB－1種 (表14.2.1)
・C－2種又はB－2種（・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）

③ 網戸 (16.2.3)
網の種別 ※ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ⊙ステンレス製（SUS316）
形 式 ※外部可動式 ・固定式

④ 鋼製建具
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による (16.3.2) (表16.3.1)
耐風圧性の適用は建具表による
特定防火設備の戸 ・適用あり

5 鋼製軽量建具
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による (16.4.2)

6 ステンレス製建具
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による
耐風圧性の適用は建具表による
表面仕上げ ※HL程度 ・鏡面仕上げ ・ (16.5.4)
曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ（補強あり） (16.5.5)
特定防火設備の戸 ・適用あり (表16.5.1)

7 自動ドア開閉装置 (16.8.2～3) (表16.8.1～3)

開閉方法	センサの種類
※スライディングドア ・スイングドア	・マットスイッチ ・電子マットスイッチ ※光線スイッチ ・音波スイッチ ・熱線スイッチ ・光電スイッチ

・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

8 自閉式上吊り引戸装置
品質規格 ※標仕表16.9.1による (16.9.2～3)
・製造所標準仕様による

⑨ 木製建具
かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ） (16.6.2)

ふすまの上張り (表16.6.3)
※新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く） ・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.6.2)
※規制対象外 ・第三種

⑩ 建具用金物
マスターキー ※製作する ・製作しない (16.7.4)
建具用金物 (16.3.6) (16.4.6)
錠類はシリンダー箱錠（レバーハンドル）とする
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督員の承諾を受ける (16.7.2)
吊金物
⊙丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）
・ピボットヒンジ
・フロアヒンジ

⑪ ガラス
※建具表による (16.13.2)
・ガラスブロック 標仕16.13.5による (16.13.5)

表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調	防火性能
・正方形	・145×145	・95	※図示	※無し
・長方形				・有り

⑫ ガラス留め材及び溝
ガラス留め材 (16.13.2) (表9.6.1)

建具の種類	材種
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。
板ガラスをはめ込む溝の大きさ (16.13.3)
標仕16.13.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会
JASS 17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を
監督員に提出する

13 ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D 1
・			

品質 JIS A 5759による

14 重量シャッター (16.10.2)

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能（ ）N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（ ）N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 (16.10.2) (表16.10.1)

危害防止機構
※障害物感知装置（自動閉鎖型）
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない (16.10.2)

15 軽量シャッター
開閉形式 ※手動式 ・上部電動式（手動併用） (16.11.2) (表16.11.1)

スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・鋼板 (16.11.3)
形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 (16.11.4)
ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm） (表16.11.2)
耐風圧性能 （ ）N/㎡

16 オーバーヘッドドア (16.12.2～3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	・溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	※ステンレス鋼板
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	（SUS304）
		・バーチカル形	

耐風圧性能 （ ）N/㎡

17 カーテンウォール工事

1 メタルカーテンウォール
設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。
カーテンウォール材料の種類 (17.2.2)

種類	規格等
※アルミニウム製	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による
・	・

カーテンウォール方式
・方立方式
・バックマリオン方式 （・単純2辺支持構法 ・SSG構法）
・スパンドレル方式
・パネル方式
・小型パネル組み合わせ方式 （・ノックダウン方式 ・ユニット方式）
シーリング材及びガラス取付け材料
下記以外は標仕表9.6.1による (9.6.2) (17.2.2) (表9.6.1)

被着体の組合せ		シーリング材の種別 記号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス			
	石、タイル			
ガラス	ガラス			

構造用ガスケット ※適用しない (17.2.2)
・適用する（施工箇所：図示 ）
断熱材 ※適用しない (17.2.2)
・適用する（種類： 厚さ（mm） ：施工箇所 ※図示 ）
製品の寸法許容差 ※標仕表17.2.1による (17.2.3) (表17.2.1)
・製造所標準製作規定寸法許容差による
アルミニウムの表面処理 (17.2.3) (表14.2.1)

種別	色彩等
・A－1種 ・B－1種	無着色
・A－2種 ・B－2種	※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー ・
・着色塗膜 塗装材料（ ）焼付け方法（ ）コート（ ）ベーク	

耐風圧性能 (17.1.3)
性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して
安全であること。
・正圧 N/㎡ 以上及び負圧 N/㎡ 以上に対して安全であること。
主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状態
※4m以下	※±（1/150）×h かつ絶対量20mm以下	※各部の破損、残留変形 有害な変形が起こらないこと
・4mを超える	・	

耐震性能 (17.1.3)
設計用震度 水平方向（Kh） ※1.0 ・
垂直方向（Kv） ※0.5 ・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上 ・	※部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上 ・	

水密性 ・W－4 ・W－5 ・ (17.1.3)
気密性 ・A－3 ・A－4 (17.1.3)
耐火性能 ※適用しない ・適用する（ 時間、施工箇所：図示）
映像誤整 ※行わない ・行う（建具表による）
製造所 性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける

2 PCカーテンウォール
設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS 14による。
コンクリートの種類及び品質 (17.3.2)
※標仕17.3.2による
・下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Fc）	所要スランプ（cm）

鉄筋 ※SD295A ・

取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質 (14.2.3) (表14.2.2)

金物種類及び部位	内部	外部
PC版打込み金物	※E種 ・	※A種 ・
PC版打込み取付けボルト	※E種 ・	※ステンレスボルト
2次ファスナー	※E種 ・	※A種 ・
取付けボルト	※E種 ・	※A種 ・
レベル調整ボルト	※E種 ・	※A種 ・
	・	・

上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による

シーリング材料
下記以外は標仕表9.6.1による (9.6.2) (17.3.2) (表9.6.1)

施工箇所	シーリング材の種別 記号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

断熱材 ※適用しない
・適用する （種類： 厚さ（mm） ：施工箇所 ※図示）
製品の寸法許容差 ※標仕表17.3.1による (17.3.3) (表17.3.1)
・製造所標準製作規定寸法許容差による
表面仕上げ （ ）

耐火材料

施工部位	種別	規格等
・ファスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

耐風圧性能 (17.1.3)
性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して
安全であること。
・正圧 N/㎡ 以上及び負圧 N/㎡ 以上に対して安全であること。
耐震性能 (17.1.3)
設計用震度 水平方向（Kh） ※1.0 ・
垂直方向（Kv） ※0.5 ・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上 ・	※部材が損傷せず、破損脱落もしない。ガラス等の破損もない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上 ・	

⑱ 塗装工事

① 材料
屋内の壁、天井仕上げ材は防火材料とする (18.1.3)
建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種

② 素地ごしらえ
木部の素地ごしらえの種別 (18.2.2) (表18.2.1)
種別 ※B種 ・A種（施工箇所： ）
鉄鋼面の素地ごしらえの種別 (18.2.3) (表18.2.2)
種別 ※C種 ・B種 ・A種（施工箇所： ）

亜鉛めっき面の素地ごしらえの種別 (18.2.4) (表18.2.3) (表18.3.4)

種別	施工部位及び塗料種別
A種	鋼製の建具及び、2液形ポリウレタンエナメル塗り、常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗りの場合
B種	A種、C種以外
C種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合

せっこうボード及びその他のボード面の素地ごしらえの種別 (18.2.7) (表18.2.7)
種別 ※B種 ・A種（施工箇所：図示による ）

3 床用塗料塗り
材質 ウレタン樹脂系塗料（※標準色 ・ ）
仕上種別 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ
塗布量 プライマー塗りのうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/㎡以上とする

4 防塵用塗料塗り
材質 溶剤系エポキシ樹脂塗料（※標準色 ・ ）
仕上種別 コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量 主剤2回塗とし、総塗布量は0.25kg/㎡以上とする。

⑲ 内装工事

① 接着剤 (19.2.2) (19.3.3)
壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種
※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

② ビニル床シート張り (19.2.2)

種類	JISの記号	色柄	厚さ（mm）
※発泡層のないもの	※NC ・	※無地 ・マーブル柄	※2.0
・発泡層のあるもの		※柄物 ・無地	※2.8
・			
・			

工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所： ） (19.2.3)

3 ビニル床タイル張り (19.2.2)

種類	JISの記号	厚さ（mm）	備考
※コンポジションビニル床タイル（半硬質）	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル（軟質）	CTS	・	
・ホモジニアスビニル床タイル	HT	・	

4 帯電防止床タイル張り (19.2.2)

種類	厚さ（mm）	性能
・コンポジションビニル床タイル	※2 ・	体積抵抗値（JIS K 6911による）
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は4.5	1.0X10⁷ Ω以下、または、
・	・	漏えい抵抗値（JIS A 1454による）
・	・	1.0X10¹⁰ Ω未満

5 ビニル幅木
高さ（mm） ※60 ・75 (19.2.2)

6 カーペット敷き
・織じゅうたん (19.3.3～4) (表19.3.1～2)

種別	パイル形状	色柄等	備考
・A種	・カットパイル	※無地	
・B種	・ループパイル	・柄物（標準品）	
・C種	・カット、ループパイル併用	・	

耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・

・タフテッドカーペット (19.3.3～4) (表19.3.2)

パイル形状	パイル長（mm）	工法	備考
・カットパイル	※5～7 ・	※全面接着工法	
・ループパイル	※4～6 ・	・グリッパー工法	
・レベルループパイル	※4 ・		
・カット、ループ併用	・		

耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・

・タイルカーペット (19.3.3) (表19.3.2)

パイル形状	種類	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

耐電性 ・人体帯電圧3kV以下（フリーアクセスフロア敷設範囲）

7 合成樹脂塗床 (19.4.2～3) (表19.4.1～7)

種別	仕上げの種類
・弾性ウレタン塗床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗床材	※薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑 ・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑 ・防滑） ・防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 (19.4.2)
※規制対象外 ・第三種

⑧ フローリング張り (19.5.2～7) (表19.5.1～4)

種別	樹種	工法	仕上げ塗装等	備考
※天然木化粧複合フローリング	※なら	※釘どめ工法（C種）	※塗装品	
・県産材複フローリング	・ひのき		・無塗装品	
・	・	・	・	
	・	・	・	

ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 (19.5.2)

9 畳敷き (19.6.2) (表19.6.1)

下地の種類	畳の種別
標仕表12.5.1による床組	※B種 ・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種 ・

畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする

10 ポリスチレンフォーム床下地材
畳下地 厚さ（mm） ※40 ・65 ・80
フローリング類 厚さ（mm） ※80 ・95

⑪ せっこうボード その他のボード張り (19.7.2) (表19.7.1)

種類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25 ・
・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25 ・
・けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2（無石綿）（・6 ・8 ・ ）
・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ（※9（不燃）・12 ・ ） ・凹凸タイプ（※12（不燃）・15・19・ ）
・ロックウール化粧吸音板（軒天井用）	DR DR（凹凸） DR（軒天） DR（軒天凹凸）	※フラットタイプ 9（不燃） ・凹凸タイプ（※12 ・15）（不燃）
⊙せっこうボード	GB－R	※12.5（不燃） ⊙9.5（準不燃）
・不燃積層せっこうボード	GB－NC	9.5（不燃） 化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
⊙シージングせっこうボード	GB－S	12.5（不燃）
・強化せっこうボード	GB－F	12.5（不燃） 15.0（不燃） 21.0（不燃）
・せっこうラスボード	GB－L	9.5
・化粧せっこうボード（木目）	GB－D	9.5（不燃）幅440mm程度 模様（※柾目 ・板目） 専用下地材付き
・難燃合板		・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による 厚さ1.2
・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・3 ・7 ・9 ・12 ・
・単板張りパーティクルボード		・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18 ・
・ハードボード（素地）	HB	・無研磨板（・スタンダード ・テンパード） ・研磨板 （・スタンダード ・テンパード）
・インシュレーションボード	IB	A級（・天井仕上 ・内装仕上 ・ ） ・9 ・12 ・15 ・18 ・

合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
※適用する ・適用しない

12 吸音材 (表19.7.1)

種類	JISの記号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボード1号	RW－B	※25 ・
※グラスウール吸音ボード32K	GW－B	※25 ・

⑬ 壁紙張り (19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維（織物）	プラ（ビニル）	その他（化学繊維）	無機質	防火性能	備考
図示	・	・	⊙	・	・	・不燃⊙準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

素地ごしらえ (表18.2.4) (表18.2.7)
モルタル、プラスター面 ※B種 ・A種（施工箇所： ）
せっこうボード面 ※B種 ・A種（施工箇所： ）
壁紙のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 (19.8.2)

⑭ 断熱材 (19.9.2～3)

種類		施工箇所	厚さ（mm）	品質等
⊙押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25 ・100	特定フロンを使用しないもの
	※3種b（スキン層付）	・接地部分	⊙20	
		⊙床 土間 屋上	⊙40	
⊙現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	——	特定フロンを使用しないもの
		・一般部	※15	
		⊙図示	⊙20	難燃性
		製造所 性能の確認できる資料を監督職員に提出する		
・断熱材兼用型枠	・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	※壁（図示の範囲） ・	※40以下 ・	断熱抵抗 ＝厚さ/熱伝導率 ＝0.676以上 （㎡・k/W）
		製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの		

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した
断熱材のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

15 浴室天井材
市販品

材質	表面仕上げ	性能	幅（mm）	備考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	準不燃品	※200	回り縁は樋付きとし、製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	※塗装品		※300	
	・木目調		・200	

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400－0827 山梨県甲府市遊沢1丁目17番24号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第1－20603号
一級建築士登録第107852号 雨宮健一

CHECKED | DRAWN

特記仕様書 3

DATE

NO. A－4

20 ユニット及びその他の工事

1 フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高（mm）	適用地震時 水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備　考
事務スペース	・パネル構法		・1.0G	・3,000N	・帯電防止床タイル	
	・溝構法		・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット	
	・パネル構法		・1.0G	・3,000N	・帯電防止床タイル	
	・溝構法		・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット	
	・パネル構法		・1.0G	・3,000N	・帯電防止床タイル	
	・溝構法		・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。

表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付け対応　※製造所の標準仕様　（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数は図示
配線用取り出しパネル　配線取り出し開口：パネル１枚につき40mm×80mm程度の開口１ヶ所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30%　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

2 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ（mm）	表面材種 厚さ（mm）	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式	・６０	※鋼板 （※0.6　・0.8）	※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け	・あり （　　） ・なし	・あり ・なし

3 移動間仕切 (20.2.4)

遮音性能	厚さ（mm）	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ （36db以上）		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による
遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する

4 トイレブース
表面仕上げ材 (20.2.5)
※メラミン樹脂系化粧板（標準色　アルミ製コーナーエッジ付き）
・ポリエステル樹脂系化粧板
足形状　※幅木型　・足金物型

⑤ 階段滑止め
材　種　ステンレスSUS304 (20.2.6)
形　状　ビニルタイヤ無し
両端フラットエンド　※有り（・ステンレス製　※ビニル製）　○無し
幅（mm）　約35
取付け工法　※接着工法　○埋込み工法

⑥ 階段手すり

種　別	施工箇所
※集成材クリアラッカー仕上げ（市販品　径　約45mm）	
○アルミ製　φ34	階段

7 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

種　類	寸法（mm）	色　彩	備　考
・黒板	※焼付け	※緑　・黒	※平面　・曲面　・スクリーン付引分
		※緑　・黒	
・ホワイトボード	※ほうろう	図示	※白　※平面　・曲面　・スクリーン付引分

8 鏡
寸法（mm）　・図示　・ (20.2.9)
厚さ（mm）　※5　・

⑨ 表示標識
衝突防止表示 (20.2.10)
※図示（市販品　※ステンレス製　径約30mm　・　　）
（・両面　・片面）
○無し
表示標識、案内用図記号についてはJIS Z 8210による
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。

10 煙突用成形ライニング (20.2.11)
・煙突用成形ライニング材
最高使用温度　※650℃　・400℃

・キャスタブル耐火材
工　法　※こて押さえ
最高使用温度　※400℃

11 ブラインド (20.2.12)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅（mm）
※横型	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25
・縦型	・１本操作コード ・２本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

12 ロールスクリーン
防炎性能　※有り (20.2.13)

施工箇所	装　置 電動	装　置 手引	備　考
	・	・	
	・	・	
	・	・	

⑬ カーテン（別途工事） (20.2.14)

施工箇所	形　式 片引	形　式 引分	装　置 電動	装　置 ひも引	装　置 手引	ひだの種類	性　能	備　考
図示	・	○	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			

⑭ カーテンレール
材　種　※アルミニウム製　○ステンレス製 (20.2.14)
形　式　・片引き　○引分け（※縮幅用は300mm以上の召合せの重掛けとする）

15 ブラインドボックス及びカーテンボックス
・市販品（アルミニウム製　押出し型材）
溝幅×深さ（mm）　・90×150　※120×80　・120×150　・150×80　・
色彩　※Ｂ－１　・Ｂ－２（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
・図示

16 耐震スリット

方　向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向 ・水平方向	※完全（全貫通型）スリット	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し

目　地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	※20×10　・	※20×10　・

17 止水板
形　状　・据置式　・壁張り式　・差込式
寸　法
製造所

18 天井点検口
材　質　アルミニウム製（※額縁タイプ　・目地タイプ）

19 床点検口
材　質　アルミニウム製（受け枠　※アルミ製　・ステンレス製）

20 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ
・鋼製物品棚	JIS S 1040の規格による	※１種　・２種　・３種

21 かぎ箱
市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

22 くつふきマット
市販品
材　質　・塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製受枠）　・ビニル製（ステンレス製受枠）
・硬質アルミニウム製（受枠とも）　・ステンレス製（受枠とも）

23 流し台ユニット
○下記以外は図示による

種　類	寸法（L＝　mm）	適用内容	規格・品質等
・流し台	※1200　・1500　・1800	トラップ付き	※優良住宅部品
・コンロ台	※600　・700　・	バックガード　※有り	
・つり戸棚	※1200　・900　・450		・
・水切り棚	※1200　・900	ステンレス製　※１段式	※市販品

24 屋内掲示板
枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　○図示

25 洗面カウンター
材　種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・人工大理石
奥行き（mm）　・約450　・約600

26 防煙垂れ壁
・固定式

材　質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備　考
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種　類	材　質	高さ（mm）	備　考
・垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

27 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）
ブロックパターンはJIS T 9251による (19.2.2)
色彩は黄色を原則とする
屋　内　※塩化ビニル製　・磁器又はせっ器質タイル（※300　・　）
・レジンコンクリート製
屋　外　※レジンコンクリート製　・磁器又はせっ器質タイル（※300　・　）

28 旗竿
材　質　※アルミニウム合金製
形　式　※テーパー型　・同一断面型
地上高さ（m）　・6　・8　・10　・12
操作方法　※ハンドル式　・ロープ式
固定方法　・埋込式　・ベース式　・バンド式
製造所

29 旗竿受金物
材　種　ステンレス製SUS304

㉚ フェンス
・ビニル被覆エキスパンドフェンス
○樹脂塗装メッシュフェンス

31 屋外掲示板
照明器具　※有り　・無し
施　錠　※有り　・無し
製造所

32 車止め支柱
※ステンレス製（上下式鎖内蔵型）　径114.3mm　t＝2.5mm　Ｈ＝ＧＬ＋700mm
※スプリング付　・スプリング無し
・

㉝ 収納家具
材質　ポリフラッシュ合板
形状・寸法　※図示
ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

34 エキスパンション・ジョイント金物
材質　・アルミ　・ステンレス
クリアランス　・50　・100　・150　・170　・200
耐火性能　・有り（　1時間　）　・無し
防水型　※適用する　・適用しない

35 建築物緑化
屋上緑化システム　G
・管理方法による区分　・省管理型
質量の上限値　（　　）　kg/m²
かん水装置　・設ける（工事区分は図示）
透水層、保水層及び排水層等
保水層及び排水層の鉛直方向の排水性能：240 l/m²・h以上
耐荷重性能
省管理型：3×10²N/m²以上の載荷重で異常のないこと。
耐根層の材料
合成樹脂耐根シート（厚さ3mm以上）又は抗根性剤とする（耐根性能の実績を有すること）
植込み用土　製造所の仕様による
植栽の種類　製造所の指定するものとする
・管理方法による区分　・管理型

21 排水工事

1 排水管
排水管用材料 (21.2.1)（表21.2.1）(21.3.3)

材　種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（※１種　２種）	Ｂ形（ゴム接合）
・硬質塩化ビニル管	※ＶＰ　・ＶＵ	
・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管	・ＲＥＰ－ＶＵ　G	

車道部の排水管の敷設 (21.3.1)（21.3.3)
※図示
・砂基礎（地業厚さ20cm以上　材料　山砂の類）

2 排水桝及びふた
鋳鉄製マンホールふた (21.2.2)

種　類	適用荷重
・水封形　・密閉形（テーパー・パッキン式） ・簡易気密形（パッキン式）　・中ふた付密閉形	・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－１４用 ・Ｔ－２０用

グレーチングふた (21.2.2)

材　質	形　式	種　類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
・鋼製 ・ステンレス製	※受枠付き ・ ボルト固定 ※無し ・図示	・溝ふた用 ・桝ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用	・歩行用 ・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－１４用 ・Ｔ－２５用	※細目 ※普通目 ・細目	※凹凸形 ※平形 ・ ・凹凸形

3 埋戻し土
※Ｂ種　・ (21.2.3)（表3.2.1）

4 浸透管及び浸透桝
製造所

22 舗装工事

① 盛り土に用いる材料
・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 (22.2.3)（表3.2.1）

2 遮断層及び凍上抑制層の材料
・遮断層　※川砂、海砂又良質な山砂　・ (22.2.2～3)
厚さは図示
・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切り込み砂利　・砂
厚さは図示

3 路床安定処理
※添加材料による安定処理 (22.2.2～3)（表22.2.2）
種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントＢ種
・生石灰（　　）　・消石灰（　　）
添加量　kg/m³（目標ＣＢＲ　※以上　・　　）

4 路床土の支持力比試験
※行う（※乱した土　・乱さない土） (22.2.5)

5 路床締固め度の試験
※行う (22.2.5)

6 路盤材料 G
※再生クラッシャラン（RC-40） (22.3.3)
・クラッシャラン（C-40）又はクラッシャランスラグ（CS-40）
透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの

7 アスファルト舗装 (22.4.2)（表22.4.1）

舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類
※アスファルト舗装	※無し　・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物
・カラー舗装	※無し　・有り	・

カラー舗装の着色骨材　・有色骨材（焼成）　・着色骨材（樹脂被覆）
アスファルト　※再生アスファルト G　・ストレートアスファルト

(22.4.3)
加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)（表22.4.6）

区分	※一般地域	・寒冷地域
表層	※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）	※密粒度アスファルト混合物（13F） ・細粒度ギャップアスファルト混合物（13F）
基層	・粗粒度アスファルト混合物（20）	

シールコート　※行わない　・行う（施工範囲：　　） (22.4.5)
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う (22.4.6)

⑧ コンクリート舗装
早強セメント　※使用しない　・使用する (22.5.3)
注入材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ (22.5.3)（表22.5.3）
溶接金網　※有り　・無し (22.5.3～4)
厚さ試験　※行わない　・行う (22.5.6)

9 透水性舗装
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う (22.6.6)（22.4.6）

10 排水性舗装
アスファルト混合物 (22.7.3)（表22.7.2）
・改質アスファルトⅠ型　※改質アスファルトⅡ型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (22.7.3)（表22.7.3）

適用時期	種　類
下記以外	ＰＫＲ－Ｔ１
冬期	ＰＫＲ－Ｔ２

アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う (22.7.6)

11 ブロック系舗装
・コンクリート平板舗装 (22.8.2～3)

種　類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材
※普通平板（Ｎ）　・カラー平板（Ｃ） ・洗出平板（Ｗ）　・擬石平板（Ｓ）	※300角 ・	※60 ・	※砂 ・モルタル

・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2～3)

種　類	厚さ（mm）	色彩及び表面加工等
※標準ブロック ・透水性ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック	車道部　※80　・ 歩道部　※60　・	※標準品 ・ 誘導、注意喚起用は黄色系とする
・植生ブロック	※80　・100	

インターロッキングブロック

項　目		品　質　・　性　能
材料	セメント	JIS R 5210ポルトランドセメント、JIS R 5211高炉セメント、JIS R 5212シリカセメント、JIS R 5213フライアッシュセメントト、白色ポルトランドセメントとする。
	骨材	清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない。
	混和材料	インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない。
	着色材料	無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつインターロッキングブロックの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。
外観		使用上有害なきず、ひびわれ、欠け、変形等がない。

寸法許容差（mm）	長　さ	幅	厚　さ
普通タイプ	±3	±3	±3
透水性タイプ	±3	±3	+5～－1
植生用タイプ	±3	±3	±3

曲げ強度（N/mm²）	普通タイプ	5.0以上
	透水性タイプ	3.0以上
	植生用タイプ	4.0以上
透水係数（cm/sec）	透水性タイプ	1×10⁻²以上
圧縮強度（N/mm²）	普通タイプ	32.0以上
	透水性タイプ	17.0以上

・舗石舗装 (22.8.2～3)

種　類	厚さ（mm）	施工方法	基　層
※小舗石（花こう岩）	※80～100　・	※うるこ張り	※コンクリート舗装
・	・	・	・アスファルト舗装

12 路面標示用塗料
JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅（mm）	布厚さ（mm）	揮発性有機溶剤の含有率
・１種 G	常温	液状	※白	※150	※1.0	塗料総質量に対して
・１種 G	加熱		・	・	・	5%以下
・３種１号	溶融	粉体状				

23 植栽工事（別途工事）

① 樹木の植栽基盤整備
芝及び地被類 (23.2.2～3)（表23.2.1～2）

適　用	有効土層の厚さ（cm）	工　法	整備範囲
※行う　・行わない	※20	※Ｂ種	※植栽範囲　・図示

樹木 (23.2.2～3)（表23.2.1～2）

樹木の樹高（m）	有効土層の厚さ（cm）	工　法	整備範囲
・12以上	※100　・	※Ａ種	○芝張りの範囲
・7超～12未満	※80　・	・Ｂ種	ただし、低木は植栽範囲
・3超～7以下	※60　・	○Ｃ種	・図示
○3以下	※50　・	・Ｄ種	

工法Ｄ種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

② 植込み用土
※現場発生土の良質土　○客土（※畑土　・黒土） (23.2.3)

3 土壌改良材 G
※適用する (23.2.3～4)
施工箇所　※植栽範囲　・図示

パークたい肥
有機物の含有量（乾物）　：70%以上
炭素窒素比（C/N比）　：35以下
陽イオン交換容量（乾物）　：70meq/100g以上
pH　：5.5～7.5
水分　：55～65%
幼植物試験の結果　：生育阻害その他の異常を認めない
窒素全量（現物）　：0.5%以上
りん酸全量（現物）　：0.2%以下
加里全量（現物）　：0.1%以上

発酵下水汚泥コンポスト
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする
ひ素　：0.005%以下
カドミウム　：0.0005%以下
水銀　：0.0002%以下
ニッケル　：0.03%以下
クロム　：0.05%以下
鉛　：0.01%以下
有機物の含有量（乾物）　：35%以上
炭素窒素比（C/N比）　：20以下
pH　：8.5以下
水分　：50%以下
窒素全量（現物）　：0.8%以上
りん酸全量（現物）　：1.0%以上
アルカリ分（現物）　：15%以下

④ 支柱材
※杉の焼丸太（間伐材） G　・真竹 (23.3.2)

5 幹巻き用材料
※幹巻き用テープ　・わら及びこも (23.3.2)

6 芝張り
種類　・こうらい芝　・野芝 (23.4.2)

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400－0827 山梨県甲府市遊沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

特記仕様書４

DATE

NO. Ａ－５

1. 工事名称

工事名称	山梨県立北病院医師宿舎新築工事
建設地	（地名地番） 山梨県韮崎市旭町上條南割字外御勅使3314-13の一部
主要用途	共同住宅
工事種別	[新築] ・ 増築 ・ 別棟増築 ・ 改築 ・ 改修（大規模の修繕） ・ 室内装飾 用途変更（大規模の模様替） ・ 仮設建築 ・ 解体 ・ 移設 ・ 移転

建築主	山梨県韮崎市旭町上條南割3314-13
住所・氏名	地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立北病院長　藤井　康男 〒　407 － 0046　TEL 0551-22-1621
工期	着工　　竣工

2. 敷地状況

敷地面積	公簿：　　㎡　（＝　　坪） 実測：　221.55　㎡　（＝　67.02　坪）
建ぺい率 容積率	基準建ぺい率　70.00　% 基準容積率　200.00　%
用途地域	低層住専（第　種） ・ 中高層住専（第　種） ・ 住居専用（第　種） ・ 準住居専用 近隣商業 ・ 商業 ・ 準工業 ・ 工業 ・ 工業専用 ・ [指定なし]
日影規制	有 ・ [無] 平均地盤面からの高さ　　m 敷地境界線より5mを越え10m以内の範囲　　時間内 敷地境界線より10mを越える範囲　　時間内
防火地域	防火 ・ 準防火 ・ [指定なし] ・ 特定行政庁の指定地域
その他の地域地区	[都市計画区域内] ・ 都市計画区域外 ・ 市街化区域 ・ 市街化調整区域 ・ 特別工業地区 ・ 特別用途地区 ・ 美観地区 ・ 再開条事業区域 ・特定街区 ・ 改良地区 文教地区（第　種） ・ 風致地区（第　種） ・ 高度地区（第　種） ・ 駐車場整備地区 ・ 電波伝搬障害防止地区 ・ 多雪地区 ・ 災害危険地区 ・ 緑地地区 土地区画整備事業地区 ・ 宅地造成工事規制区域 ・ 国立公園 ・ 国定公園 ・ 河川敷 ・ その他

3. 構造・規模

構造	ＳＲＣ造 ・ [ＲＣ造] ・ ＰＣ造 ・ 鉄骨造 ・ ＣＢ造 ・ 木造 ・ その他
階数	（Ｂ　　Ｆ）（　2　Ｆ）（ＰＨ　　Ｆ）
構造形式	ラーメン ・ [壁] ・ 立体トラス ・ 折版 ・ その他
最高高さ	6.96　m
基礎	地盤支持（ベタ ・ [布] ・ 独立）　その他（　　） 杭支持（ＲＣ杭 ・ ＰＣ杭 ・ アースドリル ・ ペノト ・ 深礎 ・ 鋼管杭 ・ ＢＨ工法）
最高軒高	6.61　m
増築予定	
その他	

4. 面積

	申請部分	申請以外の部分	合計	建ぺい率 ・ 容積率	その他（ﾋﾞﾛﾃｨｰ ・ ﾊﾞﾙｺﾆｰ等）
建築面積	97.76　㎡ （＝　29.57　坪）	㎡ （＝　　坪）	97.76　㎡ （＝　29.57　坪）	対象面積　許容 44.13　% ≦ 70　%	
延床面積	164.56　㎡ （＝　49.78　坪）	㎡ （＝　　坪）	164.56　㎡ （＝　49.78　坪）	対象面積　許容 59.22　% ≦ 200　%	

5. 床面積

階別	申請部分	申請以外の部分	階高	主要用途
1	88.16　㎡	㎡	2.90　m	共同住宅
2	76.40　㎡	㎡		共同住宅
計	164.56　㎡	㎡		
容積率対象床面積	131.20　㎡	㎡		

6. 別途工事

各種加入金・申請料
カーテン、液晶テレビ、ベッド
植栽工事

7. 外部仕上

	別紙		

8. 外部金物

	材質・寸法	防錆・仕上	取付場所	数量		材質・寸法	防錆・仕上	取付場所	数量
	別紙								

9. その他の工事範囲

種別		工事有 含む	工事有 別途	備考
敷地造成	敷地造成	—		
	整地	—		
	擁壁	—		
	排水	—		
	道路	—		
	橋梁	—		
	護岸	—		
	防潮整備	—		
撤去工事	在来基礎撤去		○	
	埋設物撤去		○	
	工作物撤去	—		
	樹木伐採・伐根		○	
移設工事	在来建物移設	—		
	工作物移設	—		
	樹木移設	—		
解体工事	解体工事	○		アスファルト、フェンス
				コンクリート壁、側溝
外構	植樹造園		○	
	舗装	—		
	路面駐車場	—		
	門・塀	○		メッシュフェンス、門扉
	盛土	—		
	テラス	—		
	パーゴラ	—		
	外灯	—		
工作物	看板	—		
	広告板	—		
	広告鉄搭	—		
	ネオン	—		
	遊戯施設	—		
	ゴンドラ	—		
	物干	—		
	塵芥焼却炉	—		
	避難器具	—		
	物置	—		
	ポンプ室	—		

種別		工事有 含む	工事有 別途	備考
付属備品	社名板・表札	○		館名板
	表札板・文字	○		室名札
	黒板・掲示板	○		
	郵便受	○		
	定礎板	—		
	可動家具		○	ベッド
	固定椅子	—		
	什器備品	—		
	カーテン		○	ドレープ＋レース
	ブラインド	—		
	敷物・マット	—		
	装飾物	—		
	テレビ		○	液晶テレビ
補償	日照影響	—		
	電波障害	—		
	騒音	—		
	風害	—		
	近隣工作物	—		
	隣家補償	—		
その他				

種別		工事有 含む	工事有 別途	備考
電気	受変電	—		
	自家発電	—		
	蓄電池	—		
	動力	—		
	電灯コンセント	○		
	照明器具	○		
	電話機器		○	
	電話配線	○		配管のみ
	インターホン	○		
	電気時計	—		
	テレビ共同聴視	○		
	放送	—		
	火災報知器	—		
	避雷針	—		
	煙感知連動	—		
	ガス漏れ警報機		○	ガス会社貸与品
	ＬＡＮ	○		配管のみ
給排水衛生ガス	給水	○		
	給湯	○		
	衛生器具	○		
	防火(消火栓等)	—		
	ガス	○		ＬＰＧボンベ別途
	給水処理装置	—		
	排水処理装置	○		合併浄化槽
	排水通気	○		
冷暖房換気	暖房	○		
	冷房	○		
	換気	○		
	防煙（排煙）	—		
昇降器	エレベーター	—		
	エスカレーター	—		
	ダムウェーター	—		
その他	厨房機器	○		キッチン
	消火器	○		

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

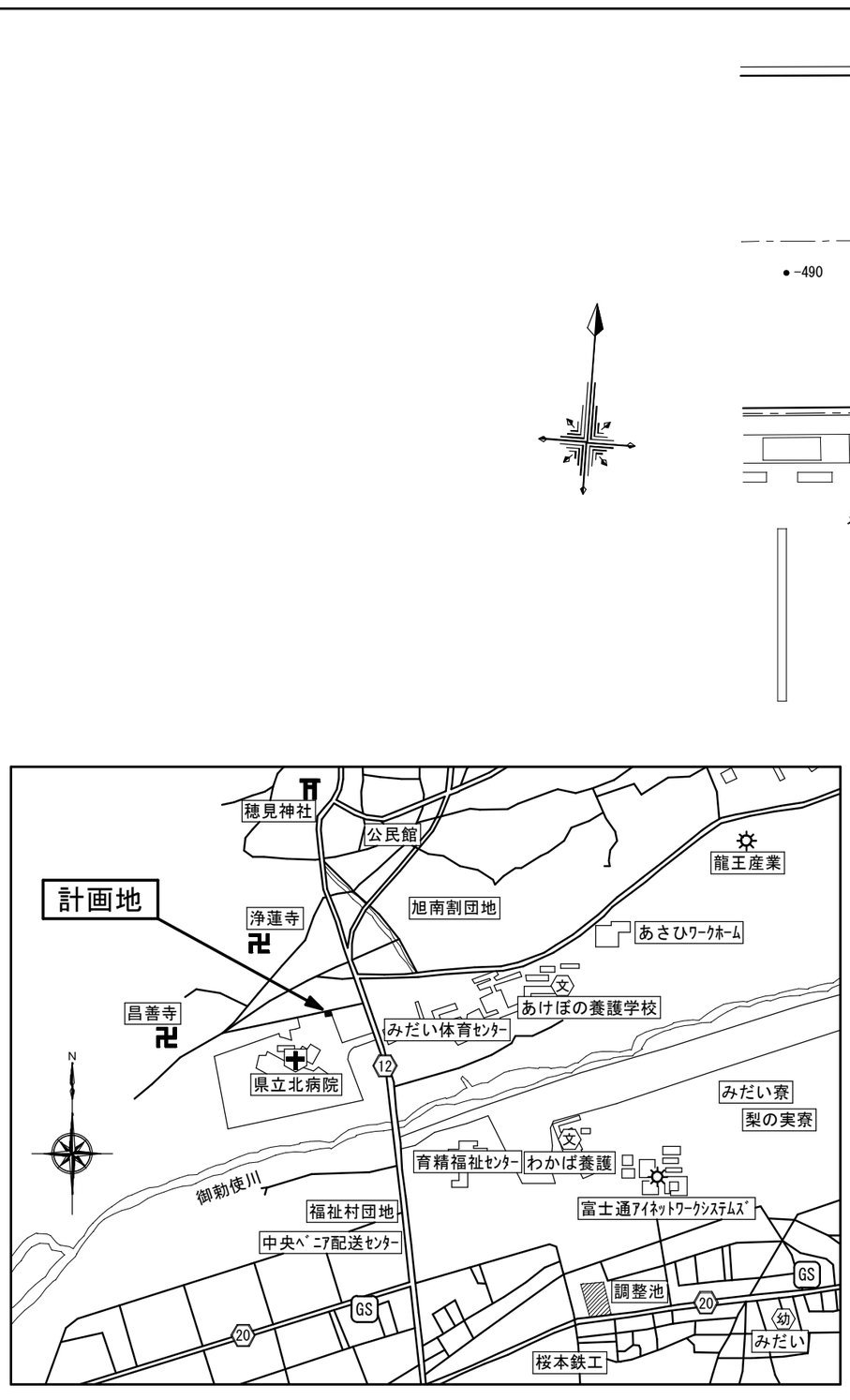
有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400－0827 山梨県甲府市湯沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

設計概要

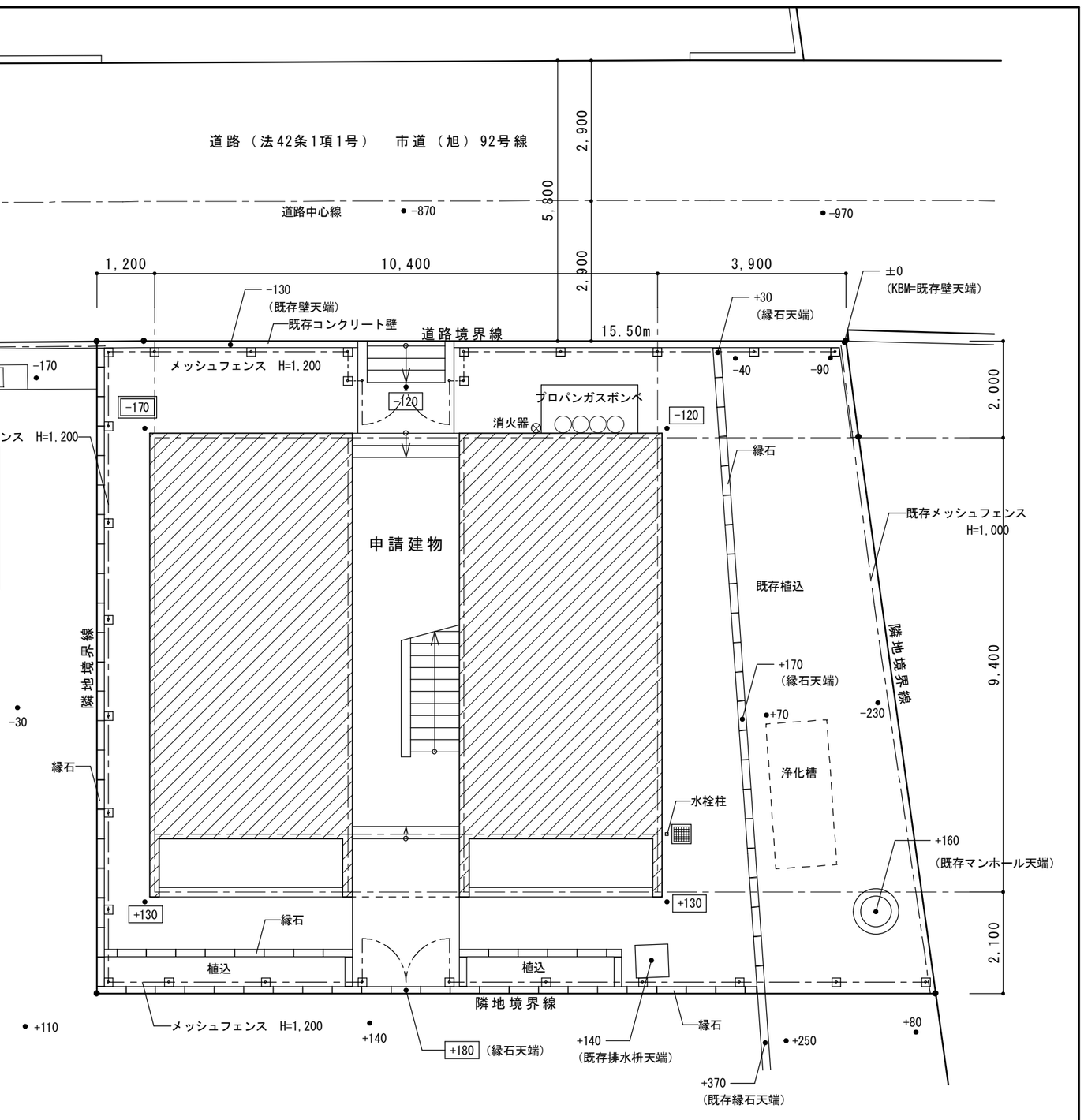
DATE

NO. A－6



案　内　図

計画地：韮崎市旭町上条南割字外御勅使3314-13の一部



配　置　図　　S=1:100

凡　例

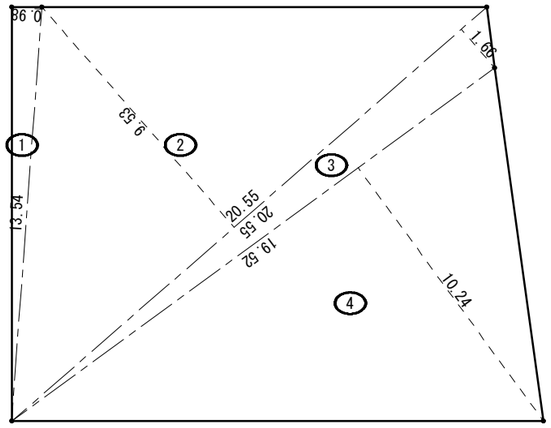
※ □ 内数値は、計画レベルを示す。

※ ▭ 内数値は、建物設計ＧＬを示す。

※上記以外の数値は、現況レベルを示す。

山梨県立北病院医師宿舎新築工事		有限会社 竜巳一級建築設計事務所 〒400−0827 山梨県甲府市蓮沢１丁目１７番２４号 TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400 一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号 一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一	CHECKED	DRAWN		案内図・配置図　1:100	DATE NO. A−7

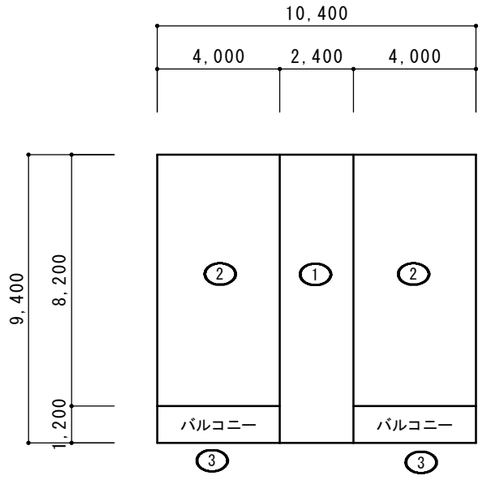
敷地面積求積図　S=1:200



■敷地面積求積表

番号	底　辺	高　さ	倍　面　積	面　積
①	13.54	0.98	13.2692	6.63460
②	20.55	9.53	195.8415	97.92075
③	20.55	1.66	34.1130	17.05650
④	19.52	10.24	199.8848	99.94240
合　計				221.55425
敷地面積				221.55 ㎡

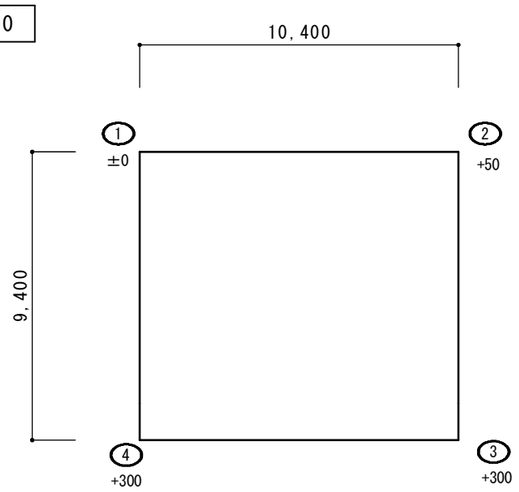
建築面積求積図　S=1:200



■建築面積求積表

番号	計算式	面　積
①	2.40 × 9.40	22.56
②	4.00 × 8.20 × 2	65.60
③	4.00 × 1.20 × 2	9.60
建築面積		97.76 ㎡

平均地盤面算定図　S=1:200

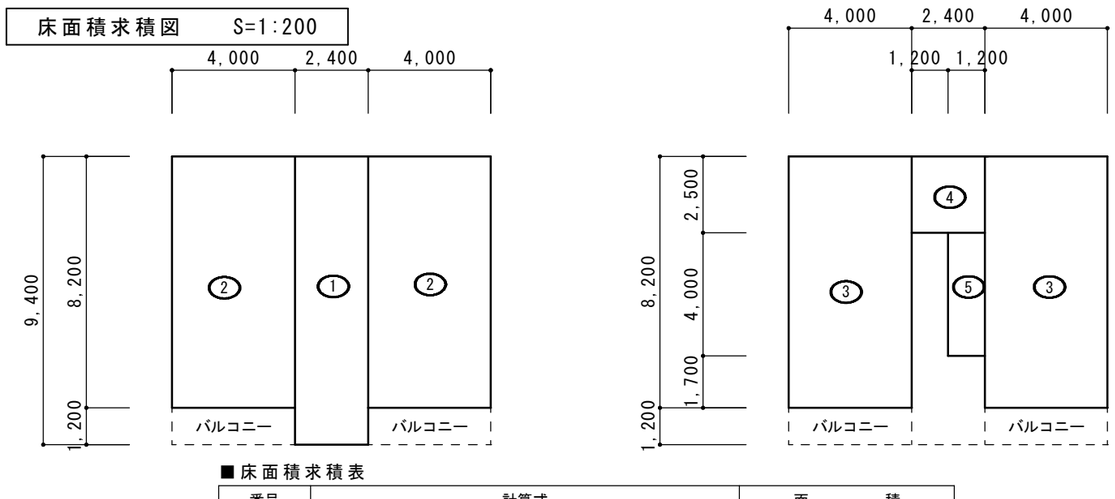


■平均地盤面算定表

ポイントA		ポイントB		A ＋ B	長　さ	倍　面　積	面　積
①	0.00	2	0.05	0.05	10.40	0.52	0.26
②	0.05	3	0.30	0.35	9.40	3.29	1.645
③	0.30	4	0.30	0.60	10.40	6.24	3.12
④	0.30	1	0.00	0.30	9.40	2.82	1.41
合　計					39.60 m	12.87 ㎡	6.435 ㎡
平均地盤面					6.435 ÷ 39.60 ＝ 0.1625		
					設計ＧＬ+0.16m		

※ポイント高は設計ＧＬからのレベル

床面積求積図　S=1:200



■床面積求積表

番号	計算式	面　積
①	2.40 × 9.40 ×	22.56
②	4.00 × 8.20 × 2	65.60
１階床面積		88.16 ㎡
③	4.00 × 8.20 × 2	65.60
④	2.40 × 2.50 ×	6.00
⑤	1.20 × 4.00 ×	4.80
２階床面積		76.40 ㎡
延べ面積		164.56 ㎡
容積率対象床面積（②+③）		131.20 ㎡

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400-0827 山梨県甲府市湯沢１丁目１７番２４号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

求積図・求積表
平均地盤面算定図・算定表　1:200

DATE

NO. A－8

部　位		仕　上
屋根	平場	コンクリート金ゴテ　シート防水　ｱ1.2
	立上り	コンクリート金ゴテ　シート防水　ｱ1.2
	笠木	防水巻き込み　アルミ製アングル防水押エ　1.7×45×65
	屋根マンホール	ステンレス製　アクリルドーム　点検口タイプ　600角［菱晃　点検口ハッチＤ　同等品］
外壁		コンクリート打放シ補修　素地Ｂ種（誘発目地：@4000以内、開口部両端）防水型複層塗材Ｅ吹付
		化粧型枠コンクリート打放シ　素地Ｂ種　アクリルシリコン樹脂クリヤー塗
	館名板	ステンレス製（ヘアーライン）箱文字　200角　15文字
	小屋裏換気孔	アルミ製丸型フード付ガラリ　75φ（防虫網付）　塩ビパイプ共
	庇	アルミ製　D=300　L=650　［アルフィン　AF93　同等品］
軒天		コンクリート打放シ補修　素地Ｂ種　アクリルリシン吹付
		化粧型枠コンクリート打放シ　素地Ｂ種　アクリルシリコン樹脂クリヤー塗
バルコニー	床	防水モルタル金ゴテ（排水溝　W=100共）化粧目地切
	巾木	防水モルタル塗
	手摺壁	化粧型枠コンクリート打放シ　素地Ｂ種　アクリルシリコン樹脂クリヤー塗
	笠木	コンクリート金ゴテ　アクリルシリコン樹脂クリヤー塗
	手摺	アルミ製トップレール　H=150[三協立山アルミ　50型　同等品]
	物干金物	アルミ製壁付型（上下可動式）　L=650
共用廊下	床	防水モルタル金ゴテ（２階排水溝　W=100共）化粧目地切
	巾木	防水モルタル塗
	壁	コンクリート打放シ補修　素地Ｂ種（誘発目地：@4000以内、開口部両端）防水型複層塗材Ｅ吹付
		化粧型枠コンクリート打放シ　素地Ｂ種　アクリルシリコン樹脂クリヤー塗
	手摺壁	コンクリート打放シ補修　素地Ｂ種　防水型複層塗材Ｅ吹付
		化粧型枠コンクリート打放シ　素地Ｂ種　アクリルシリコン樹脂クリヤー塗
	笠木	コンクリート金ゴテ　アクリルシリコン樹脂クリヤー塗
		コンクリート金ゴテ　防水型複層塗材Ｅ吹付
	天井	コンクリート打放シ補修　素地Ｂ種　アクリルリシン吹付
	室名札	アルミ製 210×125（番号入共）
	郵便受	ステンレス製（４戸分）　W360×H400×D280［タジマメタルワーク　MK-18　同等品］
	タラップ	ステンレス製　22φ　L=400　D=250　3段
	掲示板	掲示板：アルミ枠　W550×H410

部　位		仕　上
階段	蹴上・踏面	防水モルタル金ゴテ
	ササラ	防水モルタル金ゴテ
	手摺壁	コンクリート打放シ補修　素地Ｂ種　防水型複層塗材Ｅ吹付
	笠木	コンクリート金ゴテ　防水型複層塗材Ｅ吹付
	手摺	アルミ製　34φ（エンドキャップ）　アルミ製ブラケット
	段鼻	ステンレス製ノンスリップ　W=35
	段裏	コンクリート打放シ補修　素地Ｂ種　アクリルリシン吹付
縦樋		アルミ製　89φ　支持金物@2000内
		アルミ製　60φ　支持金物@2000内
ドレイン	屋上	ルーフドレイン：鋳鉄製　横型　呼称75用
	バルコニー	ルーフドレイン：鋳鉄製　縦型　呼称50用
		中継ドレイン：鋳鉄製　呼称50用
	共用廊下	ルーフドレイン：鋳鉄製　横型　呼称50用
外巾木		防水モルタル金ゴテ
断熱	屋上スラブ下	発泡ポリスチレンフォーム板　ｱ40打込
	外壁廻り	現場発泡ウレタン吹付　ｱ20
	最上階天井裏	グラスウール　ｱ100　24kg
	土間下	発泡ポリスチレンフォーム板　ｱ40
		防湿ポリエチレンシート　ｱ0.15
	断熱補強（スラブ上下）	現場発泡ウレタン吹付　ｱ20
	断熱補強（土間）	発泡ポリスチレンフォーム板　ｱ20
建具		アルミ製サッシ　ＲＣ用
		スチール製玄関ドア
		スチール製パイプシャフトドア
出窓屋根		防水モルタル金ゴテ
その他	消火器	ＡＢＣ粉末10型（蓄圧式）
	消火器ＢＯＸ	ステンレス製屋外用（扉付・壁掛型）

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社　竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市蓮沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

外部仕上表

DATE

NO. Ａ−９

室　名	ＦＬ	床	巾　木	壁		天　　井	廻り縁	天井高	備　　考
				下地	仕上				
玄関	-60	押エコンクリート　ｱ115 ワイヤーメッシュ　6φ-100×100 防水モルタル金ゴテ　ｱ30	防水モルタル金ゴテ　H=60 既製品　H=60	Ｃ ＬＧＳ	石膏ボード　ｱ12.5（ＧＬ工法）　ビニールクロス 石膏ボード　ｱ12.5　ビニールクロス	ＬＧＳ下地 石膏ボード　ｱ9.5 ビニールクロス	塩ビ製	2,260	上り框：タモ集成材　90×60　ＯＳＣＬ 下駄箱：ポリフラッシュ合板　ｱ20・25　W800×H900×D350
キッチン	±0	乾式遮音二重床システム下地 複合フローリング　ｱ12	既製品　H=60	Ｃ ＬＧＳ	石膏ボード　ｱ12.5（ＧＬ工法）　ビニールクロス 石膏ボード　ｱ12.5　ビニールクロス	ＬＧＳ下地 石膏ボード　ｱ9.5 ビニールクロス	塩ビ製	2,200	キッチンセット　L=1650 （吊戸棚・ビルトインガスコンロ・キッチンパネル共） 消火器：ＡＢＣ粉末10型（蓄圧式）（取付金物共）
洋室	±0	乾式遮音二重床システム下地 複合フローリング　ｱ12	既製品　H=60	Ｃ ＬＧＳ	石膏ボード　ｱ12.5（ＧＬ工法）　ビニールクロス 石膏ボード　ｱ12.5　ビニールクロス	ＬＧＳ下地 石膏ボード　ｱ9.5 ビニールクロス	塩ビ製	2,400	カーテンレール：ステンレス製（W） 出窓カウンター：タモ集成材　ｱ30　D=260　ＯＳＣＬ ベッド（別途工事）、液晶テレビ（別途工事） カーテン（別途工事）
ウォークイン クローゼット	±0	乾式遮音二重床システム下地 複合フローリング　ｱ12	既製品　H=60	Ｃ ＬＧＳ	石膏ボード　ｱ12.5（ＧＬ工法）　ビニールクロス 石膏ボード　ｱ12.5　ビニールクロス	ＬＧＳ下地 石膏ボード　ｱ9.5 ビニールクロス	塩ビ製	2,200	ハンガーパイプ：ステンレス製　25φ（ブラケット共） 棚：木組下地　合板　ｱ5.5
洗面脱衣室	±0	乾式遮音二重床システム下地 耐水合板（Ｉ類）　ｱ12下地 長尺塩ビシート　ｱ2.0（溶接工法）	既製品　H=60	Ｃ ＬＧＳ	耐水石膏ボード　ｱ12.5（ＧＬ工法） ビニールクロス 耐水石膏ボード　ｱ12.5　ビニールクロス	ＬＧＳ下地 石膏ボード　ｱ9.5 ビニールクロス	塩ビ製	2,200	洗面化粧台　L=750（キッチンパネル共） タオル掛取付用耐水合板　ｱ12
便所	±0	乾式遮音二重床システム下地 耐水合板（Ｉ類）　ｱ12下地 長尺塩ビシート　ｱ2.0（溶接工法）	既製品　H=60	Ｃ ＬＧＳ	耐水石膏ボード　ｱ12.5（ＧＬ工法） ビニールクロス 耐水石膏ボード　ｱ12.5　ビニールクロス	ＬＧＳ下地 石膏ボード　ｱ9.5 ビニールクロス	塩ビ製	2,200	棚板：ポリ合板　ｱ20（受金物共） タオル掛取付用耐水合板　ｱ12
浴室	±0								ＵＢ１２１６
ＭＢ・ＰＳ	±0	押エコンクリート金ゴテ　ｱ205 （勾配施工）			コンクリート打放シ補修	コンクリート打放シ補修			

・＜凡例（下地記号）＞

・Ｃ　：コンクリート（現場発泡ウレタン吹付下地）

・ＬＧＳ　：軽量鉄骨（壁：25角型・65型　@303、天井：19型　@303）

・＜既製造作材仕様＞

・額縁　－　ＭＤＦ　＋　樹脂化粧シート

・ドア枠（ＵＢ）　－　ＥＰＶＣ

・ドア枠（その他）　－　ＭＤＦ　＋　樹脂化粧シート

・巾木　－　ＭＤＦ　＋　樹脂化粧シート

・＜ホルムアルデヒド放散等級＞

・パーティクルボード　－　ＪＩＳ表示　Ｆ☆☆☆☆

・ＭＤＦ　－　ＪＩＳ表示　Ｆ☆☆☆☆

・普通合板　－　ＪＡＳ表示　Ｆ☆☆☆☆

・複合フローリング　－　ＪＡＳ表示　Ｆ☆☆☆☆

・集成材　－　ＪＡＳ表示　Ｆ☆☆☆☆

・特殊合板　－　ＪＡＳ表示　Ｆ☆☆☆☆

・ビニールクロス　－　ＪＩＳ表示　Ｆ☆☆☆☆

・ＯＳＣＬ　－　ＪＩＳ表示　Ｆ☆☆☆☆

・＜内装不燃番号＞

・天井：石膏ボード　ｱ9.5　ＱＭ－９８２８

・壁：石膏ボード　ｱ12.5　ＮＭ－８６１９

・壁：耐水石膏ボード　ｱ12.5　ＮＭ－９８２６

・壁・天井：ビニールクロス　準不燃認定品

・＜木材仕様＞

・集成材　－　タモ

・構造材　－　米栂

・造作材　－　米栂（上小節）

コンクリートに接する部分は防腐剤塗り

・＜乾式遮音二重床システム仕様＞

遮音性能はLL-40・LH-50（スラブ厚150㎜）以上とし、

ベースパネルに使用するパーティクルボードはｱ20㎜とする。

［フクビ　フリーフロアーＣＰ工法　同等品］

・＜カーテン（別途工事）仕様＞

・ドレープ：1800×2000、900×1100　（サッシ寸法）

［川島織物セルコン　エコプレーンⅡ　同等品］

・レース：1800×2000、900×1100　（サッシ寸法）

［川島織物セルコン　タリオ　同等品］

・＜ベッド（別途工事）仕様＞

木製　W1000×L2000　桐スノコ床板・引出し付

［オリバー　ＳＢＳ６７６　同等品］

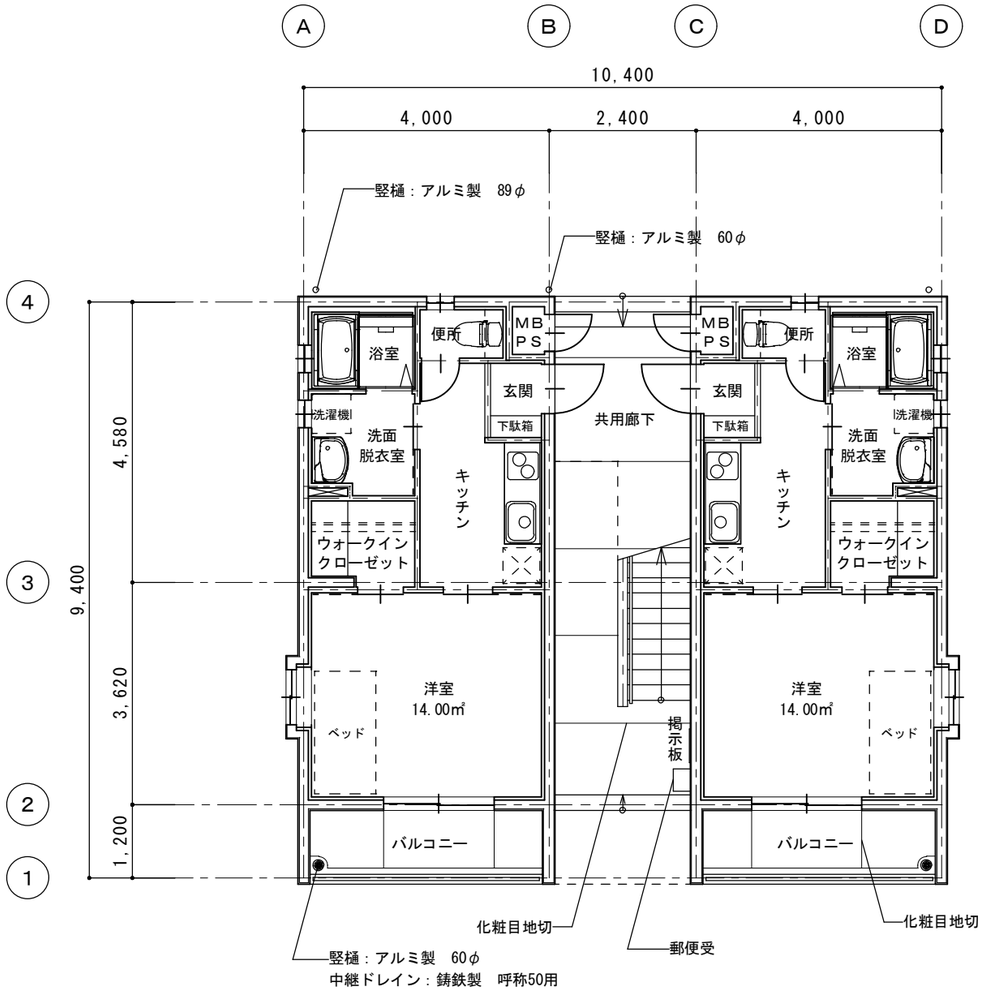
有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400－0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

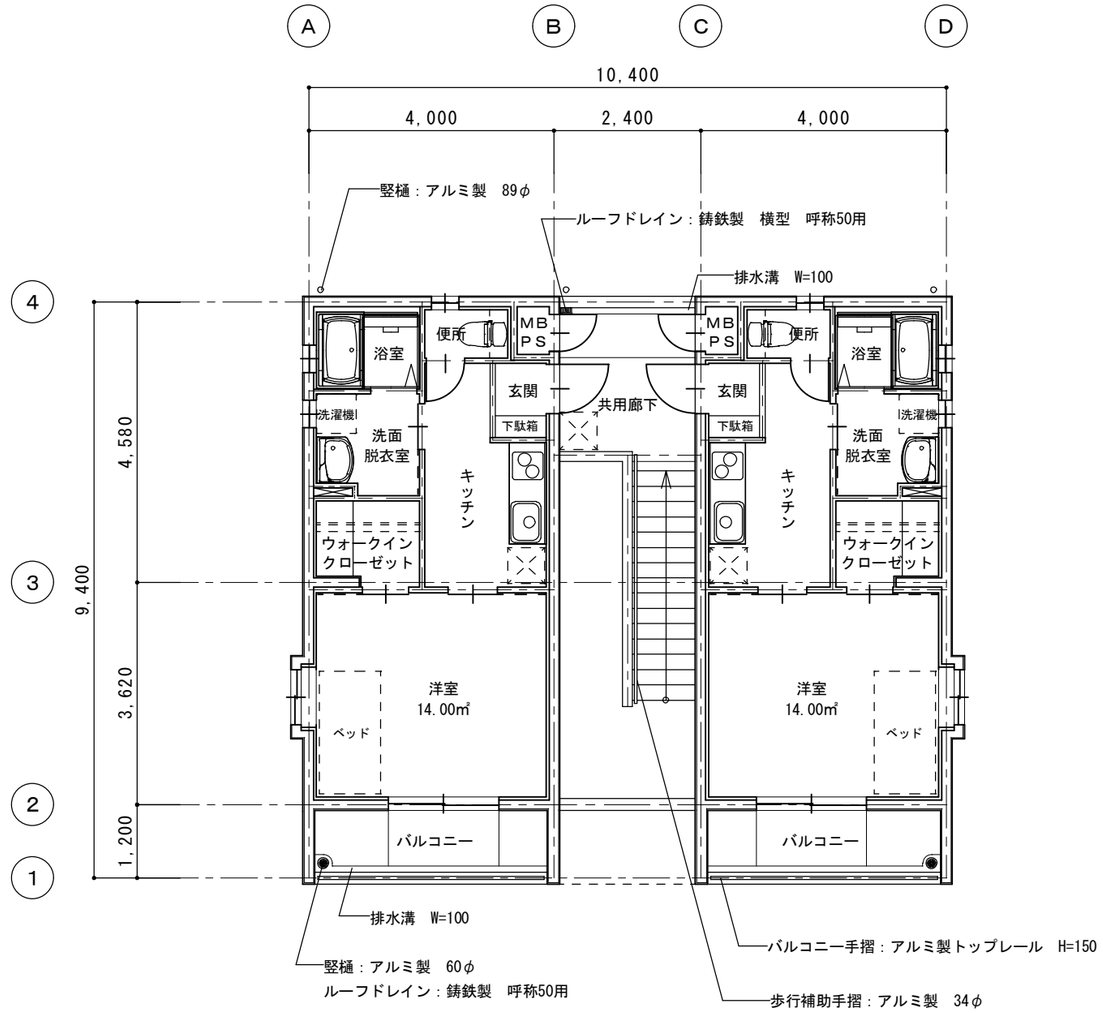
内部仕上表

DATE

NO. Ａ－１０



1階平面図　S=1:100



2階平面図　S=1:100

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400-0827 山梨県甲府市蓬沢1丁目17番24号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第1－20603号
一級建築士登録第107852号　雨宮健一

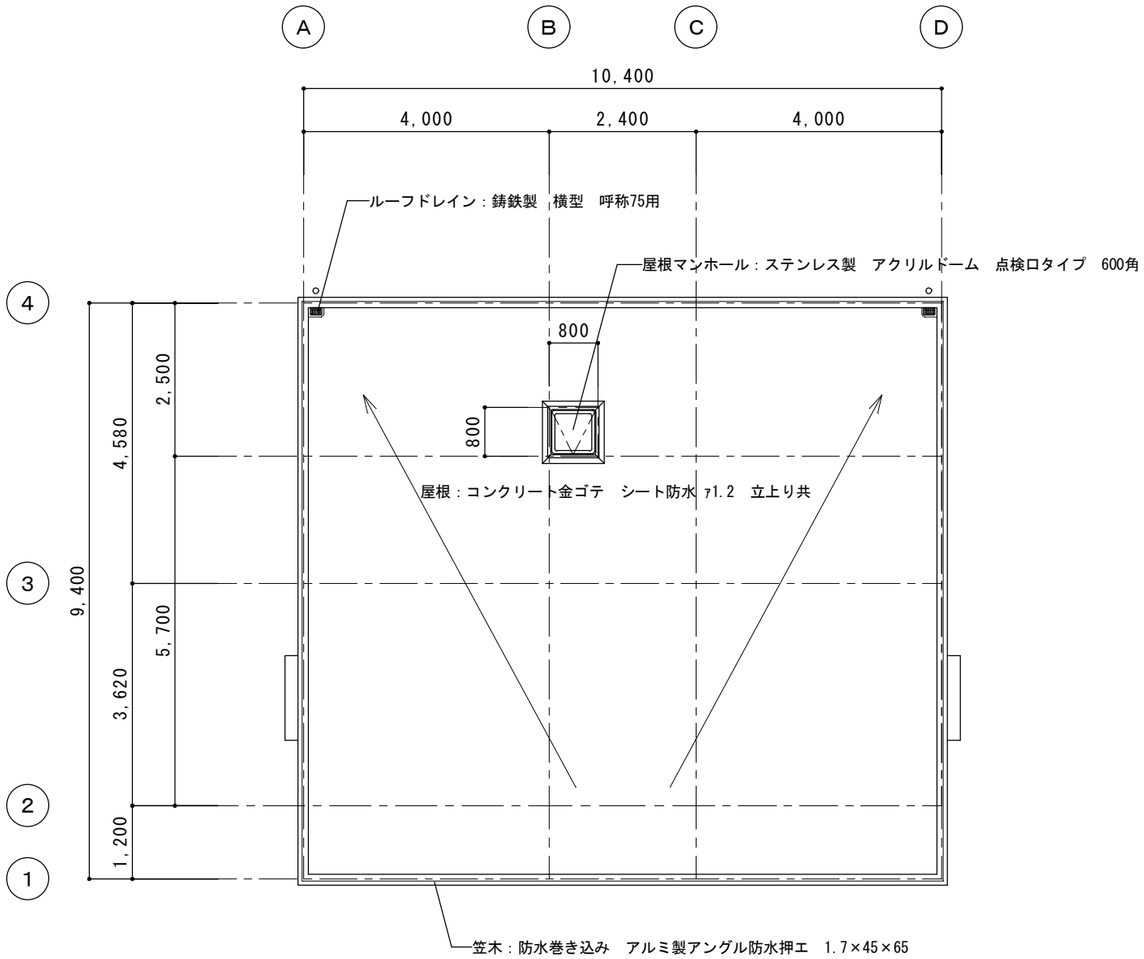
CHECKED

DRAWN

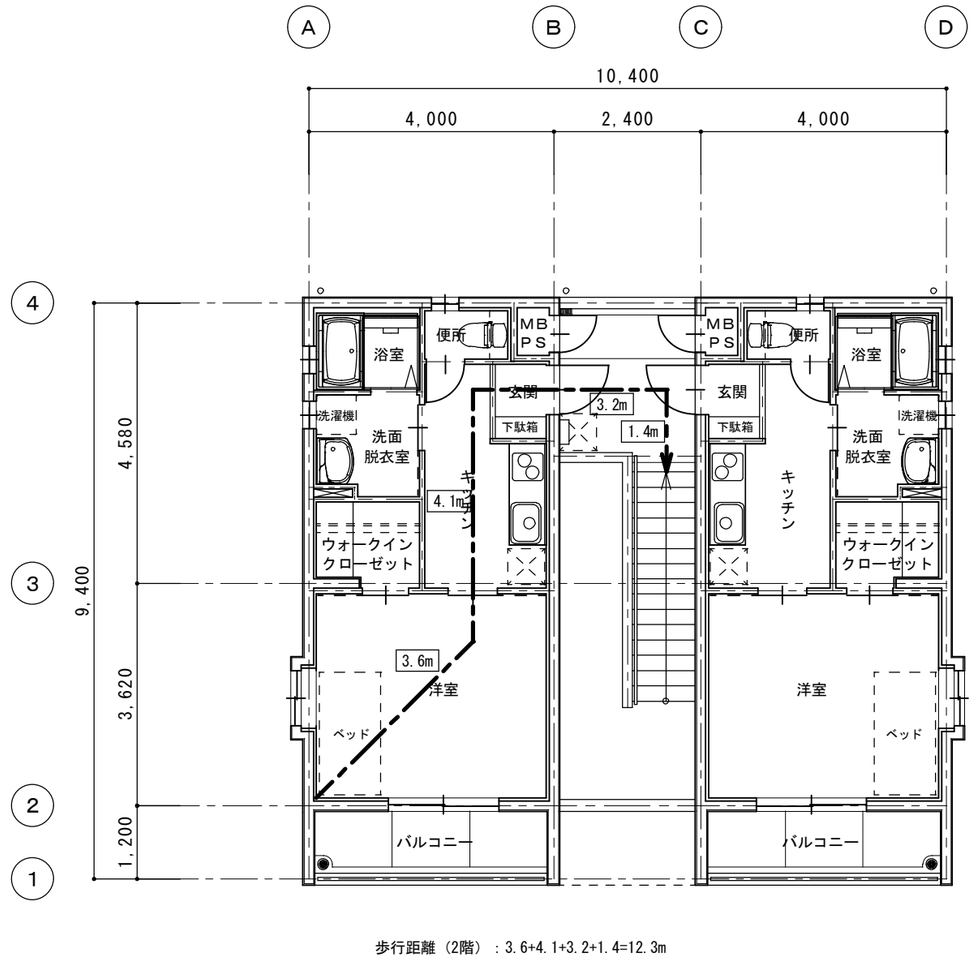
平面図　1:100

DATE

NO. A－11



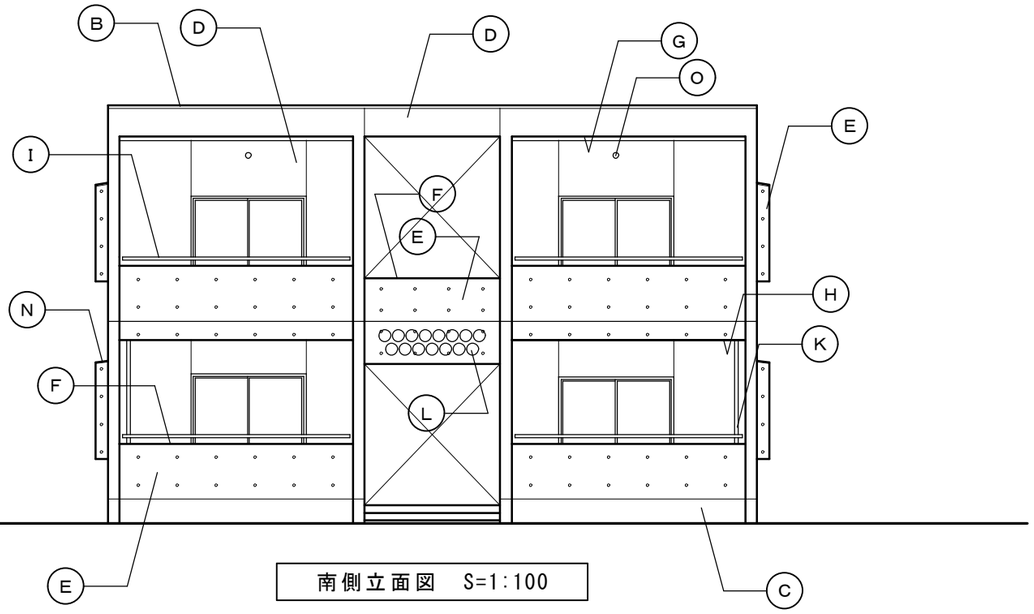
屋根伏図　S=1:100



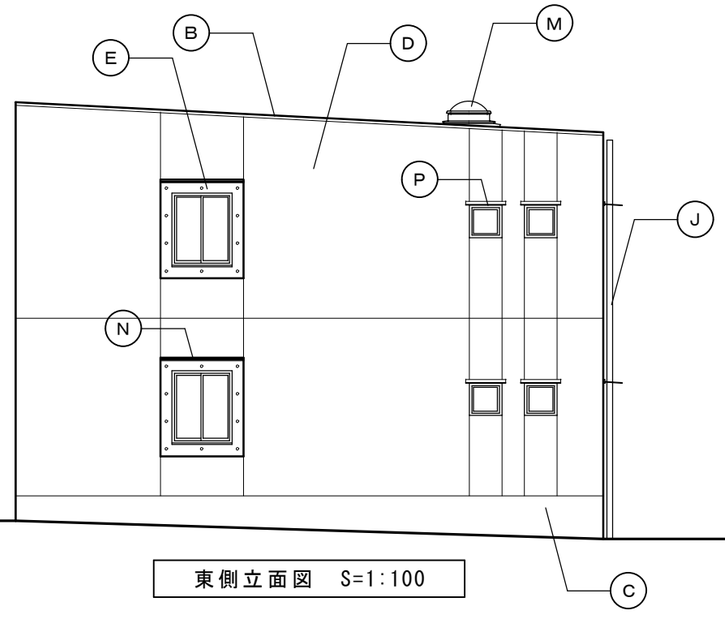
歩行距離（2階）：3.6+4.1+3.2+1.4=12.3m

法規チェック図　S=1:100

山梨県立北病院医師宿舎新築工事		有限会社 竜巳一級建築設計事務所 〒400−0827 山梨県甲府市湯沢１丁目１７番２４号 TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400 一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号 一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一	CHECKED	DRAWN		屋根伏図 法規チェック図　1:100	DATE NO. A－１２



南側立面図　S=1:100



東側立面図　S=1:100

外　部　仕　上　リ　ス　ト		
記号	部位	仕　上
A	屋根	コンクリート金ゴテ押エ　シート防水　ｱ1.2　立上り共
B	笠木	防水巻き込み　アルミ製アングル防水押エ　1.7×45×65
C	外巾木	防水モルタル金ゴテ
D	外壁	コンクリート打放シ補修　素地Ｂ種（誘発目地：@4000以内、開口部両端）防水型複層塗材Ｅ吹付
E	外壁	化粧型枠コンクリート打放シ　素地Ｂ種（誘発目地：@4000以内）アクリルシリコン樹脂クリヤー塗
F	笠木	コンクリート金ゴテ押エ　アクリルシリコン樹脂クリヤー塗
G	軒天	コンクリート打放シ補修　素地Ｂ種　アクリルリシン吹付
H	軒天	化粧型枠コンクリート打放シ　素地Ｂ種　アクリルシリコン樹脂クリヤー塗
I	バルコニー手摺	アルミ製トップレール　H=150
J	竪樋	アルミ製 89φ　支持金物@2000内
K	竪樋	アルミ製 60φ　支持金物@2000内
L	館名板	ステンレス製（ヘアーライン）箱文字 200角
M	屋根マンホール	ステンレス製　アクリルドーム　点検口タイプ　600角
N	出窓屋根	防水モルタル金ゴテ
O	小屋裏換気孔	アルミ製丸型フード付ガラリ　75φ（防虫網付）　塩ビパイプ共
P	庇	アルミ製　D=300　L=650

※面取は、特記なき限り下記のものとする。

化粧型枠部分：

その他：

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

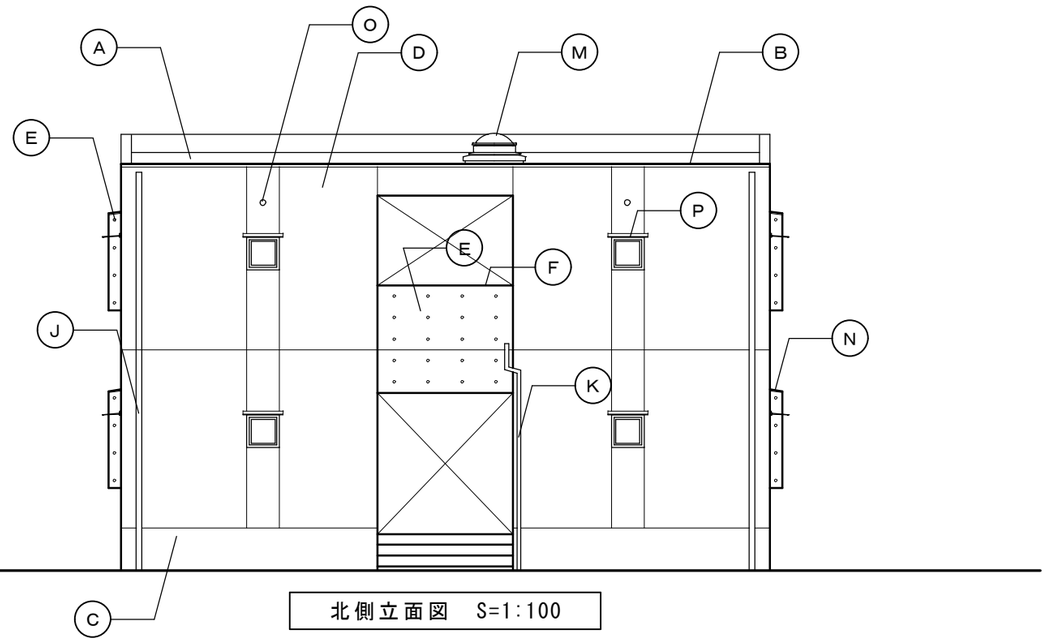
有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市湯沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED | DRAWN

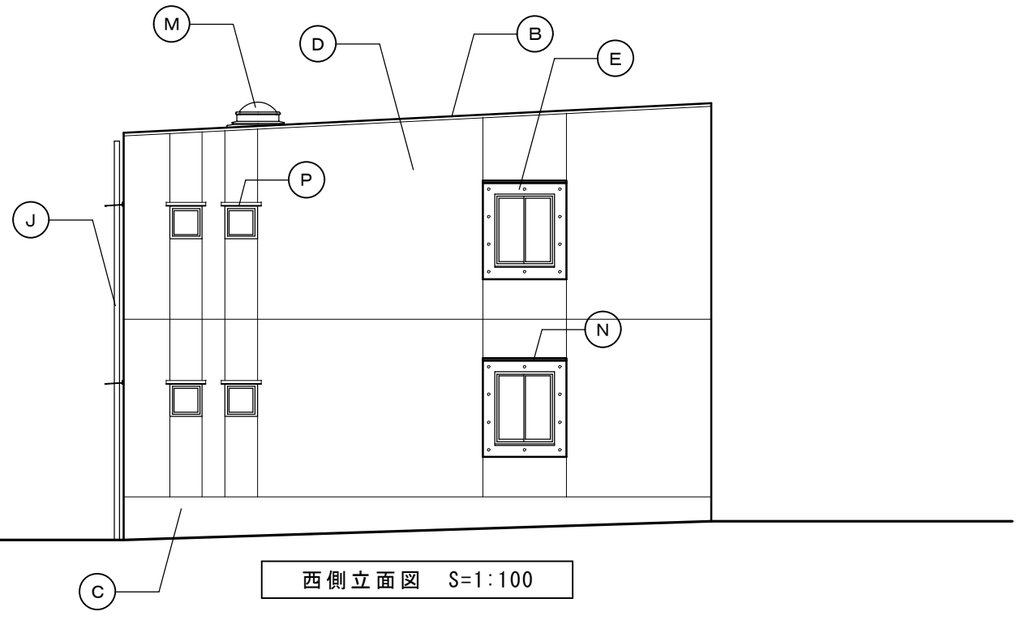
立面図１　1:100

DATE

NO. A−１３



北側立面図　S=1:100



西側立面図　S=1:100

外　部　仕　上　リ　ス　ト		
記号	部位	仕　上
A	屋根	コンクリート金ゴテ押エ　シート防水　ｱ1.2　立上り共
B	笠木	防水巻き込み　アルミ製アングル防水押エ　1.7×45×65
C	外巾木	防水モルタル金ゴテ
D	外壁	コンクリート打放シ補修　素地Ｂ種（誘発目地：@4000以内、開口部両端）防水型複層塗材Ｅ吹付
E	外壁	化粧型枠コンクリート打放シ　素地Ｂ種（誘発目地：@4000以内）アクリルシリコン樹脂クリヤー塗
F	笠木	コンクリート金ゴテ押エ　アクリルシリコン樹脂クリヤー塗
G	軒天	コンクリート打放シ補修　素地Ｂ種　アクリルリシン吹付
H	軒天	化粧型枠コンクリート打放シ　素地Ｂ種　アクリルシリコン樹脂クリヤー塗
I	バルコニー手摺	アルミ製トップレール　H=150
J	竪樋	アルミ製 89φ　支持金物@2000内
K	竪樋	アルミ製 60φ　支持金物@2000内
L	館名板	ステンレス製（ヘアーライン）箱文字 200角
M	屋根マンホール	ステンレス製　アクリルドーム　点検口タイプ　600角
N	出窓屋根	防水モルタル金ゴテ
O	小屋裏換気孔	アルミ製丸型フード付ガラリ　75φ（防虫網付）　塩ビパイプ共
P	庇	アルミ製　D=300　L=650

※面取は、特記なき限り下記のものとする。

化粧型枠部分：

その他：

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

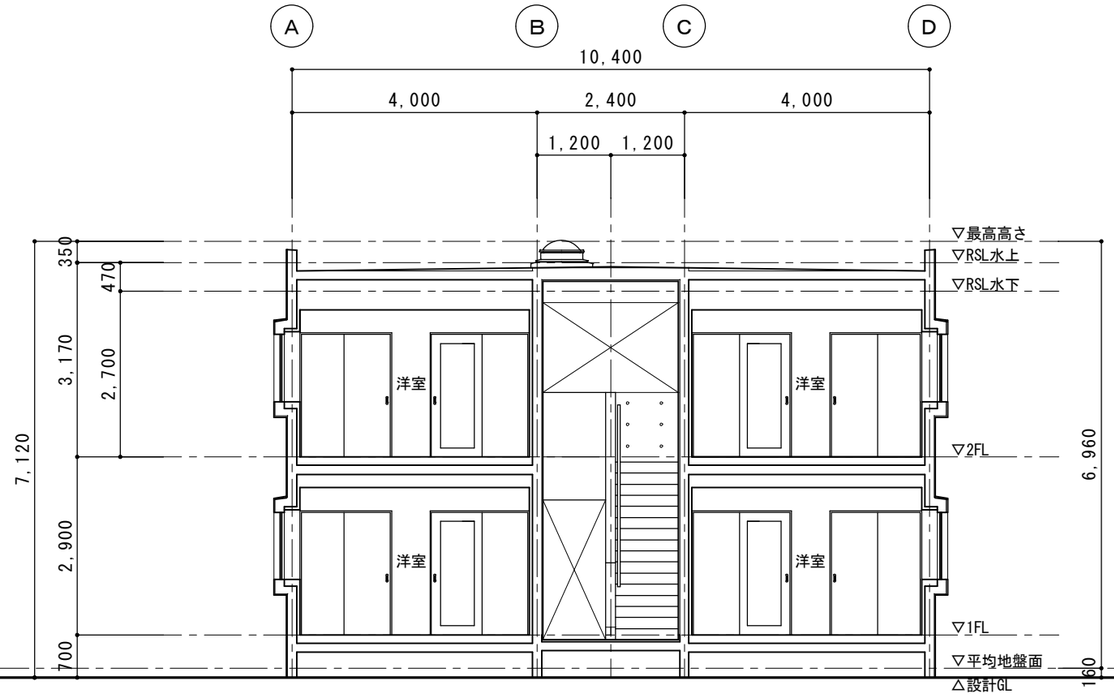
有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市湯沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED | DRAWN

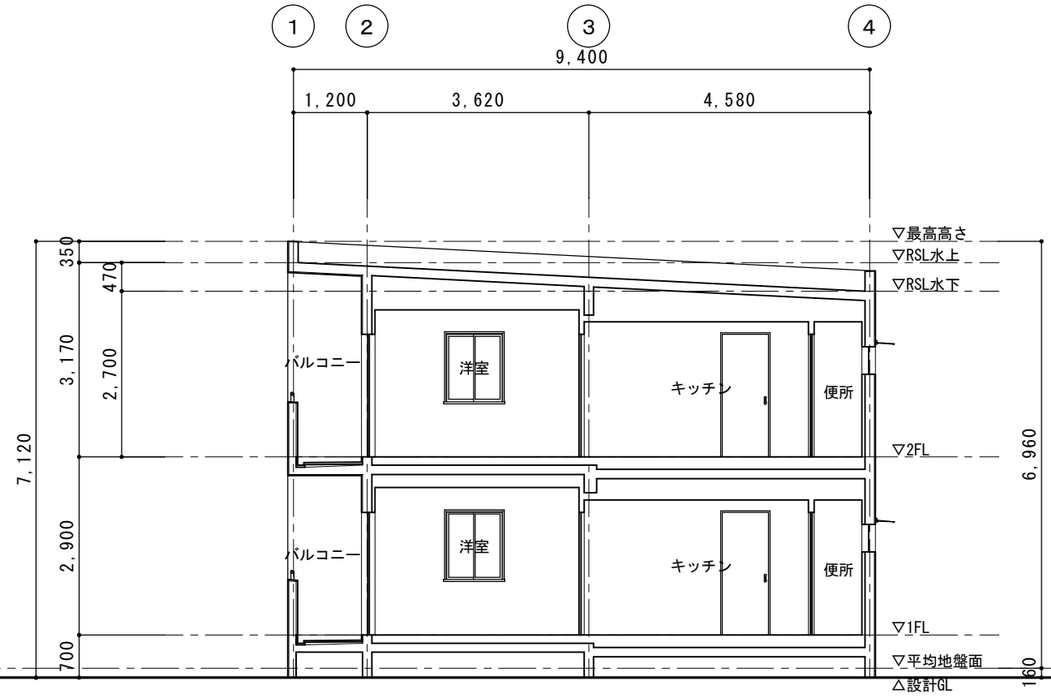
立面図２　1:100

DATE

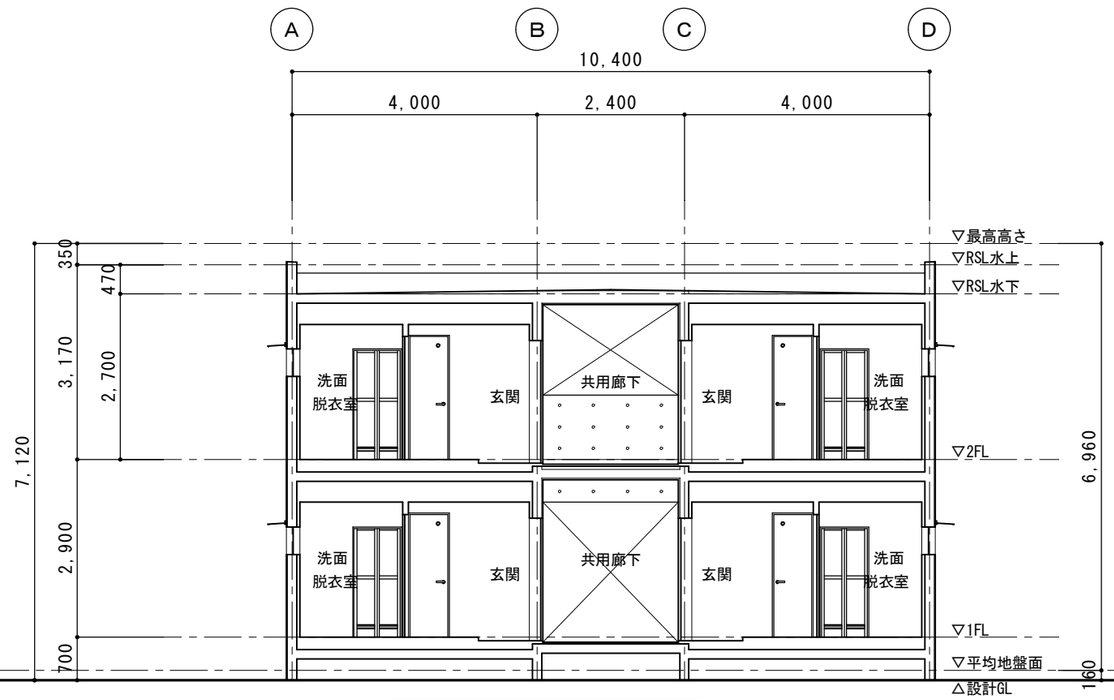
NO. A−１４



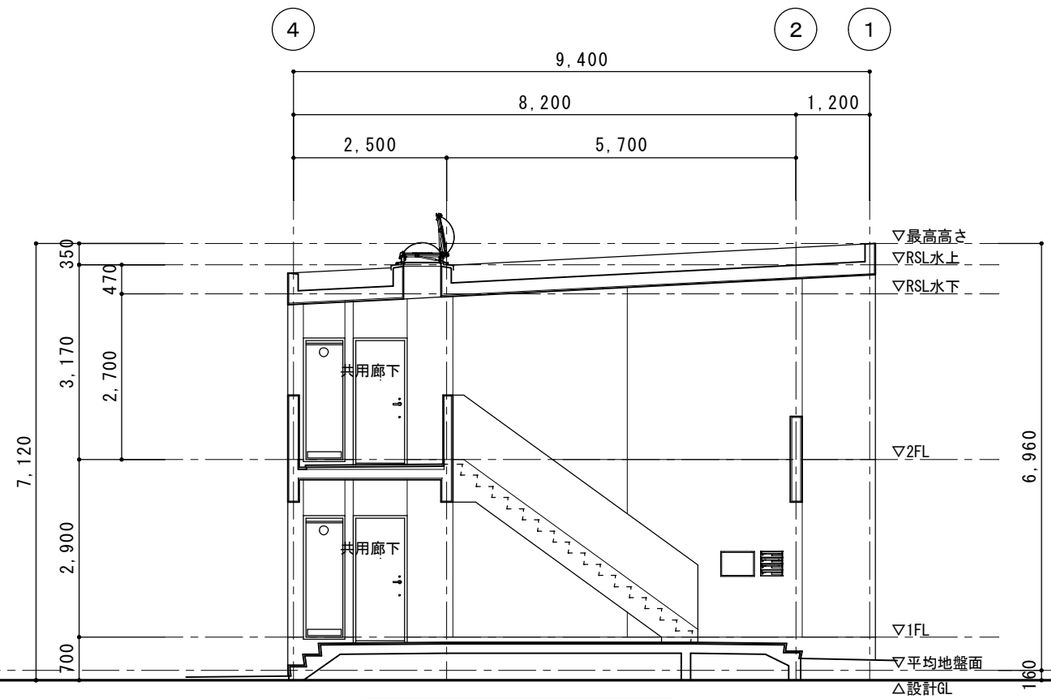
X方向断面図１　S=1:100



Y方向断面図１　S=1:100



X方向断面図２　S=1:100



Y方向断面図２　S=1:100

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

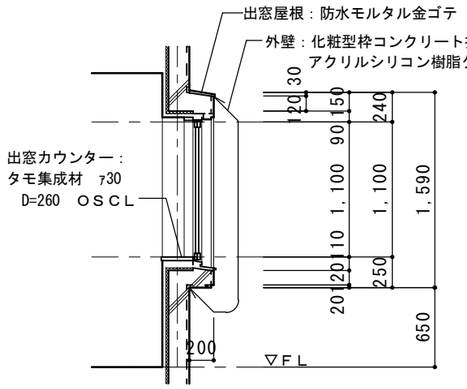
有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号 雨宮健一

CHECKED | DRAWN

断面図　1:100

DATE

NO. A−１５

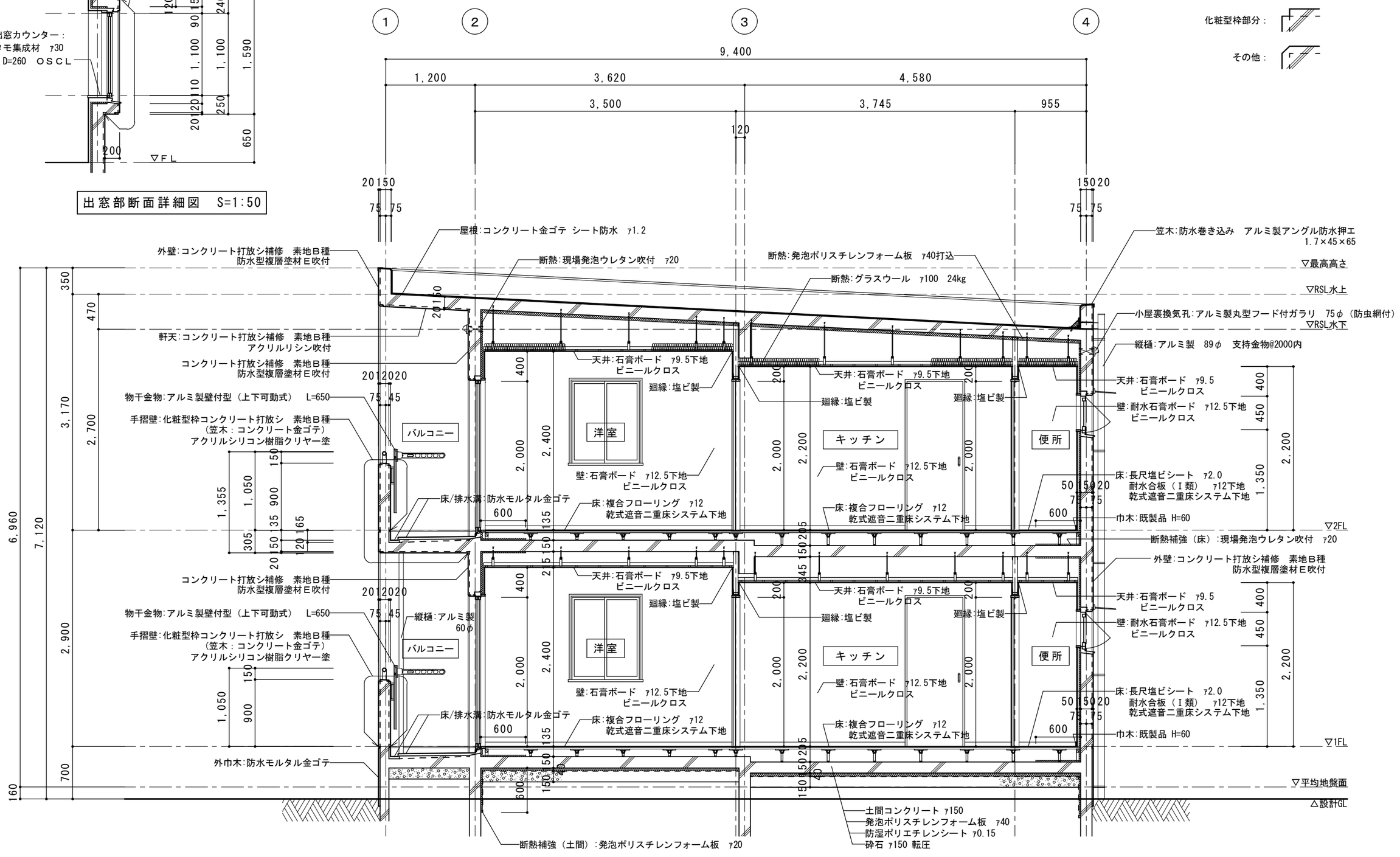


出窓部断面詳細図　S=1:50

※面取は、特記なき限り下記のものとする。

化粧型枠部分：

その他：

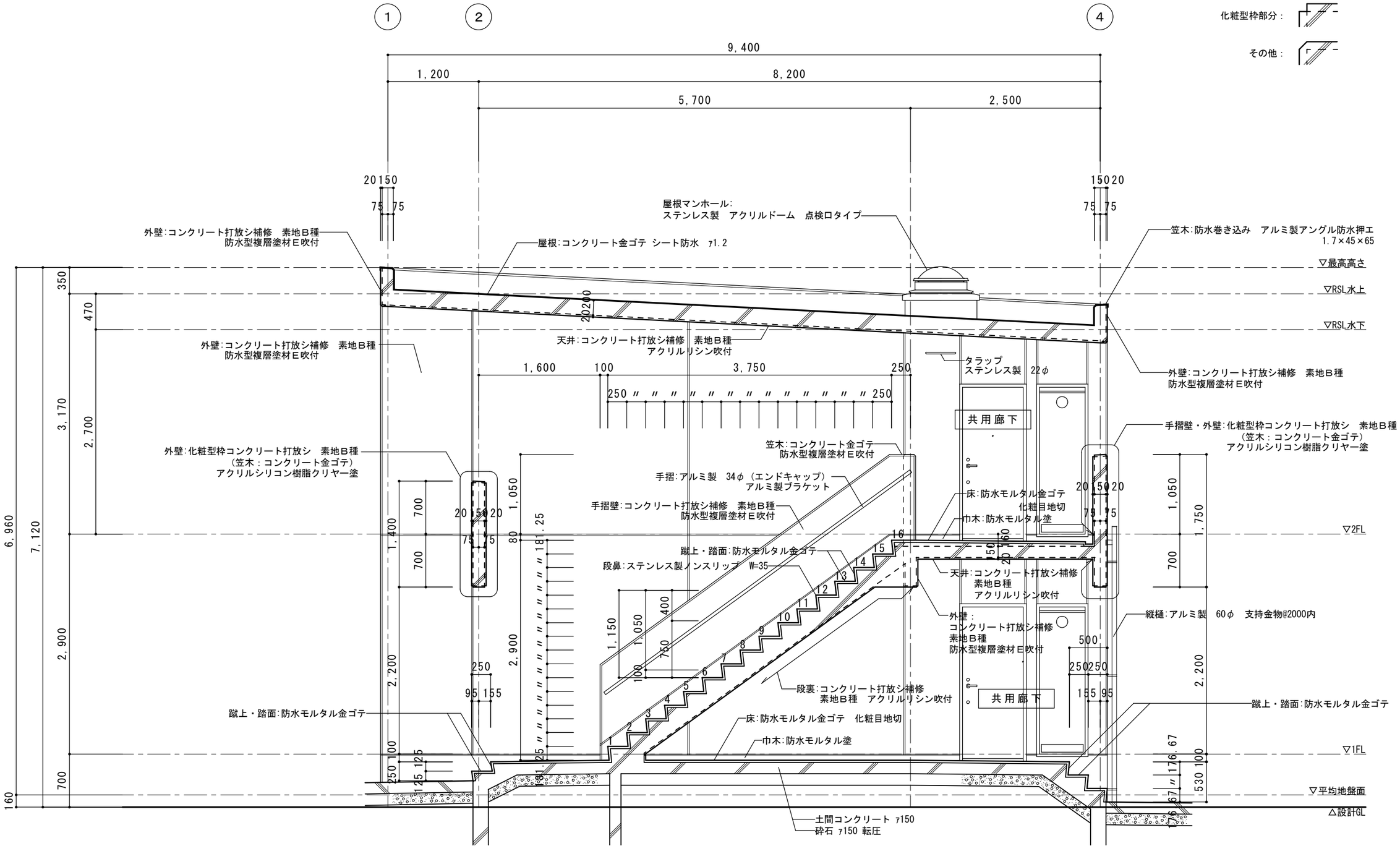


山梨県立北病院医師宿舎新築工事		有限会社 竜巳一級建築設計事務所 〒400−0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号 TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400 一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号 一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一	CHECKED	DRAWN		矩計図１　1:50	DATE NO. A−１６

※面取は、特記なき限り下記のものとする。

化粧型枠部分：

その他：

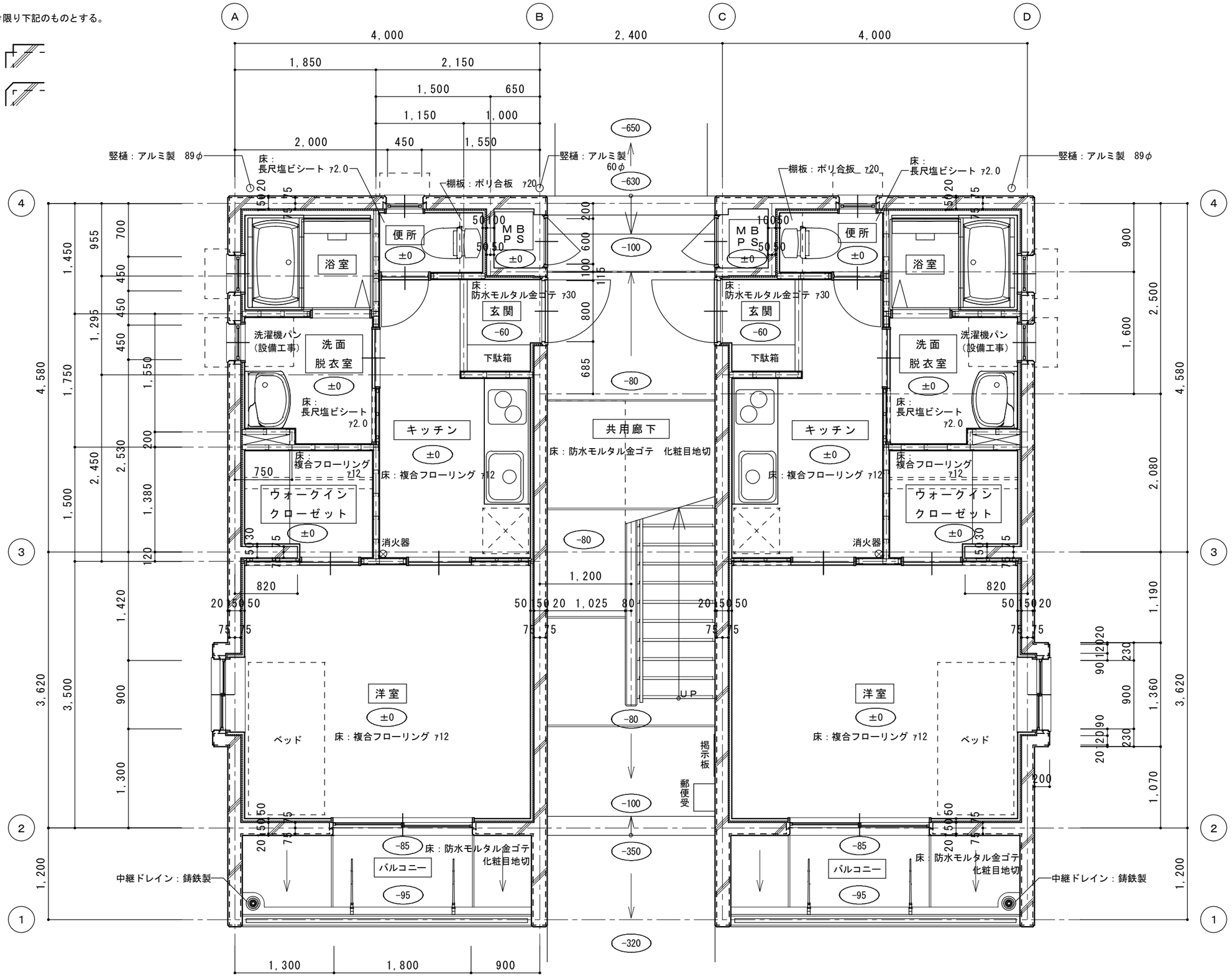


山梨県立北病院医師宿舎新築工事		有限会社 竜巳一級建築設計事務所 〒400−0827 山梨県甲府市蓮沢１丁目１７番２４号 TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400 一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号 一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一	CHECKED	DRAWN		矩計図２ 1:50	DATE NO. A−１７

※面取は、特記なき限り下記のものとする。

化粧型枠部分：

その他：



山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400-0827 山梨県甲府市蓬沢1丁目17番24号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第1-20603号
一級建築士登録第107852号 雨宮健一

CHECKED

DRAWN

1階平面詳細図 1:50

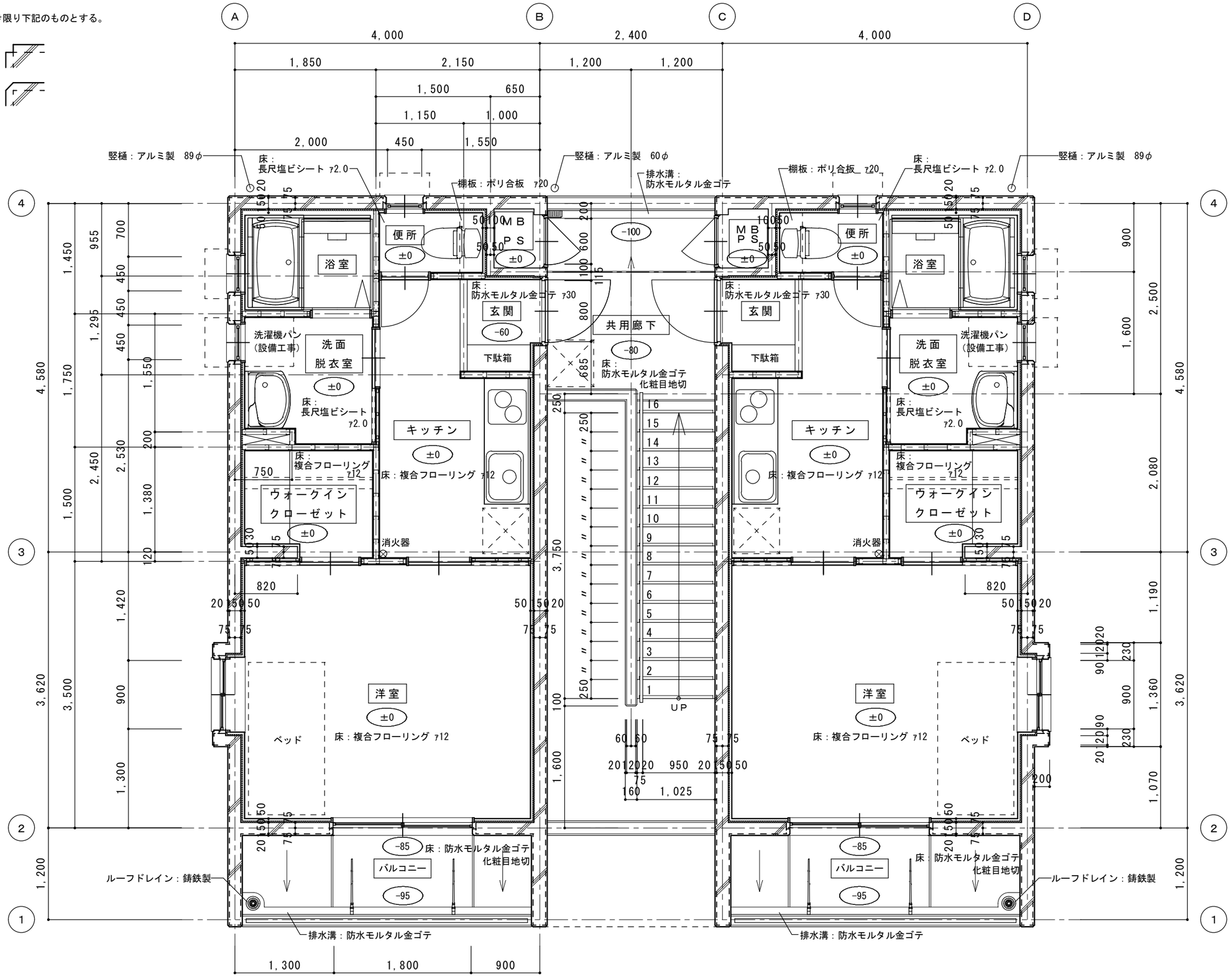
DATE

NO. A－18

※面取は、特記なき限り下記のものとする。

化粧型枠部分：

その他：



山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400-0827 山梨県甲府市蓬沢1丁目17番24号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第1-20603号
一級建築士登録第107852号 雨宮健一

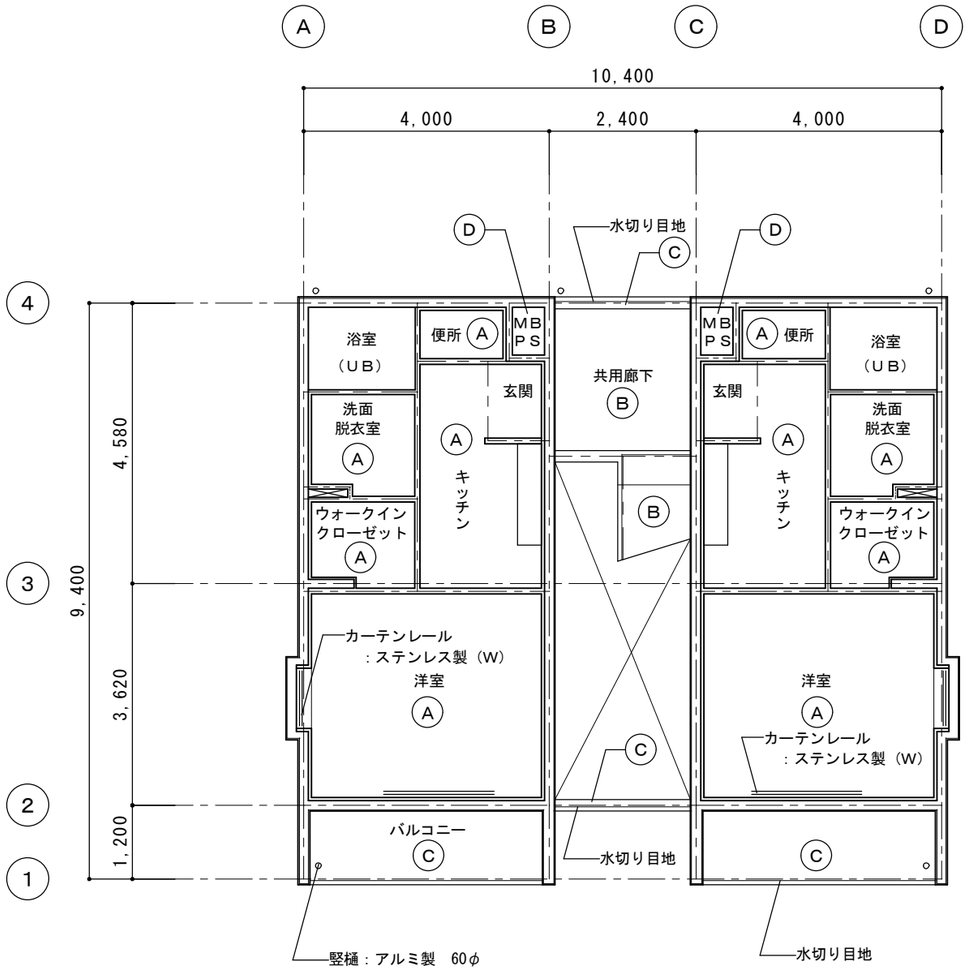
CHECKED

DRAWN

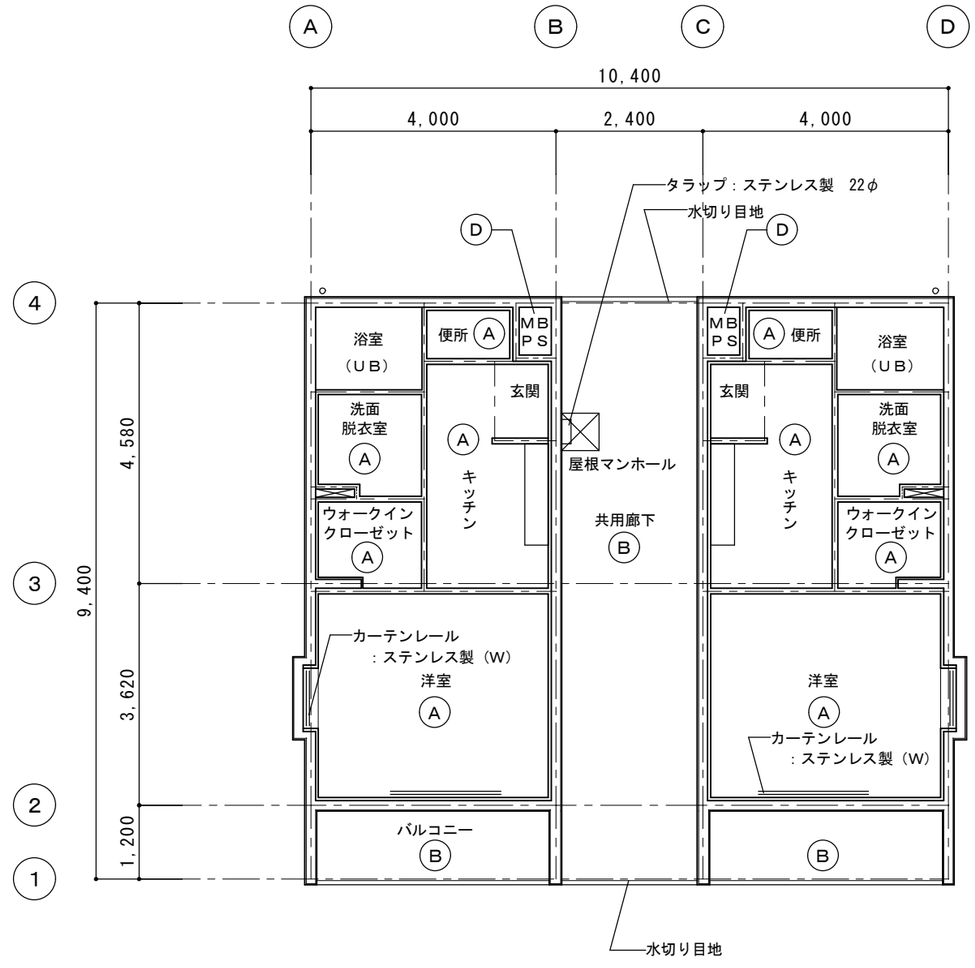
2階平面詳細図 1:50

DATE

NO. A－19



１階天井伏図　S=1:100



２階天井伏図　S=1:100

記号	天　井　仕　上
A	ビニールクロス、石膏ボード　ｔ9.5、ＬＧＳ下地
B	コンクリート打放シ補修　素地Ｂ種　アクリルリシン吹付
C	化粧型枠コンクリート打放シ　素地Ｂ種　アクリルシリコンクリヤー塗
D	コンクリート打放シ補修

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

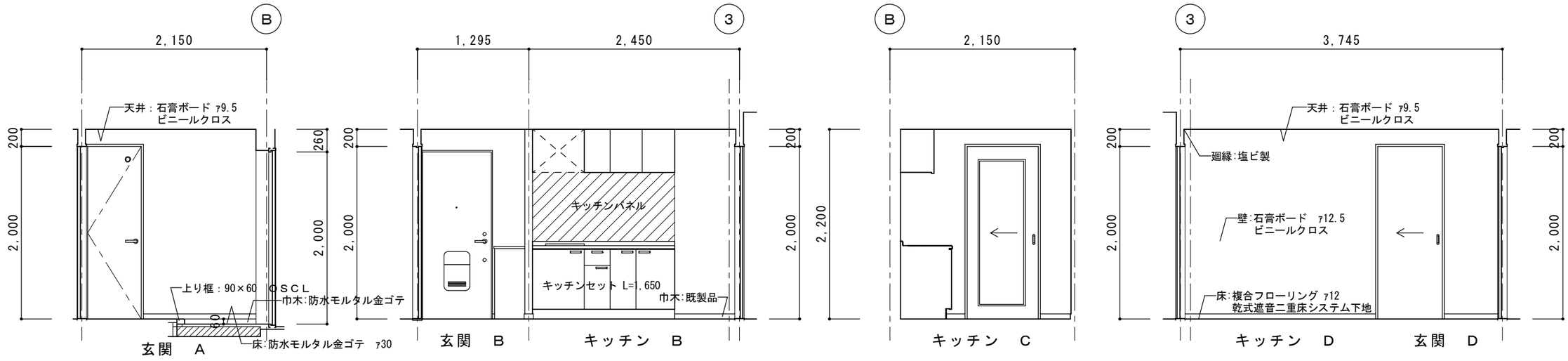
有限会社　竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市蓮沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

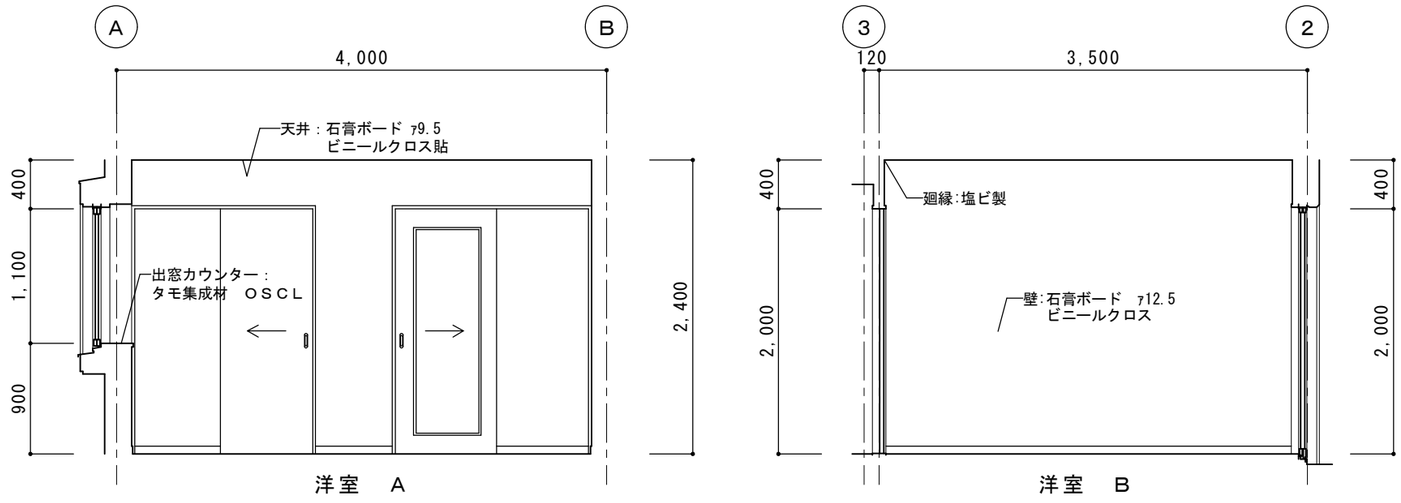
CHECKED　DRAWN

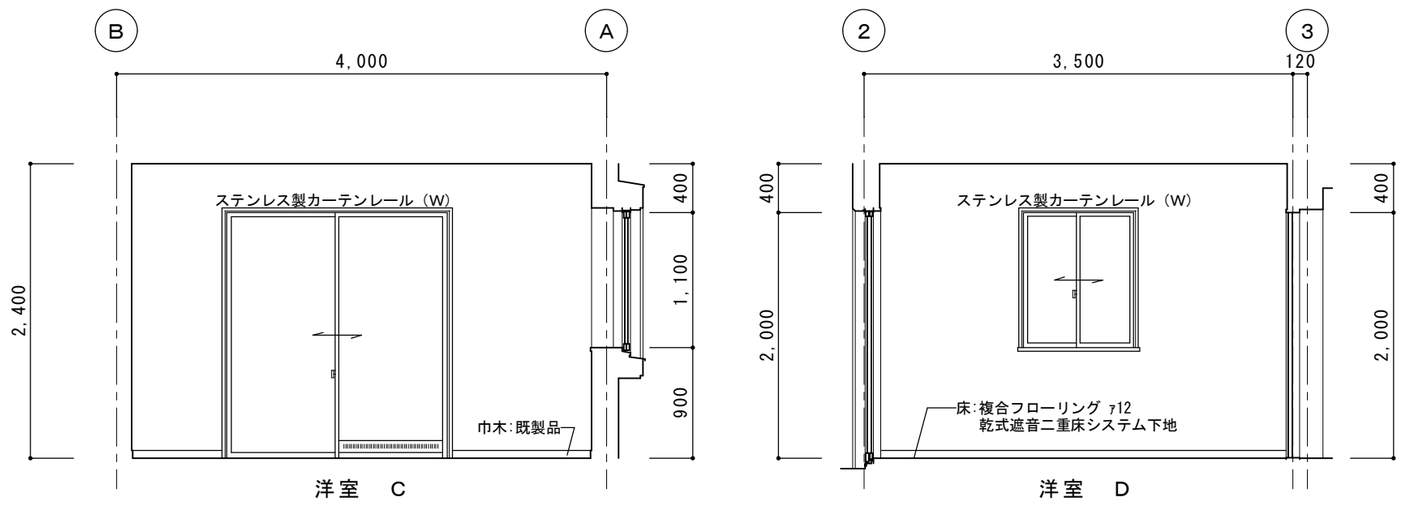
天井伏図　1:100

DATE

NO. A−２０







山梨県立北病院医師宿舎新築工事

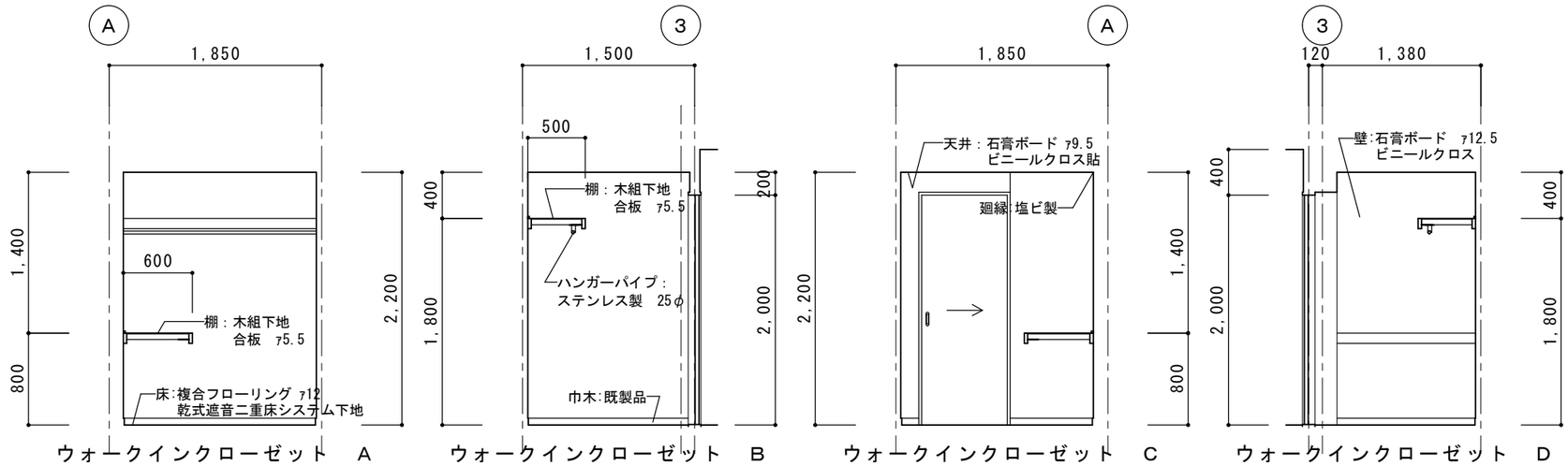
有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED | DRAWN

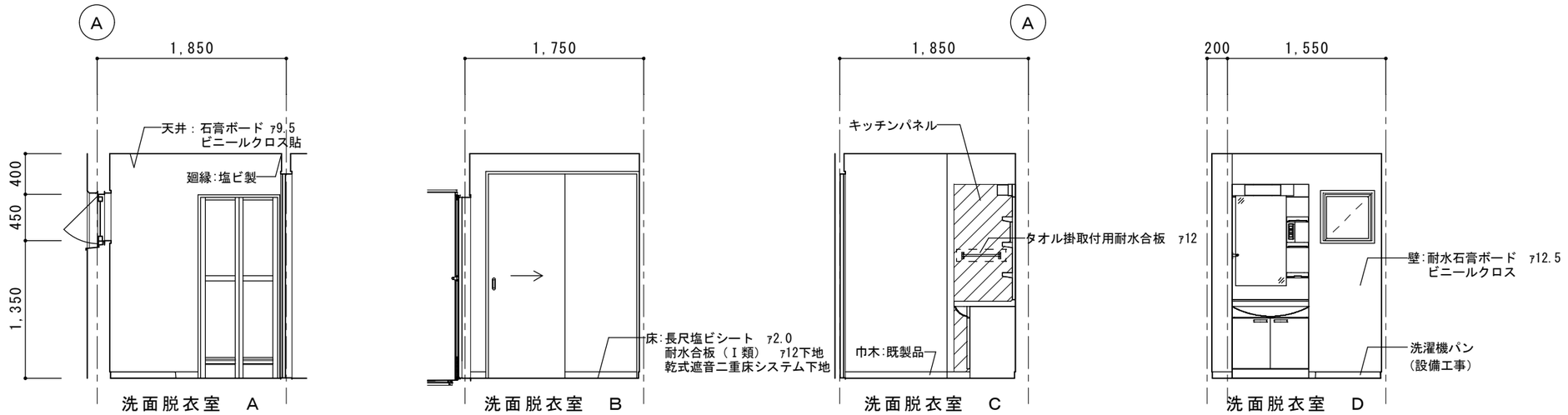
展開図１　1:50

DATE

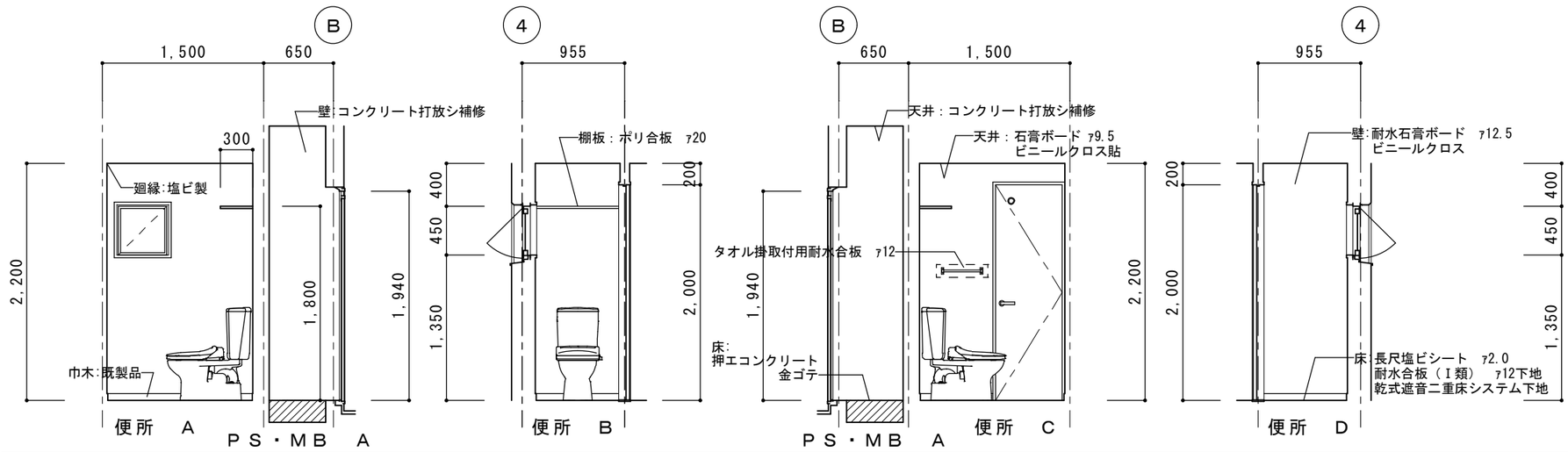
NO. A−２１



ウォークインクローゼット A　ウォークインクローゼット B　ウォークインクローゼット C　ウォークインクローゼット D



洗面脱衣室 A　洗面脱衣室 B　洗面脱衣室 C　洗面脱衣室 D



便所 A　PS・MB A　便所 B　便所 C　PS・MB A　便所 D

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

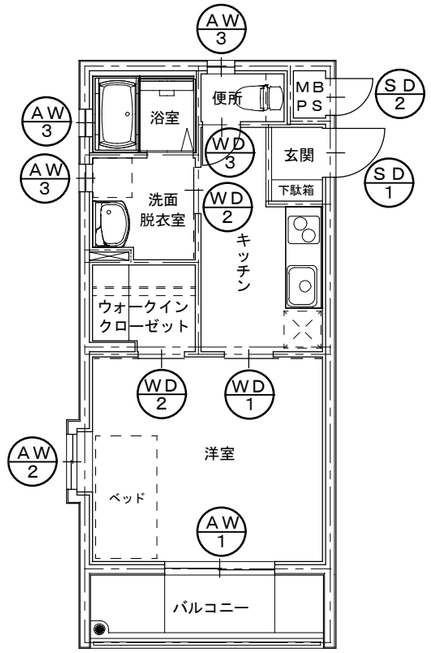
有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400-0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号 雨宮健一

CHECKED　DRAWN

展開図２　1:100

DATE

NO. A－２２



建具キープラン　　S=1:100

■採光・換気・排煙計算

室　名	床面積（㎡）	項　目	法定有効開口面積	設計有効開口面積	建具記号	計　算	判　定
洋　室	14.00	採　光 (1/7)	2.00	3.60	AW－1	1.8×2.0=3.60	OK
		換　気 (1/20)	0.70	1.60	AW－1	0.8×2.0=1.60	OK
		排　煙 (1/50)	0.28	0.32	AW－1	0.8×0.4=0.32	OK

■消防法　無窓階判定計算

階　数	床面積（㎡）	項　目	法定有効開口面積	設計有効開口面積	建具記号	計　算	判　定
1	88.16	(1/30)	2.94	3.20	AW－1	0.8×2.0×2箇所=3.20	OK
2	76.40	(1/30)	2.55	3.20	AW－1	0.8×2.0×2箇所=3.20	OK

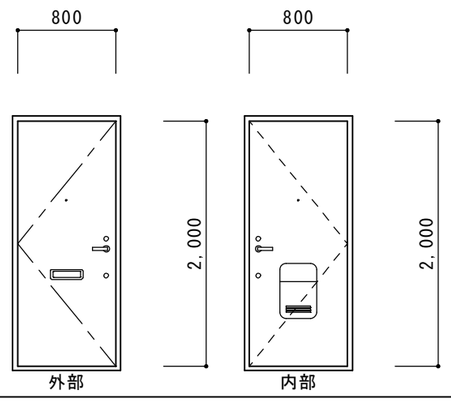
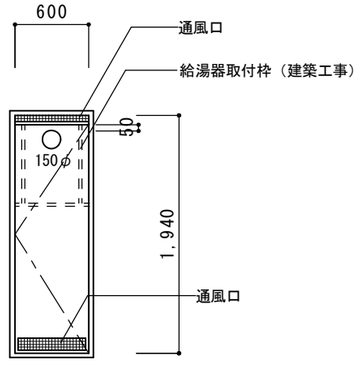
■凡　例

ＦＬ　：フロートガラス

Ｆ　　：型板ガラス

Ａ　　：空気層

ＤＣ　：ドアクローザー

記号・数量	SD 1　4	SD 2　4
形　状		
場　所	玄関	MB・PS
形式・見込	スチール製片開き玄関ドア　　扉：36　枠：80	スチール製片開きドア　　扉：25　枠：33
材質・仕上	扉：化粧鋼板　　枠：亜鉛メッキ鋼板防錆塗装　SOP	扉：亜鉛メッキ鋼鈑防錆塗装　SOP　　枠：亜鉛メッキ鋼鈑防錆塗装　SOP
硝　子		
金　物	掘込型レバーハンドル錠、補助錠、丁番、ドアガード、ドアアイ、ＤＣ、ポストロ、郵便受箱、ステンレス製下枠、ドアストッパー、四方枠防音ゴム付・戸当り	丁番、ケースハンドル、戸当りゴム、通風口（有効開口600cm2以上）、裏面アングル補強
備　考		

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

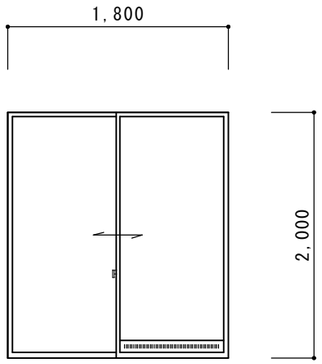
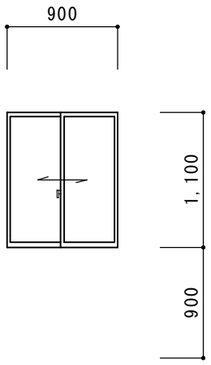
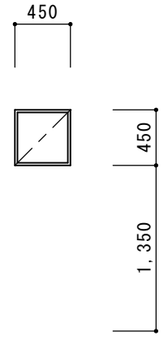
有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400－0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

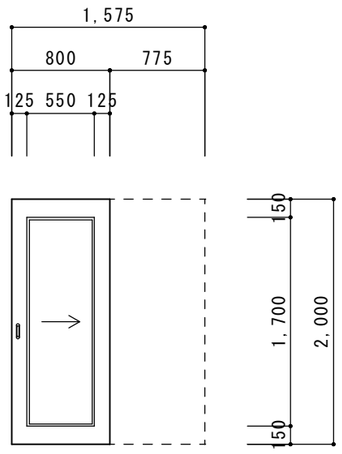
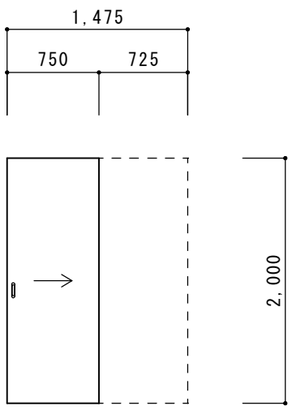
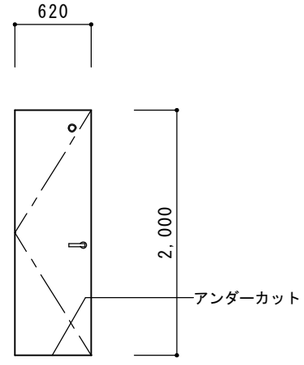
CHECKED　DRAWN

建具表１　1:50

DATE

NO. A－２３

記号・数量	AW 1	4	AW 2	4	AW 3	12
形状						
場所	洋室		洋室		洗面脱衣室、便所、浴室	
形式・見込	アルミ製 引違い窓	70	アルミ製 引違い窓	70	アルミ製 すべり出し窓	70
材質・仕上	アルミ（シルバー）		アルミ（シルバー）		アルミ（シルバー）	
硝子	FL5＋A6＋FL5		FL3＋A6＋FL3		F4＋A6＋FL3	
金物	標準金物一式、ロック付クレセント、アングル、換気框、ステンレス網戸		標準金物一式、ロック付クレセント、アングル、アルミ製水切、ステンレス網戸		標準金物一式、カムラッチハンドル、アングル、アルミ製水切、ステンレス網戸	
備考						

記号・数量	WD 1	4	WD 2	8	WD 3	4
形状	 ※引残し50 ※有効開口幅750以上		 ※引残し50 ※有効開口幅700以上			
場所	洋室		ウォークインクローゼット、洗面脱衣室		便所	
形式・見込	木製額付片引きフラッシュドア	33	木製片引きフラッシュドア	33	木製片開きフラッシュドア	33
材質・仕上	樹脂化粧シート合板		樹脂化粧シート合板		樹脂化粧シート合板	
硝子	F4					
金物	引手、Vレール、戸車、戸当り		引手、Vレール、戸車、戸当り		丁番、レバーハンドル錠（外：非常開放装置／内：サムターン）、戸当り	
備考					DC、プラスチック製明かり窓 30φ	

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号 雨宮健一

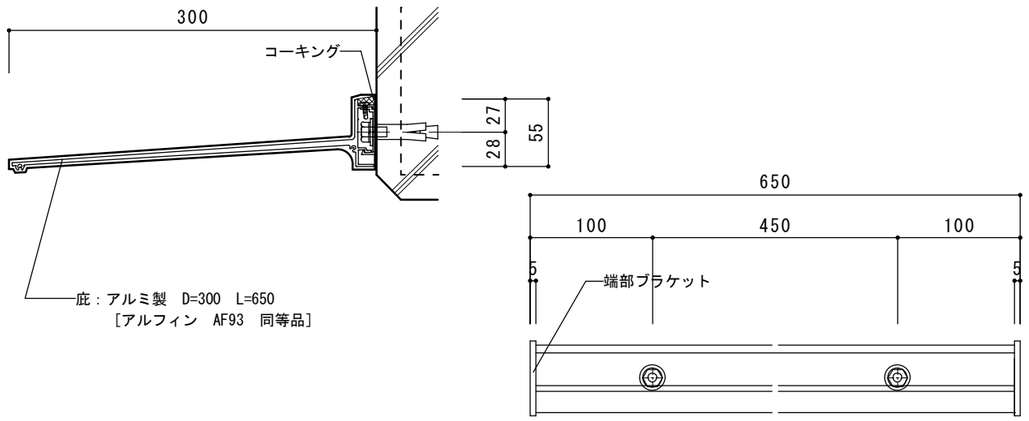
CHECKED | DRAWN

建具表２ 1:50

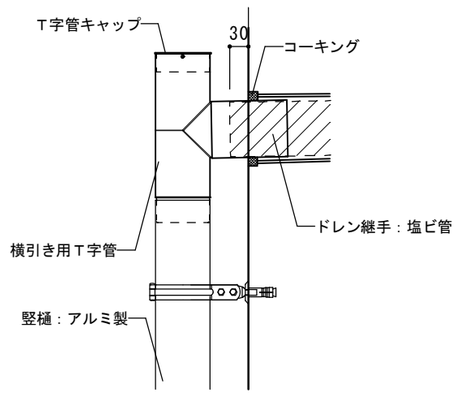
DATE

NO. A−２４

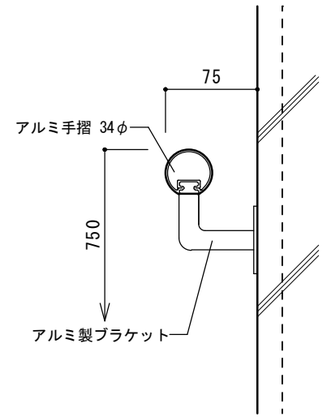
庇詳細図 S=1：5



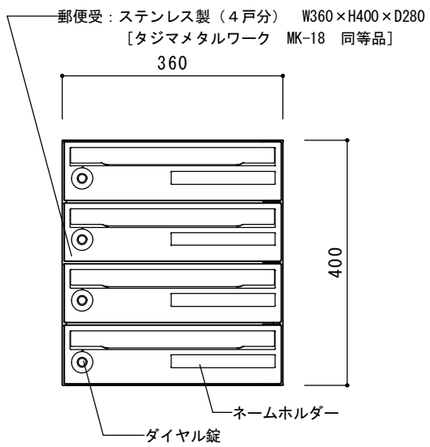
竪樋横引きＴ字管部詳細図 S=1:10

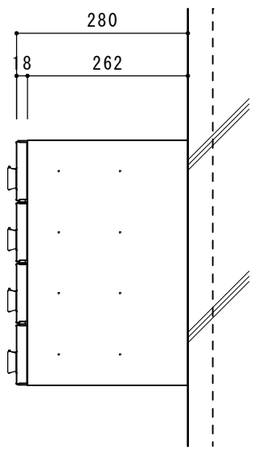


階段手摺詳細図 S=1：5

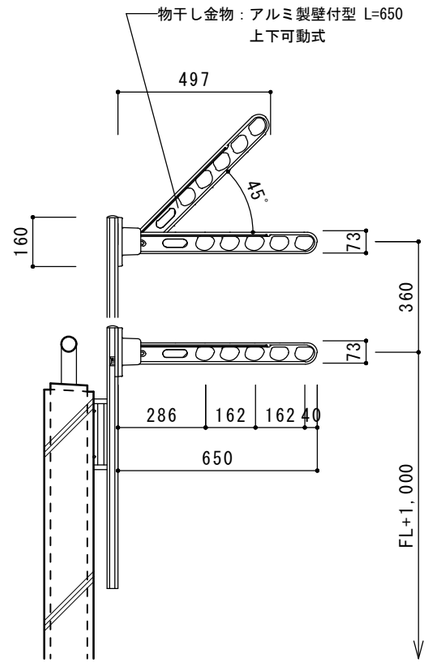


郵便受詳細図 S=1:10

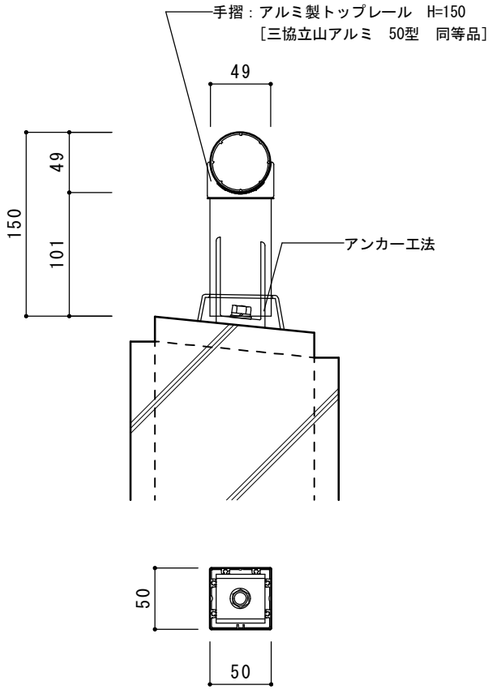




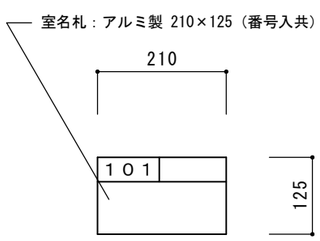
物干金物詳細図 S=1:20



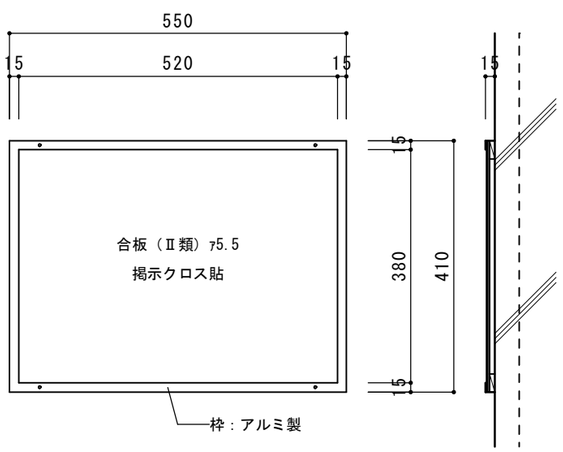
バルコニー手摺詳細図 S=1：5



室名札詳細図 S=1:10



掲示板詳細図 S=1:10



山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号 雨宮健一

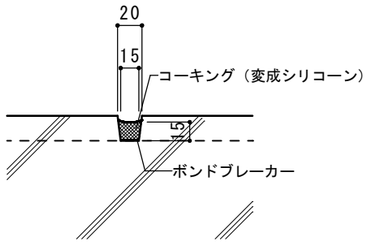
CHECKED DRAWN

部分詳細図１ 1:5 1:10 1:20

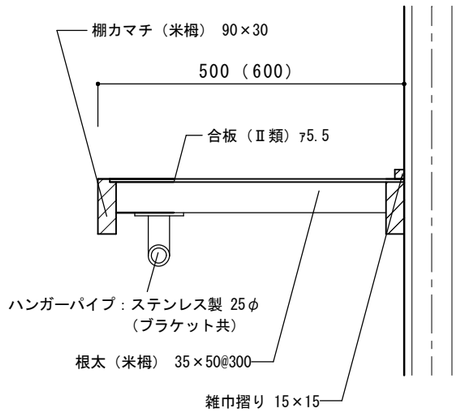
DATE

NO. A－２５

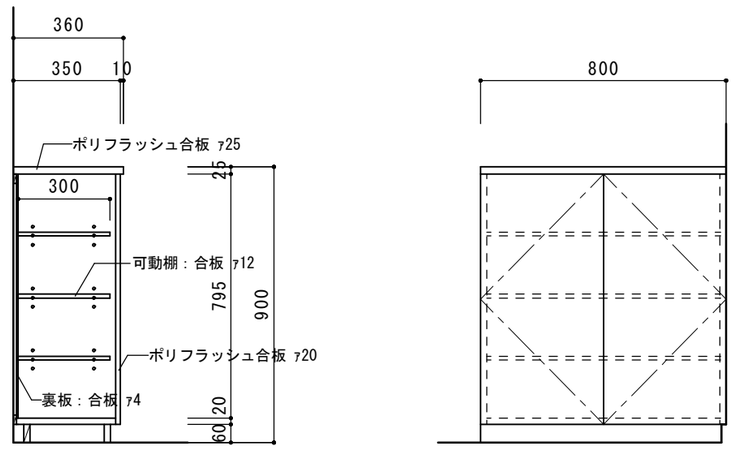
外部誘発目地詳細図　S=1:5



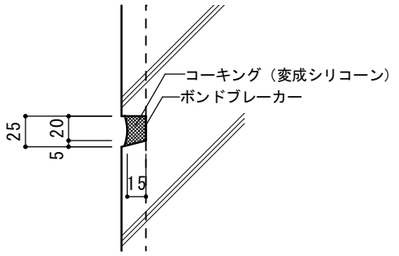
ウォークインクローゼット棚詳細図　S=1:10



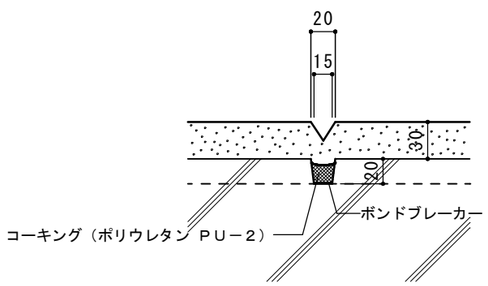
下駄箱詳細図　S=1:20



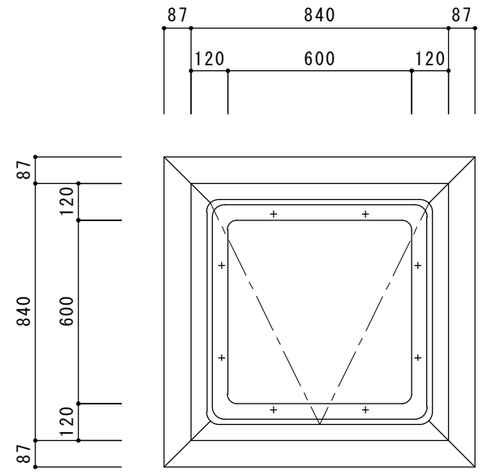
外部打継目地詳細図　S=1:5

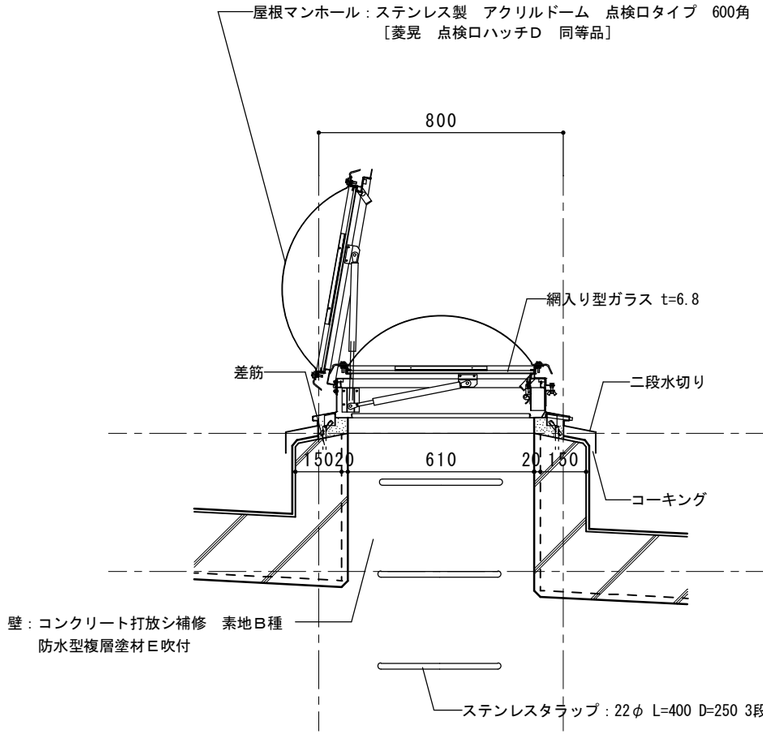


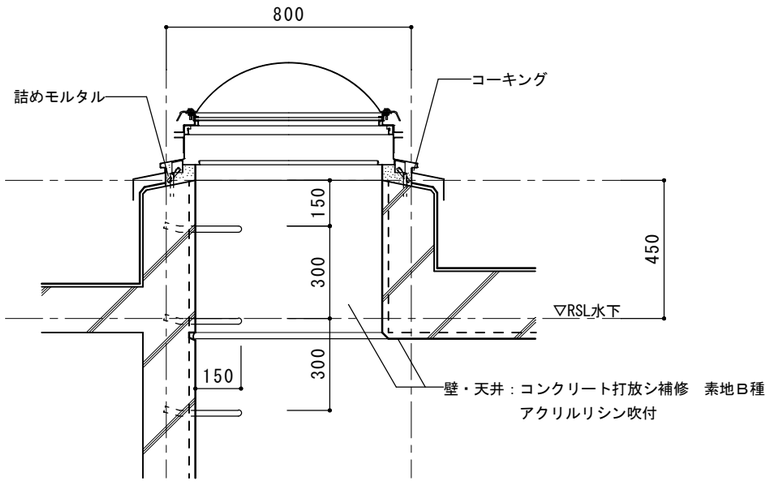
スラブ目地詳細図　S=1:5



屋根マンホール詳細図　S=1:20







山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市蓮沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

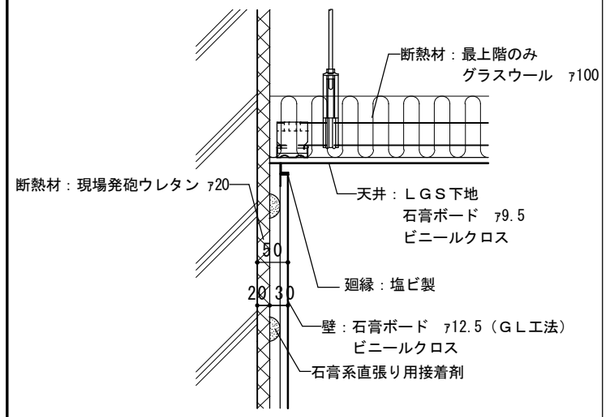
CHECKED　DRAWN

部分詳細図２　1:5 1:10 1:20

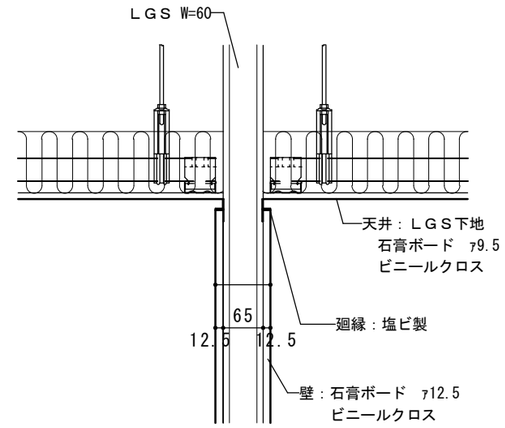
DATE

NO. Ａ－２６

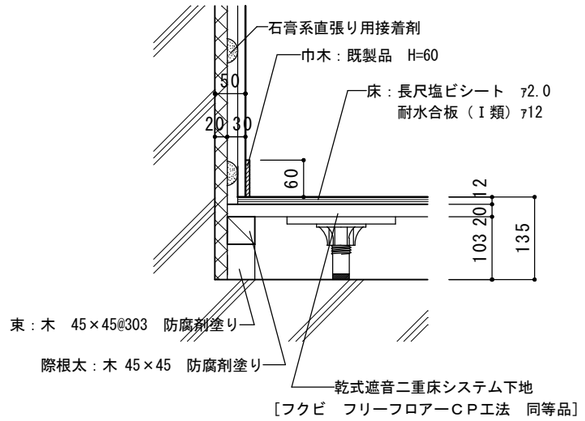
ＬＧＳ天井詳細図（外壁部）　S=1:10



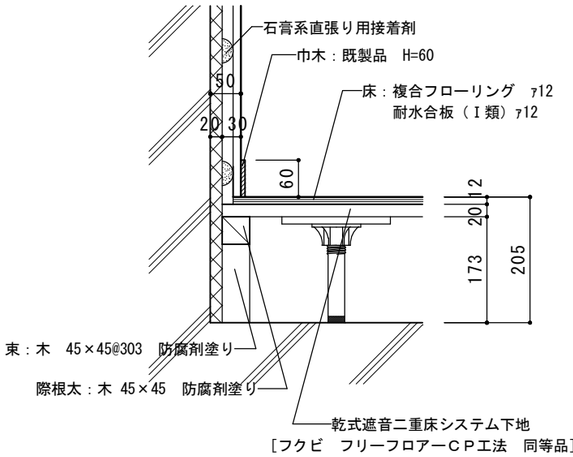
ＬＧＳ天井詳細図（間仕切り壁部）　S=1:10



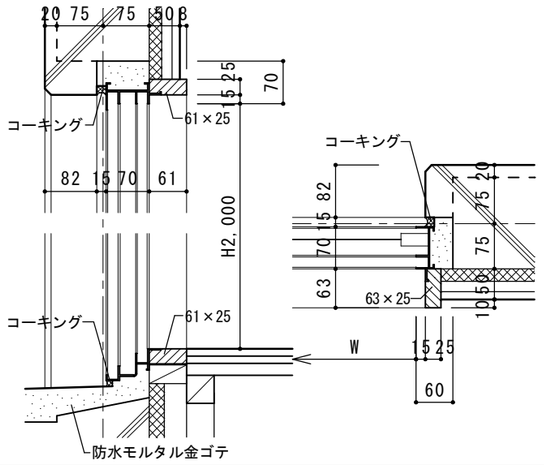
長尺塩ビシート床詳細図（外壁部）　S=1:10



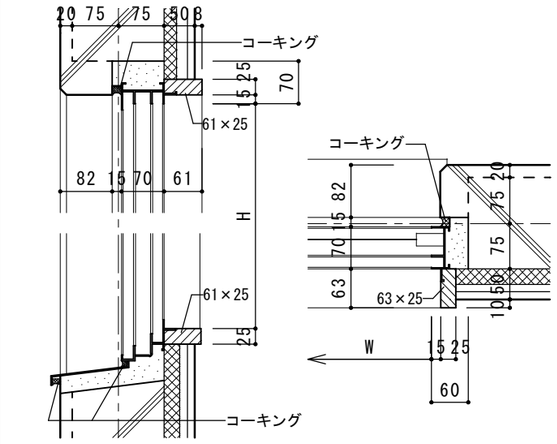
フローリング床詳細図（外壁部）　S=1:10



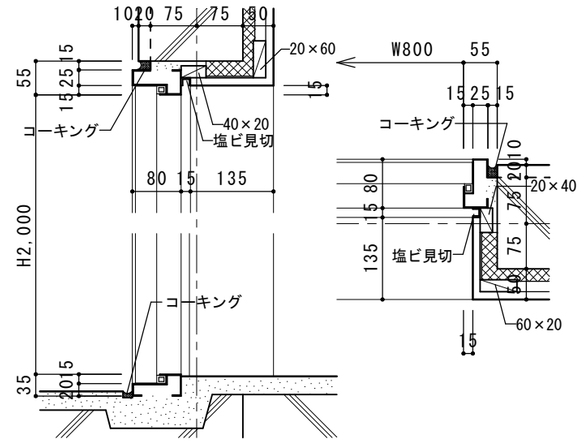
バルコニー側アルミサッシ枠廻り詳細図　S=1:10



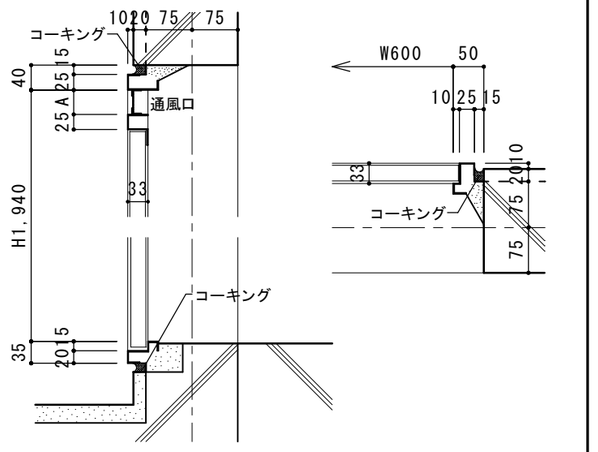
その他アルミサッシ枠廻り詳細図　S=1:10



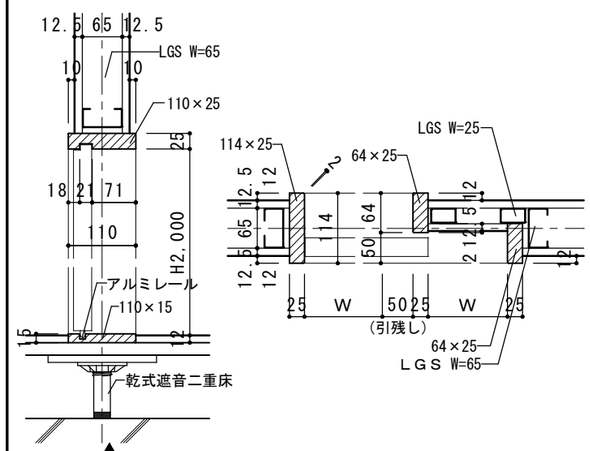
玄関スチールドア枠廻り詳細図　S=1:10



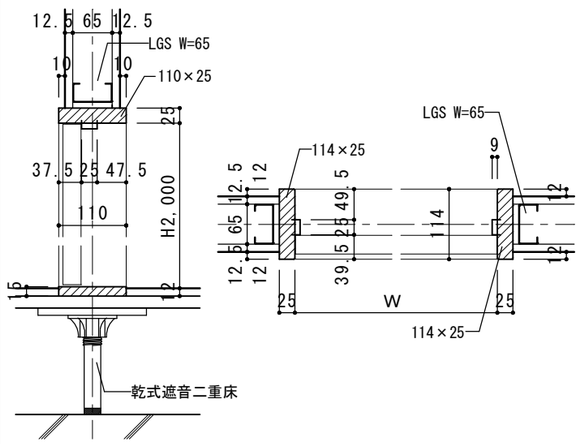
Ｍ・Ｂ扉枠廻り詳細図　S=1:10



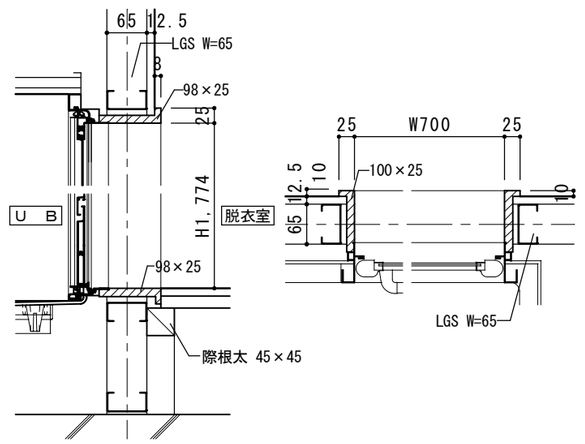
木製片引きドア枠廻り詳細図　S=1:10



木製開き戸枠廻り詳細図　S=1:10



Ｕ・Ｂドア枠廻り詳細図　S=1:10



山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社　竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市湯沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100　FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

部分詳細図３　1:10

DATE

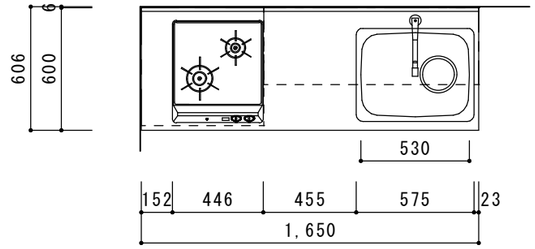
NO. Ａ−２７

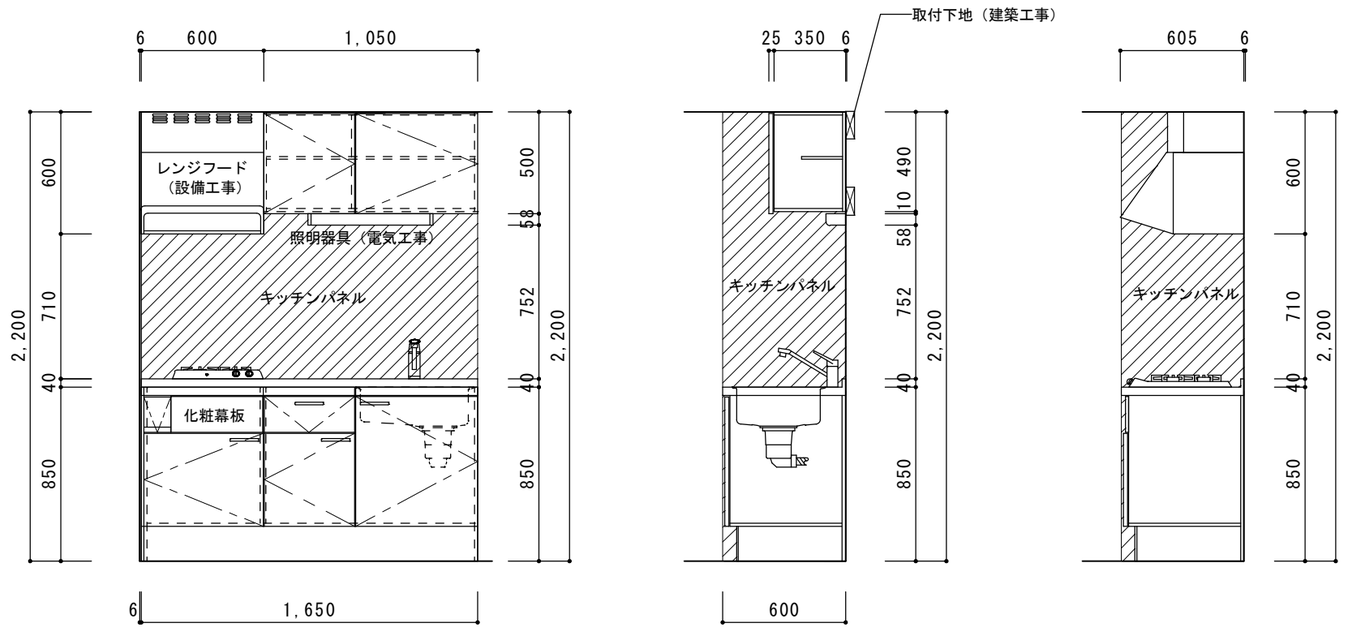
キッチン仕様書［クリナップ　コルティ　Ｍシリーズ　同等品］

品　　名	仕　　様
フロアユニット	タイプ：ベーシックタイプ
	ワークトップ：ステンレス
	シンク：Ｗ５３０シンク
	取手：バー取手
吊　戸　棚	ショート吊戸棚（Ｈ＝５００）
	片側板・底板：不燃仕様
	扉開放防止部品付
加熱機器	２口ガスコンロ（グリルレス）
レンジフード	（設備工事）
照明器具	（電気工事）
水　　栓	シングルレバー水栓
キッチンパネル	不燃認定品
	見切り
そ　の　他	排水用ジャバラホース
	化粧幕板
	取付下地（建築工事）
	シーリング（建築工事）

間口リスト　住戸数４戸

プラン	戸数	間口	備　　考
A	2	１６５０	
B	2	１６５０	





山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社　竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827　山梨県甲府市湯沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100　FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

キッチン詳細図　1:30

DATE

NO. Ａ−２８

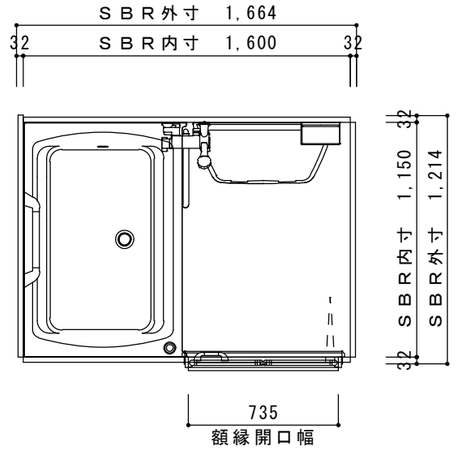
システムバス仕様書

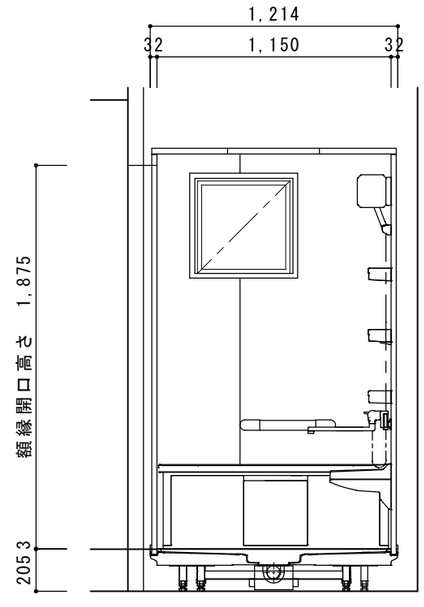
［クリナップ　ｈａｉｒｏ スタンダードプラン　カウンタータイプ　同等品］

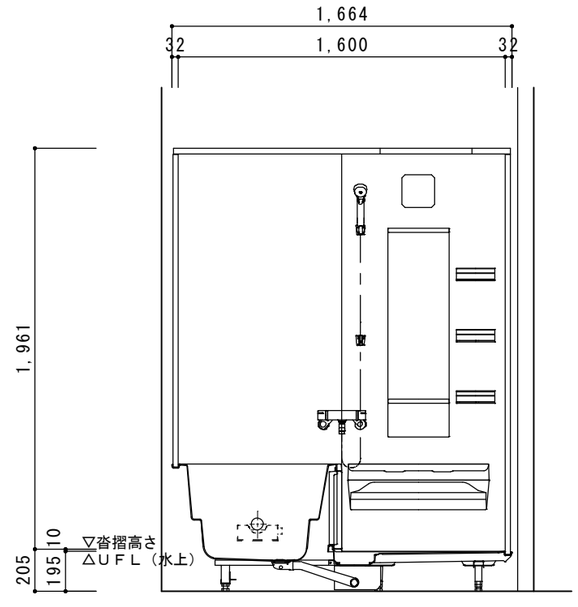
品　　名	仕　　様
浴　　槽	ＦＲＰスレート浴槽
	（高断熱浴槽・ポップアップ排水栓仕様）
ド　　ア	折戸Ｗ８００（ホワイト）
フ　ロ　ア	足ピタフロア（保温材付・フレーム構造）
壁パネル	サンドイッチパネル
	（エンボス＋アクセント鏡面）
天　　井	エコサンドイッチ天井（フラット型）
水　　栓	シャワー付き浴槽・洗い場側兼用サーモ水栓
	（給水給湯配管壁出しアダプター）
換　気　扇	（設備工事）
照　　明	壁付照明（白熱球１灯）
ミ　ラ　ー	スリムロングミラー
収　納　棚	メッキトレー（３段）
風呂フタ	断熱組フタ
そ　の　他	握りバー（浴槽側Ｉ型）
	追炊きアダプター（浴槽穴加工）
	窓接続枠

間口リスト　住戸数４戸

プ　ラ　ン	戸数	間口	備　　考
A	2	１２１６	
B	2	１２１６	







山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社　竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

ユニットバス詳細図 1:30

DATE

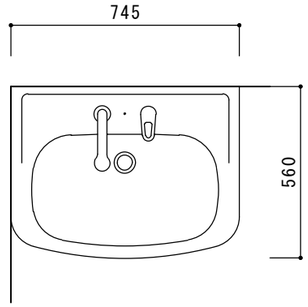
NO. Ａ−２９

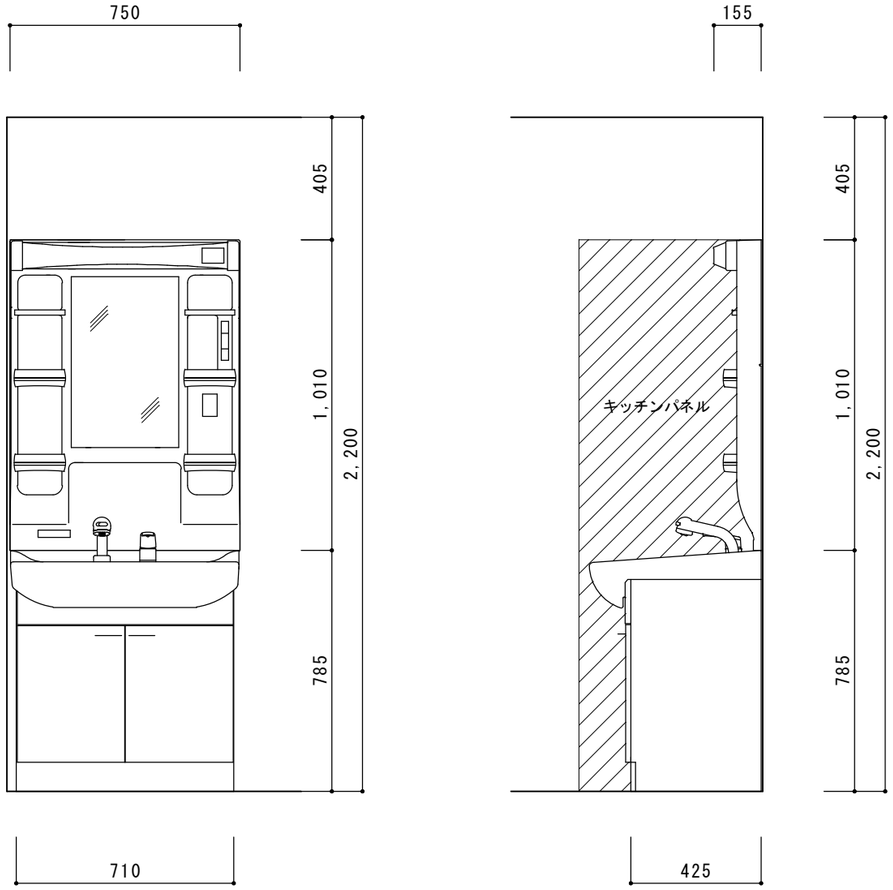
洗面化粧台仕様書［クリナップ　ＢＴＳシリーズ　同等品］

品　　名	仕　　様
洗面化粧台	開きタイプ
ミラーキャビネット	３面鏡・くもり止めヒーター付
水　　栓	シャワー付シングルレバー水栓
キッチンパネル	不燃認定品
	見切り

間口リスト　住戸数４戸

プ　ラ　ン	戸数	間口	備考
A	2	７５０	
B	2	７５０	





山梨県立北病院医師宿舎新築工事

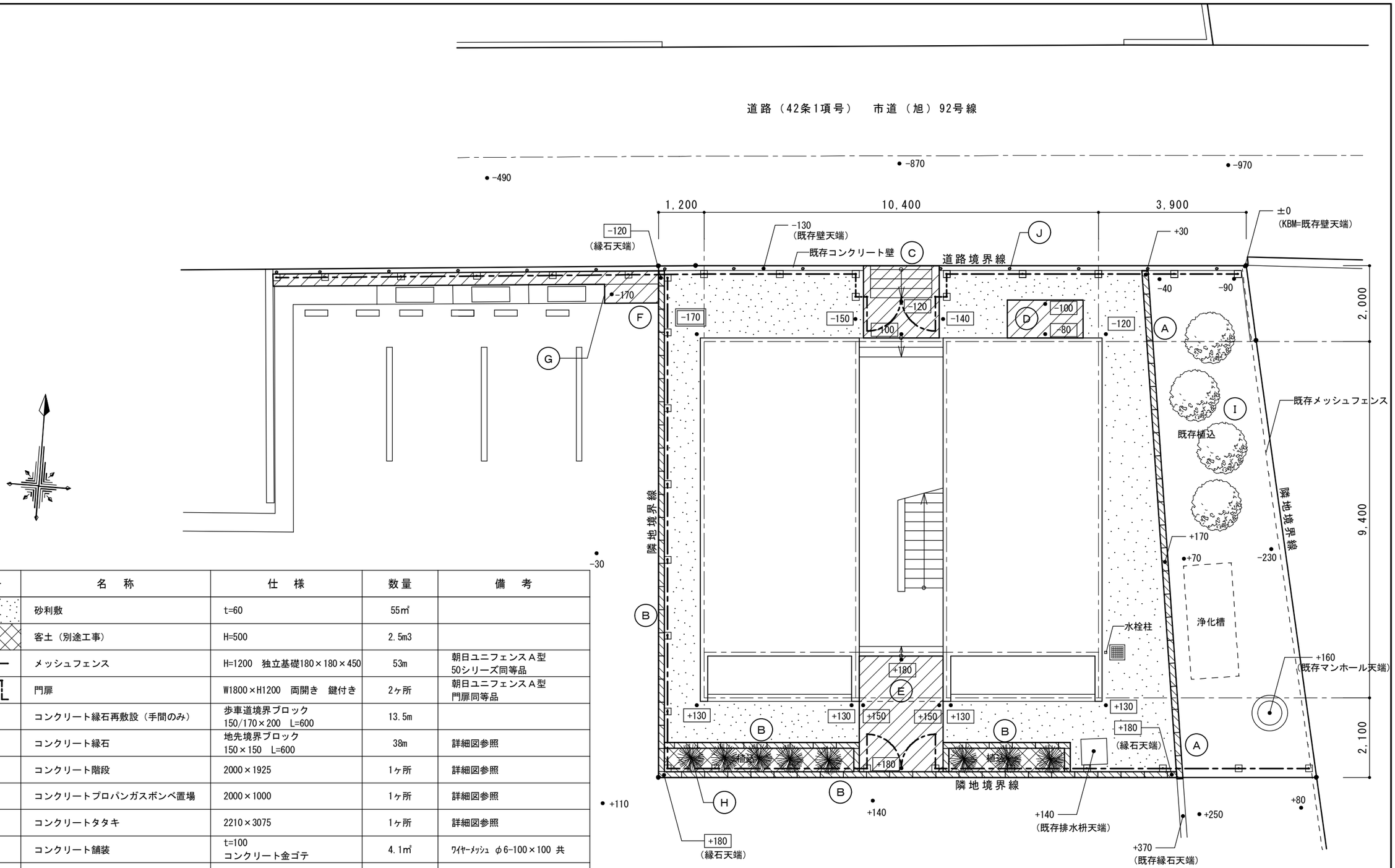
有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

洗面化粧台詳細図　1:20

DATE

NO. Ａ−３０



凡例

記　号	名　称	仕　様	数量	備　考
	砂利敷	t=60	55㎡	
	客土（別途工事）	H=500	2.5m3	
———	メッシュフェンス	H=1200　独立基礎180×180×450	53m	朝日ユニフェンスＡ型 50シリーズ同等品
	門扉	W1800×H1200　両開き　鍵付き	2ヶ所	朝日ユニフェンスＡ型 門扉同等品
Ⓐ	コンクリート縁石再敷設（手間のみ）	歩車道境界ブロック 150/170×200　L=600	13.5m	
Ⓑ	コンクリート縁石	地先境界ブロック 150×150　L=600	38m	詳細図参照
Ⓒ	コンクリート階段	2000×1925	1ヶ所	詳細図参照
Ⓓ	コンクリートプロパンガスボンベ置場	2000×1000	1ヶ所	詳細図参照
Ⓔ	コンクリートタタキ	2210×3075	1ヶ所	詳細図参照
Ⓕ	コンクリート舗装	t=100 コンクリート金ゴテ	4.1㎡	ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ φ6-100×100 共
Ⓖ	コンクリートＶＳ側溝側面塞ぎ	t=100	1ヶ所	ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ φ6-100×100 共
Ⓗ	植栽１（別途工事）	セイヨウベニカナメモチ H=1.5　W=0.4	8ヶ所	
Ⓘ	植栽２（別途工事）	ハナミズキ（白） H=2.5　C=0.1　W=0.6	4ヶ所	ニ脚鳥居支柱（添木付き）共
Ⓙ	フェンス支柱撤去部補修	モルタル補修	15ヶ所	

凡　例

※ □ 内数値は、計画レベルを示す。

※ ▭ 内数値は、建物設計ＧＬを示す。

※上記以外の数値は、現況レベルを示す。

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400-0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED

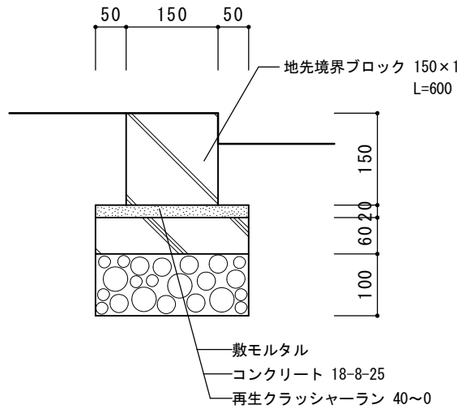
DRAWN

外構図　1:100

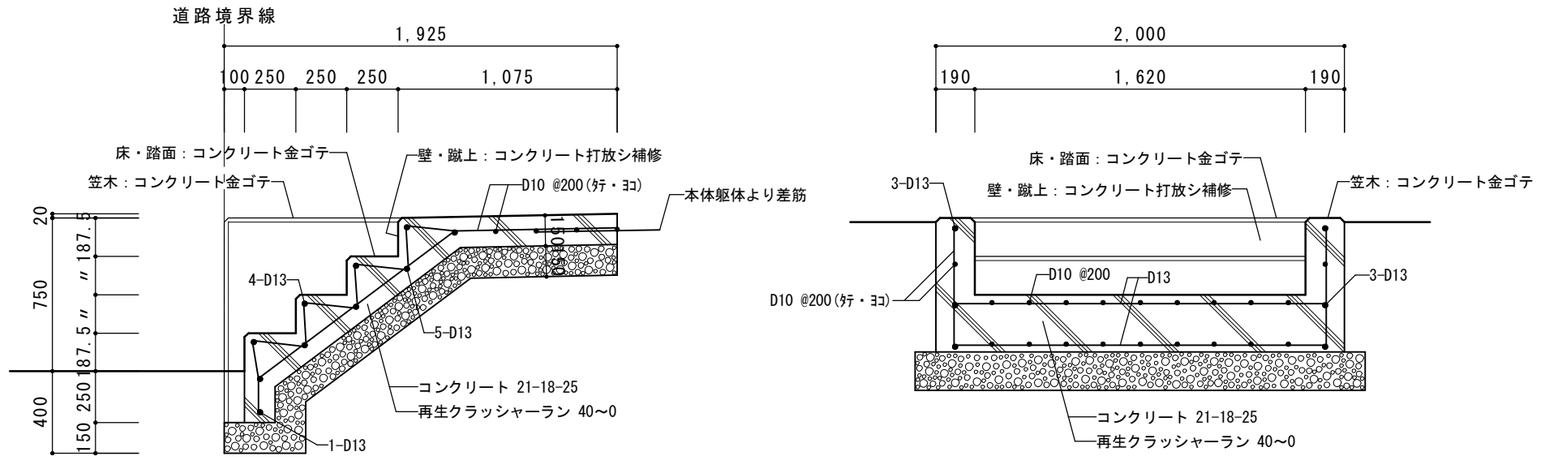
DATE

NO. Ａ－３１

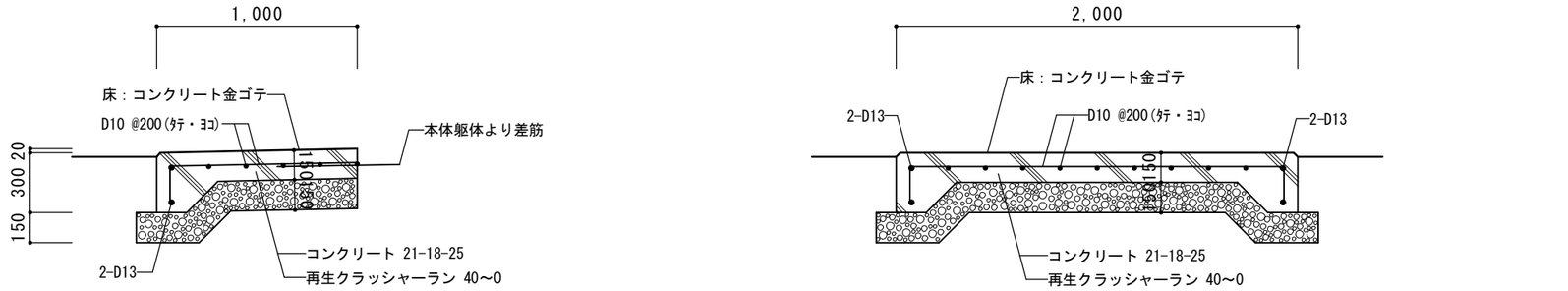
コンクリート縁石　S=1:10



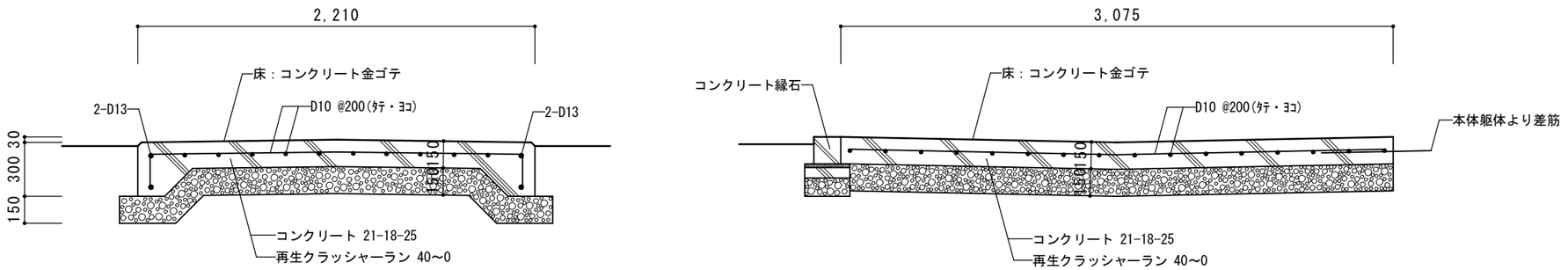
コンクリート階段　S=1:30



コンクリートプロパンガスボンベ置場　S=1:30



コンクリートタタキ　S=1:30



山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400-0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

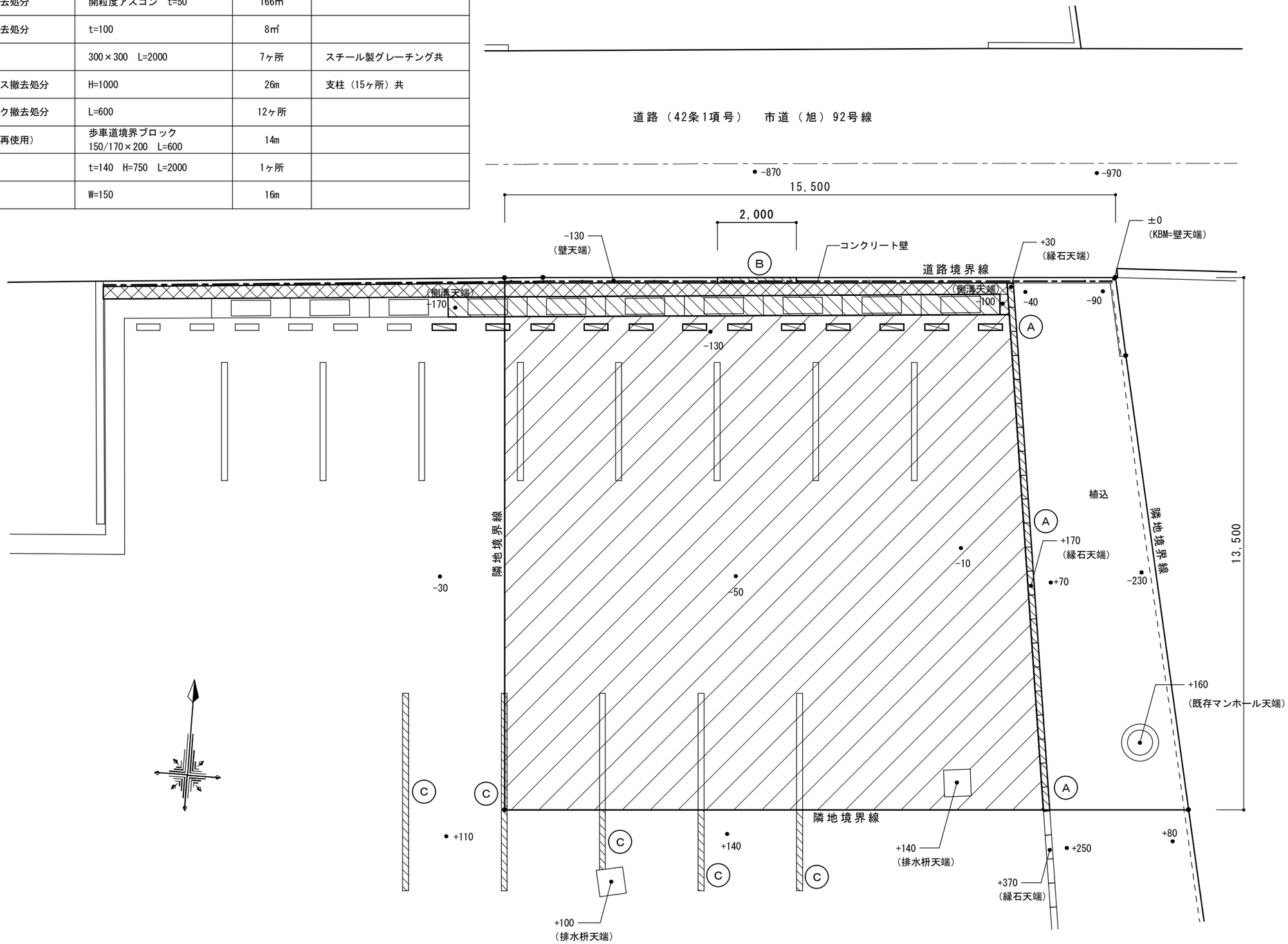
外構詳細図　1:10 1:30

DATE

NO. A－３２

凡例

記　号	名　称	仕　様	数量	備　考
	アスファルト舗装表層撤去処分	開粒度アスコン　t=50	166㎡	
	コンクリート舗装表層撤去処分	t=100	8㎡	
	ＶＳ側溝撤去処分	300×300　L=2000	7ヶ所	スチール製グレーチング共
— — —	スチール製ネットフェンス撤去処分	H=1000	26m	支柱（15ヶ所）共
	コンクリート駐車ブロック撤去処分	L=600	12ヶ所	
Ⓐ	コンクリート縁石撤去（再使用）	歩車道境界ブロック 150/170×200　L=600	14m	
Ⓑ	コンクリート壁撤去処分	t=140　H=750　L=2000	1ヶ所	
Ⓒ	駐車ライン撤去処分	W=150	16m	



山梨県立北病院医師宿舎新築工事

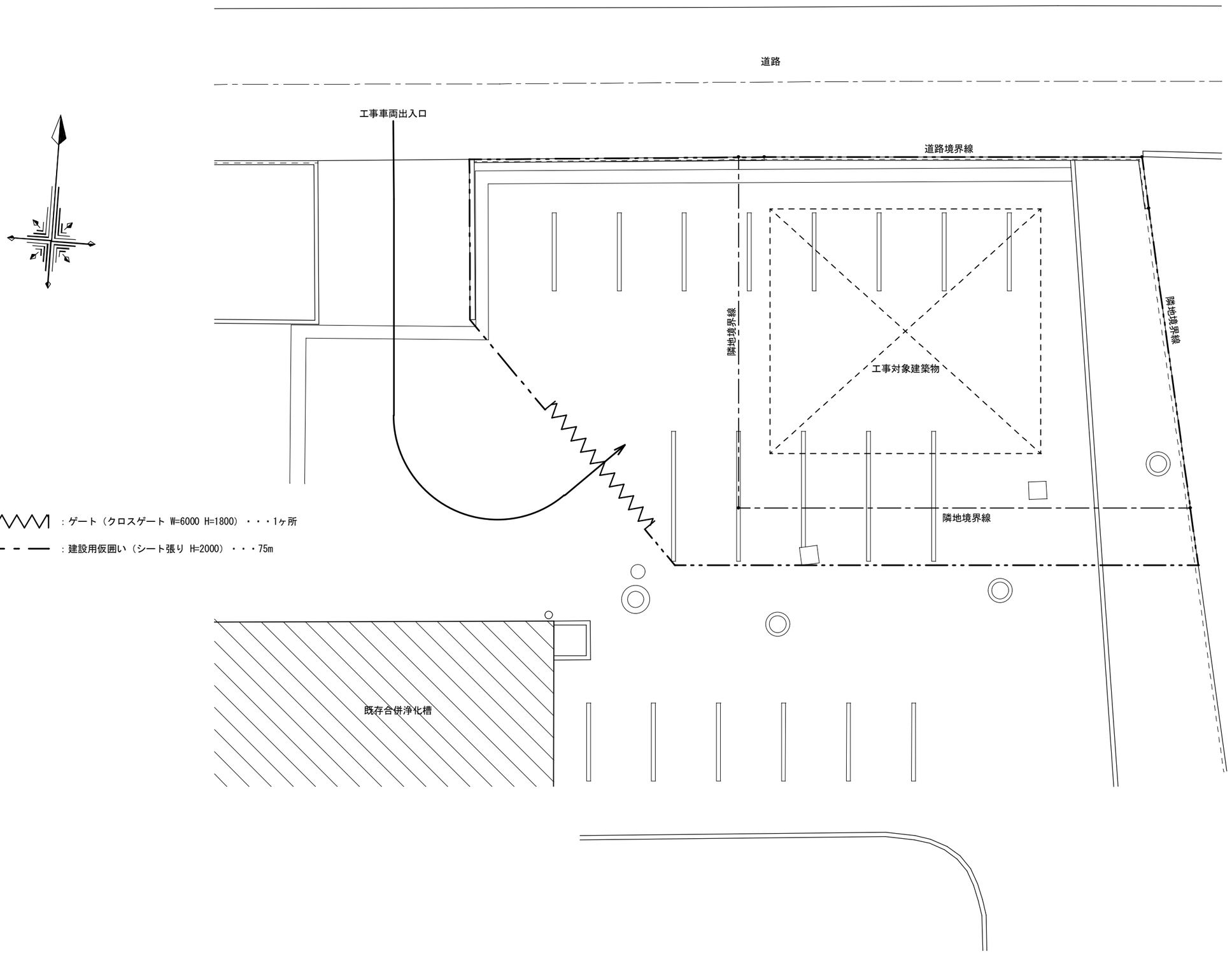
有限会社　竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市蓮沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

解体図　1:100

DATE

NO. A－３３



※凡　例

：ゲート（クロスゲート W=6000 H=1800）・・・1ヶ所

：建設用仮囲い（シート張り H=2000）・・・75m

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED

DRAWN

仮設計画図　1:150

DATE

NO. A－３４

平成22年 7月 1日　発行　社団法人　東京都建築士事務所協会　　監修　東京都建築構造行政連絡会

構　造　設　計　標　準　仕　様

＊修正箇所は下線を引くこと
適用は ◉ 印を記入する

1．建築物の構造内容

(1)　建築場所 山梨県韮崎市旭町上条南割字外御勅使3314-13の一部
(2)　工事種別　◉ 新築　□ 増築　□ 増改築　□ 改築
(3)構造設計一級建築士の関与　□ 必要　◉ 必要としない
□ 法第20条第一号（高さ 60 m超）
□ 法第20条第二号（□RC造高さ 20 m超 □ S造 4階建以上 □ 木造高さ 13 m超 □ その他）
注（3）構造設計一級建築士の関与が義務づけられる建築物については解説書等を参照して確認する事。
(4)　構造種別
□ 木造　(W)　□ 補強コンクリートブロック造（CB）　□ 鉄骨造（S）
□ 鉄筋コンクリート造（RC）　◉ 壁式鉄筋コンクリート造（WRC）
□ 鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）　□ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）
□ プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC）
(5)　階 数
1 棟　　地下 0 階　　地上 2 階　　塔屋 0 階
(6)　主要用途
(7)　屋上付属物
□ 高架水槽　　kN　□ キュービクル　　kN　□ 広告塔　□ 煙 突
(8)　特別な荷重
□ エレベータ　人乗（マシンルームレス　ロープ式　油圧式□ リフト　kN　□ ホイスト　kN
□ 倉庫積載床用　　N/m^2　□ 受水槽　kN
(9)　付帯工事
□ 門塀　□ 擁壁　□ 駐輪場　□ 機械式駐車場　□　　□
(10)　増築計画　□ 有（　　）　◉ 無
(11)　構造計算ルート　X方向ルート　－（1　）　Y方向ルート　－（1　）

2．使用建築材料表・使用構造材料一覧表

(1)　コンクリート　（レディーミクストコンクリートJIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308）

適用箇所	種　類	設計基準強度 Fc=N/mm^2	品質基準強度 Fq=N/mm^2	スランプcm	備考
捨てコンクリート	◉ 普通	18			
土間コンクリート	◉ 普通	21	21	18	
基礎、基礎梁	◉ 普通	21	21	18	
全階	□普通 □軽量				
	□普通 □軽量				
	□普通 □軽量				
	□普通 □軽量				
押えコンクリート	□普通 □軽量				

細骨材の種類	□ 砂　□ 山砂　□ 人工
粗骨材の種類	□ 砂利　□ 砕石　□ 人工
水の区分	□水道水　□地下水　□工業用水
混和材料の種類（JIS　）	□AE減水剤　□高性能AE減水剤
呼び強度を保証する材齢、養生	□ 材齢 28日　□ 56日　□　　） □ 養生現場封かん□現場水中□ 標準　□　）

◉ 単位水量は185ｋｇ/m^3 以下、単位セメント量は270ｋｇ/m^3 以上とする。

(2)コンクリートブロック　（□ JIS A 5406 ）
□ A種　□ B種　□ C種　厚 □00　□120　□150　□190 使用箇所（　　）

(3)鉄　筋

種　類	径	使用箇所	継手工法
◉ SD295A	D16以下	主筋 スターラップ	◉ 重ね継手　D16以下 ◉ ガス圧接継手D19以上
◉ SD345	D19	主筋	□ 溶接継手
□ SD390			□ 機械式継手
□ SD490			（　　）
□ 材種			
□ 大臣認定番号 MSRB-			
□ SR235			
□	φ4.5～φ6	防水押え、壁開口補強	

異形鉄筋（JIS G 3112）
高強度せん断補強筋
丸鋼（JIS G 3112）
溶接金網（JIS G 3551）□

各継手の使用詳細については、本仕様 5.(2)鉄筋の項の鉄筋継手等の■にて表示すること。

耐圧盤主筋は重ね継手とする。

(4)鉄　骨

種　類	使用箇所	現場溶接	JIS規格・認定番号
□ SS400　□ SM400　□SN400A,B,C		□ 有□ 無	JIS G 3136，3101
□STKR400　□STKR490　□STK400		□ 有□ 無	JIS G 3444
□BCR295　□BCP235　□BCP325		□ 有□ 無	大臣認定品　認定番号 MSTL-9021
□SM490A　□SN490B　□SN490C		□ 有□ 無	JIS G 3136
□SSC400　□		□ 有□ 無	JIS G 3350
溶接材料　□JIS Z			

○使用箇所の詳細については別途図示とする。

(5)ボルト
□ 高力ボルト
□ F10T(JIS B1186)　□ S10T認定番号（　　）　□ S10T認定番号（　　）　□ M16□ M20　□ M22　□ M24)
□ ボルト(JIS B1186)　M　　M　　□ 4.8(4T)
□アンカーボルト
□ ABR400　　M 20　L= 600 mm　ナット(□ シングル□ ダブル)
□ SS400　　M 32　L= 1000 mm　ナット(□ シングル□ ダブル)
□頭付スタッド
φ=　　L=　　mm　　使用箇所 □ 柱 □大梁　□小梁)
φ=　　L=　　mm　　使用箇所 □ 柱 □大梁　□小梁)

(6)　屋根、床、壁

材　種	型式　厚　その他	使用箇所	仕様・構法
アスロック　(JIS A 5416)	厚	□ 壁　□ 床版	□ スライド □ ボルト止め □ ロッキング□
折版	ﾊｰ　厚	□ 屋根 □	□ ｺﾞﾑﾌﾞﾗｰﾌ
特殊デッキプレート　(JIS G 3352)	型式　厚	□ 床版 □	□
デッキプレート　(JIS G 3352)	型式　厚	□ 床版 □	□
キーストンプレート　(JIS G 3352)	型式　厚	□ 床版 □	□

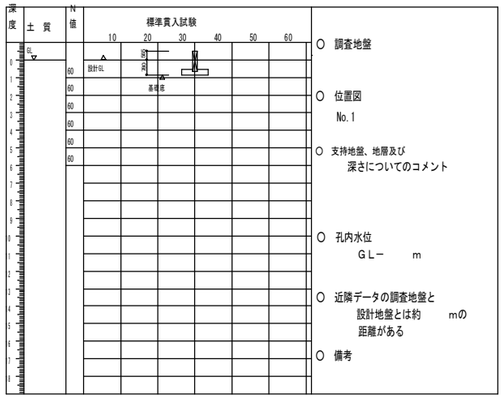
3．地　盤

(1地盤調査資料と調査計画
◉ 有（◉ 敷地内□ 近隣）　□ 無（調査計画　□有　□無）

調　査　項　目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査			静的貫入試験			標準貫入試験		
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理探査		
試験杭(支持層の確認)			平板載荷試験			液状化判定		
スエーデン式サウンディング	●		現場透水試験			PS検層		

注）　上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに ●記入する。

(2)ボーリング標準貫入値、土質構成　（基礎、杭の位置を明記すること）



注）　地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭頭、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4．地業工事

(1) 直接基礎　□ ベタ基礎　◉ 布基礎　□ 独立基礎　試験堀　□ 有 □ 無
深さ GL-780　支持層　砂礫　長期許容支持力度 100kN/m^2　載荷試験　□ 有 □ 無
(2) 地盤改良　□ 浅層混合処理工法　□ 深層混合処理工法　□
深さ　長期許容支持力度　－　載荷試験　□ 有 □ 無
注）「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：日本建築センター2002」を参考とする

(3) 杭基礎　支持層　－

杭　種	材　料	施　工　法	備　考
□RC □PRC □PHC □ H鋼 □鋼管 □ 摩擦杭 □ SC杭	RRC□Ⅰ種 □Ⅱ種 □Ⅲ 種) PHC□A種 □B種 □ C種 鋼材 □ SS400 □ □JIS	□ 打ち込み □ 埋込み(セメントミルク工法 □プレボーリング拡大根固め工法 □	認定第　号 年　月　日
□ 場所打ち コンクリート杭	コンクリートFc= 27N/mm^2 Fq= 30N/mm^2 スランプ 21 cm以下 セメント量 330 kg/m^3 単位水量 kg/m^3	□ オールケーシング □ 拡底杭 □ リバースサーキュレーション □ アースドリル□ ミニアース □ BH □ 深礎 □ 手堀 □ 拡頭杭 □ 機械堀	□ BCJ評定工法 BCJ-FD-0277-01~04 BCJ-FD-0356-01
□鋼管 SKK490	鉄筋 主筋 SD 390 HOOP SD 295A		

杭仕様　□ 施工計画書承認　□ 杭施工結果報告書
試験杭　（□ 有　□無 ）　□ 打ち込み・　□載荷・　□孔壁測定）　本

杭径 (mm)	許容支持力 (KN)	杭の先端の深さ (m)	本 数	特記事項

5．鉄筋コンクリート工事　（施工方法等計画書）

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度（Fc）が36 N/mm 以下に適用し、鉄筋の材種は SD390 以下に適用する。

(1)　コンクリート
◉コンクリートは JIS A 5308 に適合するＪＩＳ認定工場の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、ＪＡＳＳ５（2009）による。
◉ 耐久設計基準強度 Fd　□一般 ◉ 標準□ 長期
◉セメントは、ＪＩＳ　Ｒ５２１０の普通ポルトランドセメントを標準とする。
◉調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
◉寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
◉フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごと撮影した写真（カラー）を提出し承認を測定検査の回数は、通常の場合、１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。
◉躯体コンクリートについて現場の圧縮強度試験方法は JASS 5T-603 によることとし、供試体は現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごとによる。
また、打ち込み量が１５０m^{3}をこえる場合は１５０m^{3}ごとまたは、その端数ごとに1回を標準とする。
1回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、１回当り６本以上とし、そのうち４週用に３本を用いる。
◉ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さはコンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が２５℃未満の場合は１５０分以内、２５℃以上の場合は１２０分以内とする。
◉コンクリート打込み中及び打込み後５日間は、コンクリートの温度が２度を下らないようにする。
◉乾燥、振動等のよってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。

(2)　鉄　筋
◉鉄筋はＪＩＳ Ｇ３１１２の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、コンクリートと同様にＪＡＳＳ５による。
□高強度せん断補強筋は、ＪＩＳ　Ｇ　３１３７に規定されるＤ種Ⅰ号適合品とする。
◉鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは『鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）』または『壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）』による。
◉鉄筋継手等

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級 (1) 引張力最小部位	(2) (1) 以外の部位 (注) A級	B級	SA級	鉄筋の径
◉ 重ね継手	◉ 40d □ 35d □（　）d				◉ D（16）以下
◉ 圧接継手	◉ 告示1463号第2項各号	□			◉ D（19）以上
□ 溶接継手	□ 告示1463号第3項各号	□	□		□ D（　）以上
□ 機械式継手	□ 告示1463号第4項各号	□	□	□	□ D（　）以上

注）　(1) 以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって『鉄筋継手使用基準（建築物の構造関係技術基準解説書2007）』によって検討した部材の条件・仕様によること。
◉Ｄ１９未満は、すべて重ね継手とする。
◉継手部分の施工要領は　社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」（ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事）による。
継手部の検査方法：・外観検査　◉ 有 □ 無・引張試験 ◉ 有 □ 無超音波探傷試験 ◉ 有 □ 無
ガス圧接部分の検査を超音波探傷試験によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し、1回の試験は3本以上とする。（1ロットは同一作業班が同一日に作業した圧接箇所で200箇所程度とする）
◉ 柱の帯筋（ＨＯＯＰ）の加工方法は、　◉ H型（タガ型）　□ W型（溶接型）　□ S型（スパイラル型）とする。
◉ コンクリート及び鉄筋の試験は『建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱』第４条の試験機関で行うこと。
試験・検査機関名（監理者の指定する機関または業者）　（都知事登録　　号）
代行業者名
代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

(3)　型　枠
◉ 材料　合板厚１２m／m を標準とする。　◉ 施工はＪＡＳＳ５による。
◉ 型枠存置期間

種類 / 部位	せき板 基礎、はり側、柱、壁	せき板 スラブ下、はり下	支柱 スラブ下	支柱 はり下
存置期間の平均気温 / セメントの種類	早強ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント
	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種
コンクリートの材令（日） 15℃以上	2 / 3 / 4	6	8 / 17	28
5℃～15℃	3 / 5 / 6	10	12 / 25	28
5℃未満	5 / 8	10	16	15 / 28
コンクリートの圧縮強度	5.0N/mm^2	設計基準強度の 50%	設計基準強度の 85%	100%

注）　1　片持ばり、庇、スパン　９．０m以上の梁下は、工事監理者の指示による。
注）　2　大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注）　3　支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）　4　盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注）　5　支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。
一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注）　6　上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。
注）　7　直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛りかえを行わないこと。
注）　6　支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

6．鉄骨工事　（施工方法等計画書）

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
◉ 日本建築学会　「ＪＡＳＳ　６」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
◉ 社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
□ 鉄骨制作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」
(2) 工事監理者の承認を必要とするもの
□ 製作工場　◉ 製作要領書　◉ 工作図　◉施工計画書
◉ 認定または登録工場（大臣認定 ＳＨＭＲＪ　グレード　都登録 T1 T2 T3　ランク）
◉ 材料規格証明書※または試験成績書
◉ 鋼材　◉ 高力ボルト　◉ 特殊ボルト　□ 頭付スタッド
※社）日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート。
◉ 社内検査表　□　□
(3)工事監理者が行う検査項目
（□ 印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること ）
◉ 現寸検査　◉ 組立・開先検査　◉ 製品検査
◉ 建方検査　□　□
(4) 接合部の溶接は下記によること
◉ 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロ
◉ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱（建築構造設計指針第12章）
◉ 日本建築学会『溶接工作規準、同解説　，，，，，，，，，』
◉ 日本建築学会『鉄骨工事技術指針・工事現場施工編』
：Ⅰ ：Ⅱ ：Ⅲ ：Ⅳ ：Ⅴ ：Ⅵ ：Ⅶ ：Ⅷ ：Ⅸ
(5)接合部の検査
◉ 溶接部の検査（　検査結果は後日工事監理者に報告すること ）

検査箇所	検査方法	検査単又は検査数 社内	第三者	工事監理者	備考
◉ 完全溶込み溶接部（突合せ溶接）	外観検査　(＊)	100 ％個	30 ％個	30 ％個	＊平成12年建設省告示第1464号第二号のよる（目視及び計測）
□	超音波探傷検査	100 ％個	30 ％個	承認％個	注）東京都の要綱に基づき、必要となる建築物の場合に実施する。
	内質検査（注） □硬さ試験	％個	％個	％個	
	内質検査（注） □示温塗料塗布	％個	％個	％個	
	マクロ試験・その他	個	個	個	
□	外観検査　(＊)	％個	％個	％個	
第三者検査機関名		（都知事登録　　号）			

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注1）現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと
注2）知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること

◉ 高力ボルトの検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）
軸力導入試験　□ 要 ◉ 否　高力ボルトすべり係数試験 □ ◉要　否
◉ 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、共回り等の異常が無いことを確認する。
◉ トルシヤ形高力ボルトは二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。
(6) 防錆塗装
□ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の　部分とする。
錆び止めペイントは、□ＪＩＳ Ｋ５６２１、□ＪＩＳ Ｋ５６２５、□　を使用して、４つ星２回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
□ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調査は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し２回塗りとする。
(7) 耐火被覆の材料
□

7．設備関係

◉ 建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
◉ 建築設備の支持構造部および緊結金物には、錆止め等、防腐のための有効な措置を講じること。
◉ 建築物に設ける屋上からの突出する水槽・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。
◉ 煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造とすること。
◉ 設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。
◉ 設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
□ エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
◉ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。
◉ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の３倍以上かつ5cm以上を原則とする。

8．その他

◉ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
◉ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
◉ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。
■ 小梁はSS400以上とし部材ｻｲｽﾞは上位部材に変更の場合は可とする
■ SN490C材料が入手困難な場合はSM490Cとする
■ 高力ﾎﾞﾙﾄ（ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ、高力六角ﾎﾞﾙﾄ）とする
■ ｸﾚﾃﾞｨｯﾄは指定ﾒｰｶｰ以外でも可能とする
■ 露出柱脚金物既製品は指定ﾒｰｶｰ（大臣認定品）以外でも大臣認定品ならば可とする
■ 溶接材料は母材強度以上とする
■ ノンスカラップ工法でも可能とする
■ 柱梁接合部の板厚の調整は現寸により工事管理者の承認を得ること

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社　竜巳一級建築設計事務所
〒400－0827 山梨県甲府市湯沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

構造設計
河野忠建築設計事務所 Tel.055-228-4658
１級建築士事務所　NO1-23772
400-0043　山梨県甲府市国母2-17-1
一級建築士　河野忠　NO195052
構造設計一級建築士　NO1966

CHECKED　DRAWN

構造設計標準仕様

DATE

NO. S－1

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

１．一般事項

（１） 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

（２） 記号

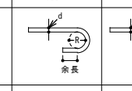
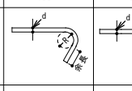
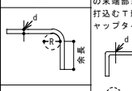
d･･･異形棒鋼の呼び名に用いた数値　　D･･･部材の成　　R･･･直径

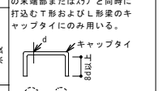
@･･･間隔　　r･･･半径　　G･･･中心線　　l o･･･部材間の内法距離　　h o･･･部材間の内法高さ

ＳＴ･･あばら筋　　ＨＯＯＰ･･･帯筋　　Ｓ．ＨＯＯＰ･･･補強帯筋　　φ･･･直径

２．　鉄筋加工、かぶり

（１） 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の余長	4d以上	6d以上（*4d以上）	8d以上（*4d以上）



鉄筋は、ＳＤ295Ａ、ＳＤ295Ｂ、ＳＤ345を使用する。
折曲げ内法寸法Ｒは、Ｄ16以下は、3d以上、Ｄ19以上は4d以上

（２） 鉄筋中間部の折曲げの形状　鉄筋の折曲げ角度９０°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内のり寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	ＳＤ295Ａ ＳＤ295Ｂ、ＳＤ345	Ｄ16以下	3d以上
			Ｄ19以上	4d以上
	上記以外の鉄筋	ＳＤ295Ａ ＳＤ295Ｂ、ＳＤ345	Ｄ16以下	
			Ｄ19～Ｄ25	6d以上

（３） 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲（N／mm²）	定着の長さ 一般（L2）	定着の長さ 下ば筋（L3） 小梁	定着の長さ 下ば筋（L3） スラブ	特別の定着及び重ね継手の長さ（L1）
SD295A SD295B SD345	21　22.5　24	35d または 25d フックつき	25d または 15d フックつき	10d かつ 15cm以上	40d または 30d フックつき
	18	40d または 30d フックつき			45d または 35d フックつき

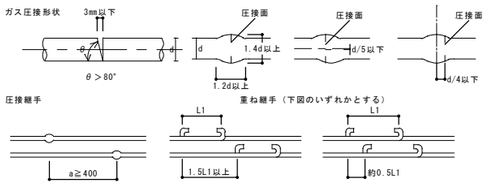
コンクリートは普通Ｆｃ＝14.7Ｎ／mm²以上26.5Ｎ／mm²以下、軽量Ｆｃ＝14.7Ｎ／mm²以上23.5Ｎ／mm²以下

継　手

１．　末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない

２．　継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする

３．　直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする



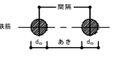
（４） かぶり厚さ （単位：mm）

構造部分	細小かぶり厚さ（mm）	鉄筋かぶり厚さ（mm）
屋根スラブ　・　床スラブ　・　片持ちスラブ(2)　・　非耐力壁	20(1)	30(1)
耐力壁　・　壁梁　・　小梁　・　片持ち梁	30(1)	40(1)
土に接する耐力壁　・　床スラブ　・　布基礎の立上り部分 基礎つなぎ梁	40	50
基　礎　（捨コンクリート部分を除く）	60	70

（注）（１） 耐久性上有効な仕上げがない場合は、室内・屋外にかかわらず10mm増しとする。
又、軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。

（２） 片持ちスラブ先端は、最小かぶり30mmとする。［8-(1)の ⓒ 参照］

（５） 鉄筋のあき



a. 異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上

b. 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上

（６） 鉄筋のフック （a~fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。）

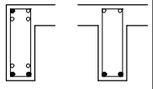
a. 壁長が1m以下の壁横筋の末端　b. あばら筋、帯筋　c. 煙突の鉄筋

d. 柱、梁（基礎梁は除く）の出すみ部分の鉄筋（右図参照）

e. 単純梁の下端筋

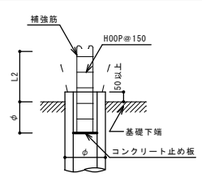
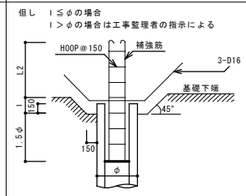
f. その他、本配筋標準に記載する箇所

●印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要



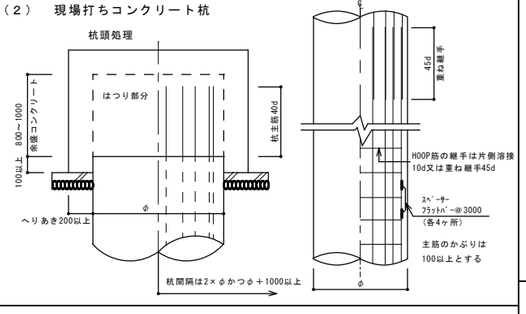
３．杭（地震力等の水平力を考慮する必要のある場合は、別途検討すること。）

（１） ＰＲＣ杭、又はＰＨＣ杭の全てに補強を行う

所定の位置に止まった場合	所定より低く止まった場合
	

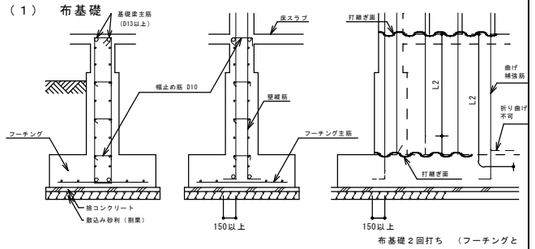
杭　径	300φ、350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補強筋	6－Ｄ13	8－Ｄ13	10－Ｄ13	8－Ｄ16	10－Ｄ16
ＨＯＯＰ	Ｄ10@150				

（２） 現場打ちコンクリート杭

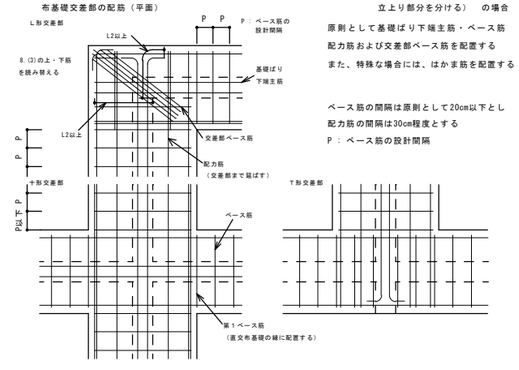


４．基　礎

（１） 布基礎

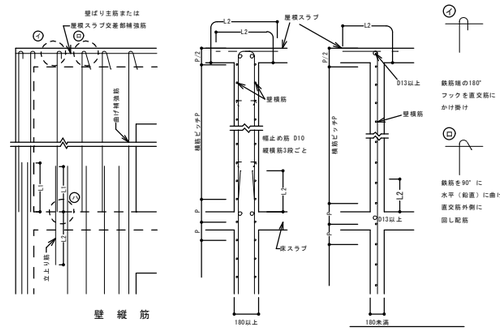


布基礎交差部の配筋（平面）



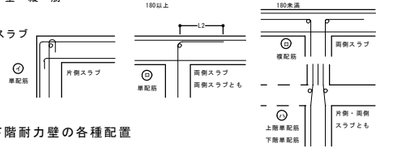
５．耐力壁

（１） 縦筋・曲げ補強筋・縦補強筋の定着

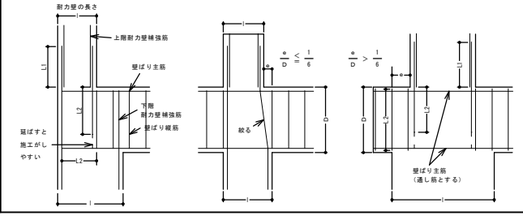


壁　縦　筋

耐力壁と床・屋根スラブ

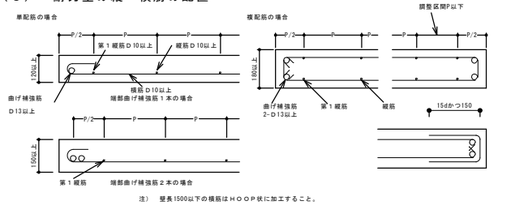


（２） 上・下階耐力壁の各種配置



発行　社団法人　東京都建築士事務所協会　　監修東京都建築構造行政連絡会　　平成３年１２年　　＊無断転載を禁ず

（３） 耐力壁の縦・横筋の配置

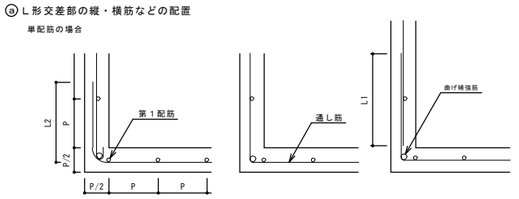


注）　壁長1500以下の横筋はＨＯＯＰ状に加工すること。

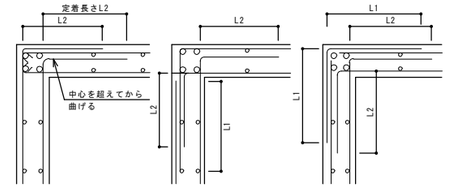
（４） 耐力壁が交差する場合（平面）

ⓐ Ｌ形交差部の縦・横筋などの配置

単配筋の場合

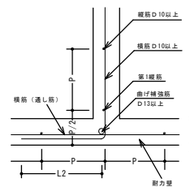


複配筋の場合

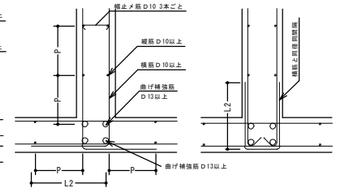


ⓑ Ｔ形交差部の縦・横筋の配置

単配筋の場合

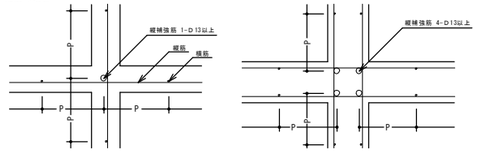


複配筋の場合



ⓒ 十形交差部の縦・横筋などの配置

単配筋の場合



６．使用可能な鉄筋の最大径（標準）

部位 ＼ 構造種別	耐力壁	壁梁 がりょう 小梁	布基礎 基礎 基礎梁	スラブ	非耐力壁	塀
壁式鉄筋コンクリート造	Ｄ22	Ｄ22	Ｄ25	Ｄ16	Ｄ16	Ｄ16

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400－0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
ＴＥＬ 055（235）4100 ＦＡＸ 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

構造設計
河野忠建築設計事務所 Tel.055-228-4658
１級建築士事務所　NO1-23772
400-0043　山梨県甲府市国母2-17-1
一級建築士　河野忠　NO195052
構造設計一級建築士　NO1966

CHECKED

DRAWN

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図１

DATE

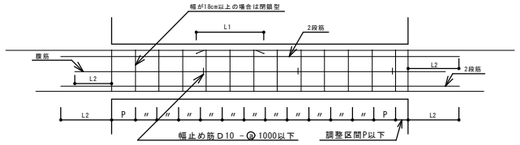
NO. Ｓ－２

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

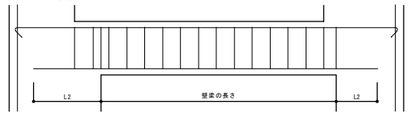
Ｌ＝鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）の２ー（３）による。

７．壁梁、小梁

（１） 壁梁の標準配筋図

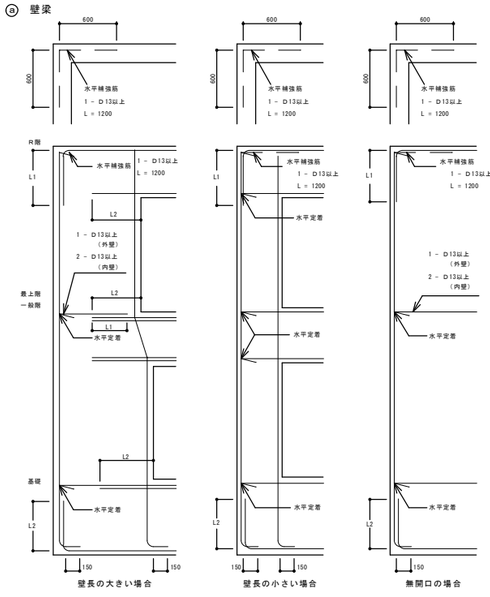


（２） 壁梁の範囲

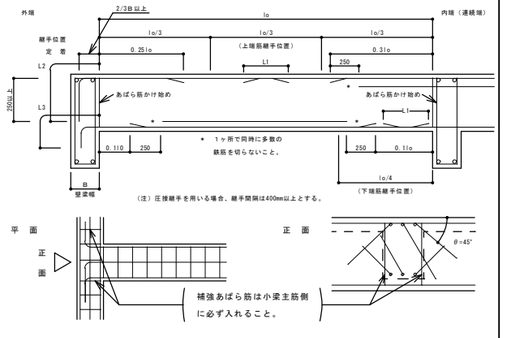


（３） 定着

ⓐ 壁梁

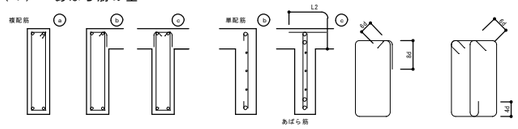


ⓑ 小梁の定着・継手位置およびトップ筋長さ



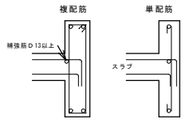
（注）圧接継手を用いる場合、継手間隔は400mm以上とする。

（４） あばら筋の型



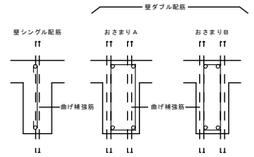
（イ）原則としてⓒのフック先曲げとする。
片側床版付（Ｌ型）梁でⓑ、
両側床版付（Ｔ型）梁でⓒとすることができる。
（ロ）フックの位置はⓒにあっては交互、
ⓑにあってはスラブ側とする。

逆梁



（５） 壁梁と壁のおさまり

壁梁の幅は耐力壁の厚さ以上とする



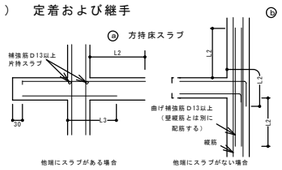
おさまり	はり主筋	曲げ補強筋 D13	曲げ補強筋 D16	おさまり	はり主筋	曲げ補強筋 D13	曲げ補強筋 D16
A	D13	180	180	B	D13	195	200
	D16	180	190		D16	195	210
	D19	190	200		D19	205	220

（注）かぶり厚さ40mmの場合

８．床　板

（１） 定着および継手

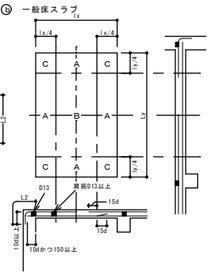
ⓐ 方持床スラブ



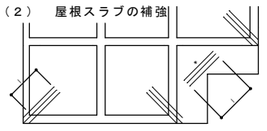
継手位置は原則として下表による。

		標準継手位置
上端筋	短辺方向	B
	長辺方向	B
下端筋	短辺・長辺方向	A　C

ⓑ 一般床スラブ



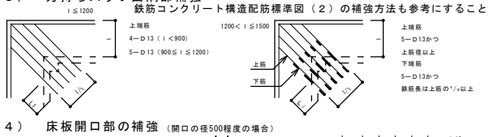
（２） 屋根スラブの補強



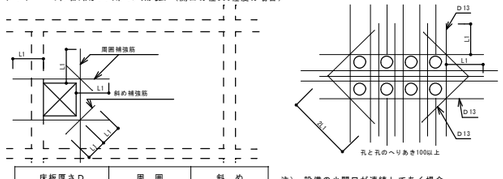
ⓐ 補強筋は各3-Ｄ13又はスラブ主筋の同一径でl＝1,500とし、上端筋の下に配筋する
ⓑ ＊の個所（入隅）は各階補強する

（３） 方持ちスラブ出隅部補強

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）の補強方法も参考にすること



（４） 床板開口部の補強（開口の径500程度の場合）

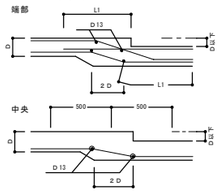


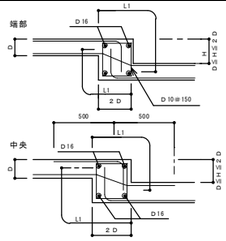
床板厚さD	周囲	斜め
Ｄ≦150	各2－D13	各1－D13
150＜Ｄ≦200	各2－D13	各2－D13

注）設備の小開口が連続してあく場合は縦、横、斜補強筋とは別に開口によって切られる鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

（５） 床板段差

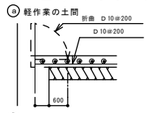
端部



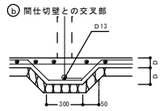


（６） 土間コンクリート

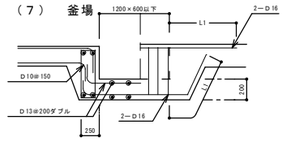
ⓐ 軽作業の土間



ⓑ 間仕切壁との交叉部



（７） 釜場

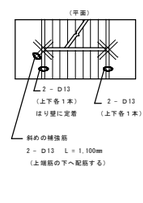


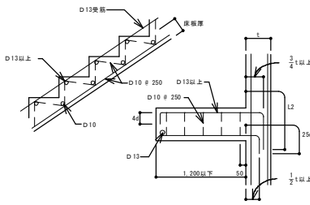
（８） 打継ぎ補強（ダメ穴打継面について）

・設計配筋間隔の1／2ピッチ　長さ２Ｌ１以上
・無筋部分Ｄ10－@200　長さ800以上

９．階　段

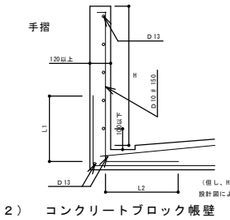
片持ち階段

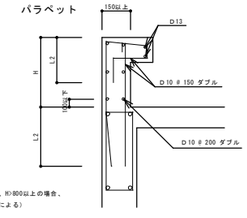




１０．その他

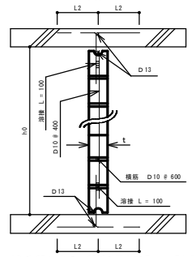
（１） 手摺、パラペット



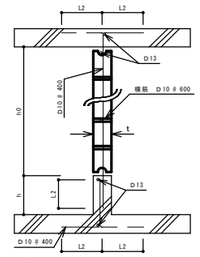


（２） コンクリートブロック帳壁

一般の場合



下部防水立上りのある場合



注）　h0≦25ｔ　かつ　3500以下とする。　但し直交方向　25t以内に壁、又は柱がある場合は除く
注）　h≦コンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、　200≦h≦400
注）　鉄筋挿入部はモルタルを充てんすること。

発行　社団法人　東京都建築士事務所協会　　監修東京都建築構造行政連絡会　　平成６年８月　　＊無断転載を禁ず

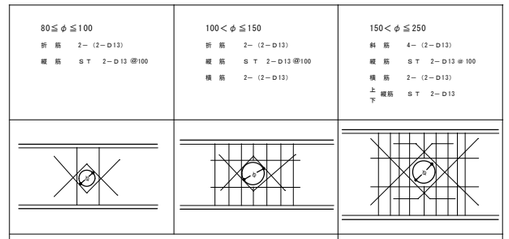
１１．梁貫通孔補強

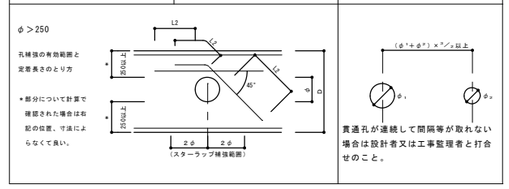
（１） 既製品（使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せのこと）

□リング型　□パイプ型　□金網型　□プレート型　□

（２） 鉄筋標準配筋　但しφ≦Ｄ／３とする

設置可能範囲　梁端部（スラブL/10以内かつ2D以内）は避ける





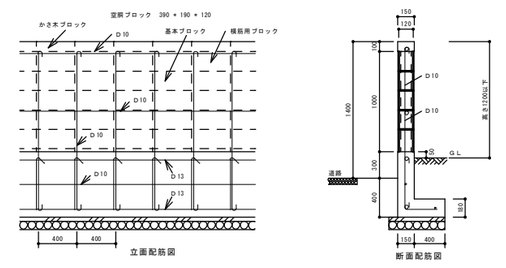
１２．コンクリートブロック塀

（１） ブロック塀の高さ・厚さと基礎の構造

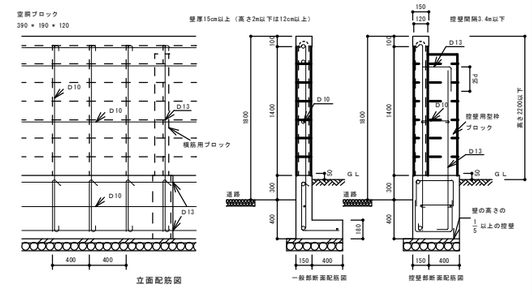
a. 塀の高さ（地盤面に高低差のある場合は低い方による）は2.2m以下
b. 塀の厚さは、塀の高さ2m以下の場合は12cm以上、2mを超える場合は15cm以上。
C. 地盤が液状化の恐れのある砂質土および軟弱土の場合は、別途検討する。
d. 鉄筋挿入部はモルタルを充てんすること。

控壁のない塀例　高さ1.2m以下

縦筋は、ブロックの空洞部内で重ね継ぎをしてはならない。



控壁のある塀　高さ2.2m以下



山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社　竜巳一級建築設計事務所
〒400－0827 山梨県甲府市湯沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

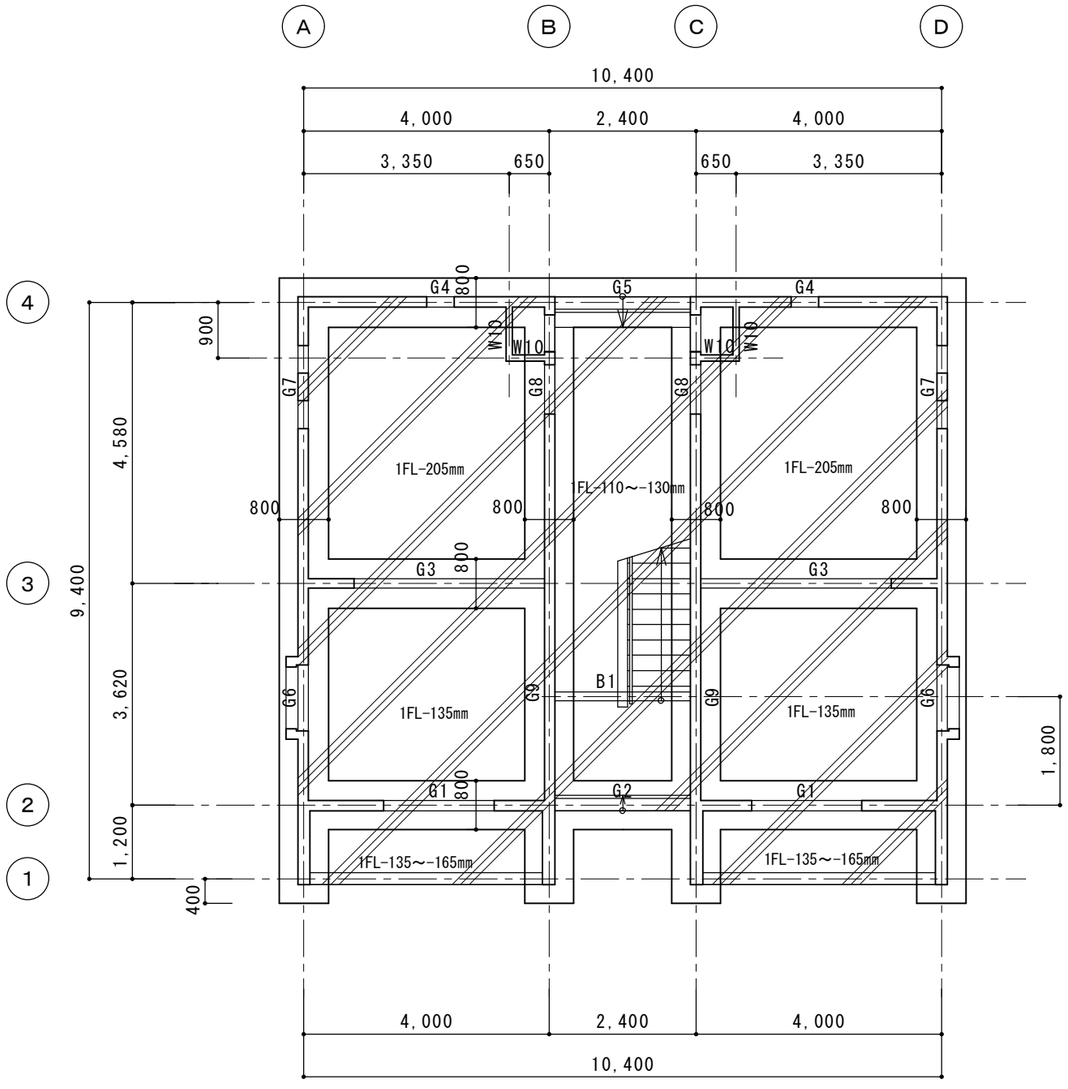
構造設計
河野忠建築設計事務所　Tel.055-228-4658
１級建築士事務所　NO1-23772
400-0043　山梨県甲府市国母2-17-1
一級建築士　河野忠　NO195052
構造設計一級建築士　NO1966

CHECKED　DRAWN

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図２

DATE

NO. S－３



特記なき壁はｱ150㎜とする

基礎伏図　S=1:100

許容地耐力　100.0ＫＮ／㎡

28Fq＝21N/㎟

土間ｺﾝｸﾘｰﾄ　28Fq＝21N/㎟

鉄筋　SD-295A(D10～D16)SD-345(D19以上)

実施に当たり上記仮定数値に相違あるときは設計変更を行う

尚、地耐力は現地にて確認すること

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400-0827 山梨県甲府市湯沢１丁目１７番２４号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

構造設計
河野忠建築設計事務所 Tel.055-228-4658
１級建築士事務所　NO1-23772
400-0043　山梨県甲府市国母2-17-1
一級建築士　河野忠　NO195052
構造設計一級建築士　NO1966

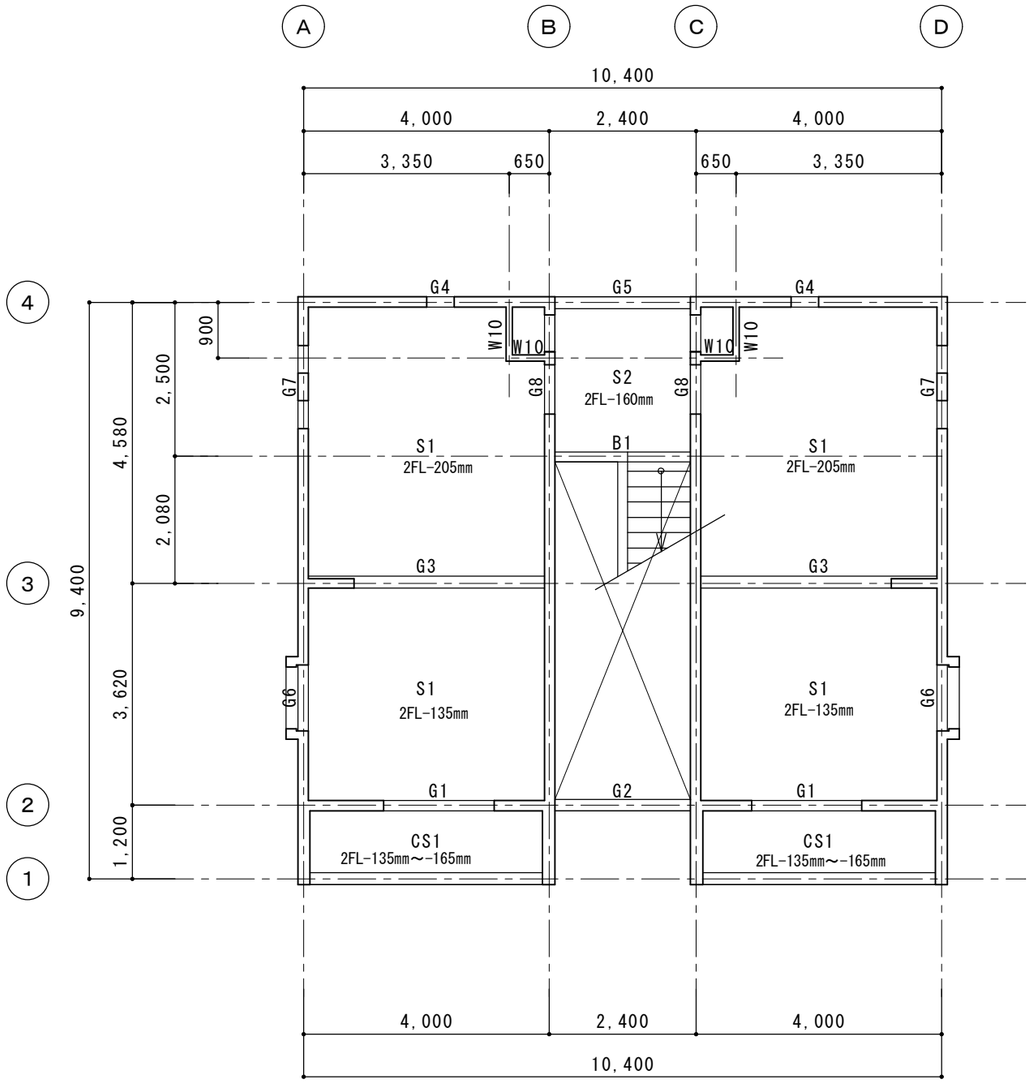
CHECKED

DRAWN

基礎伏図　1:100

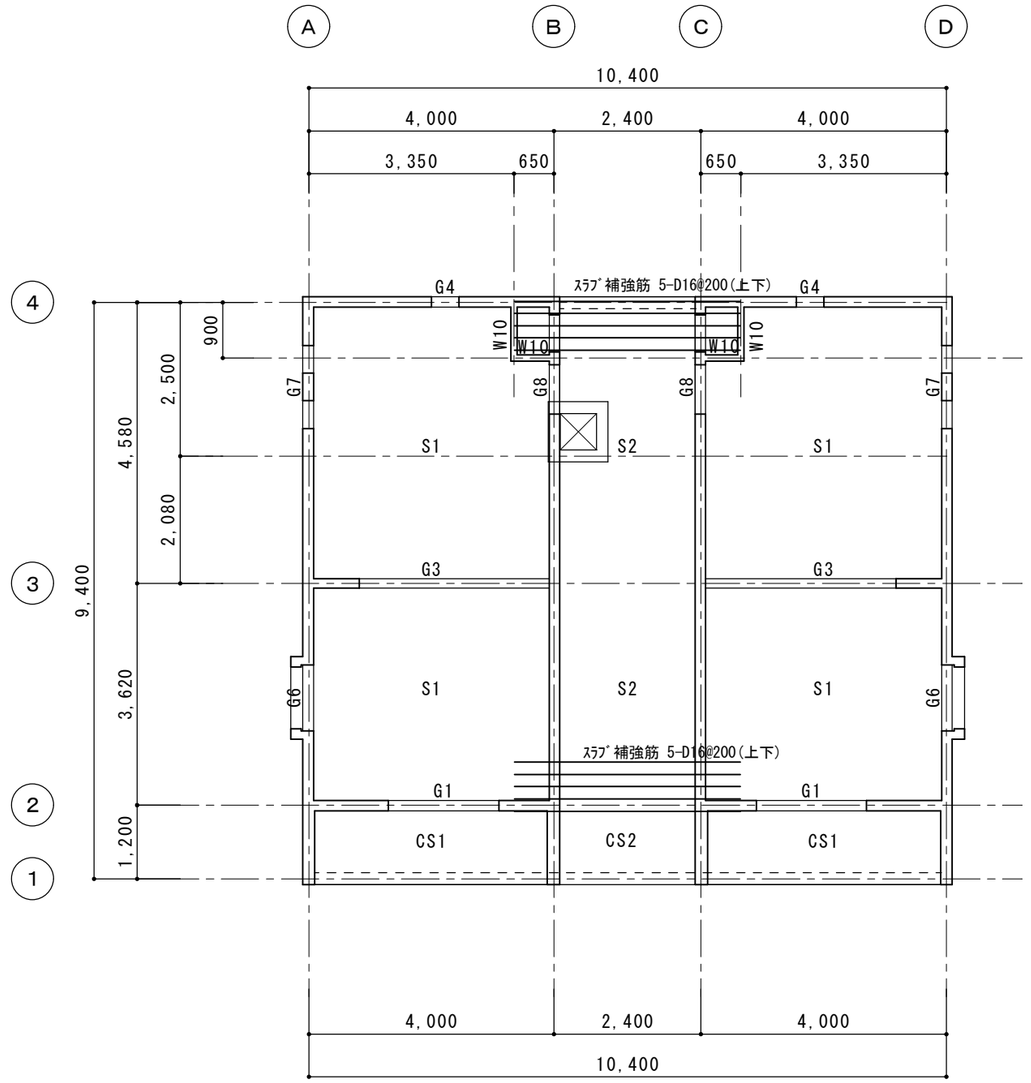
DATE

NO. Ｓ－４



特記なき壁はｱ150mmとする

２階梁伏図　S=1:100



特記なき壁はｱ150mmとする

Ｒ階梁伏図　S=1:100

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市湯沢１丁目１７番２４号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

構造設計
河野忠建築設計事務所 Tel.055-228-4658
１級建築士事務所　NO1-23772
400-0043　山梨県甲府市国母2-17-1
一級建築士　河野忠　NO195052
構造設計一級建築士　NO1966

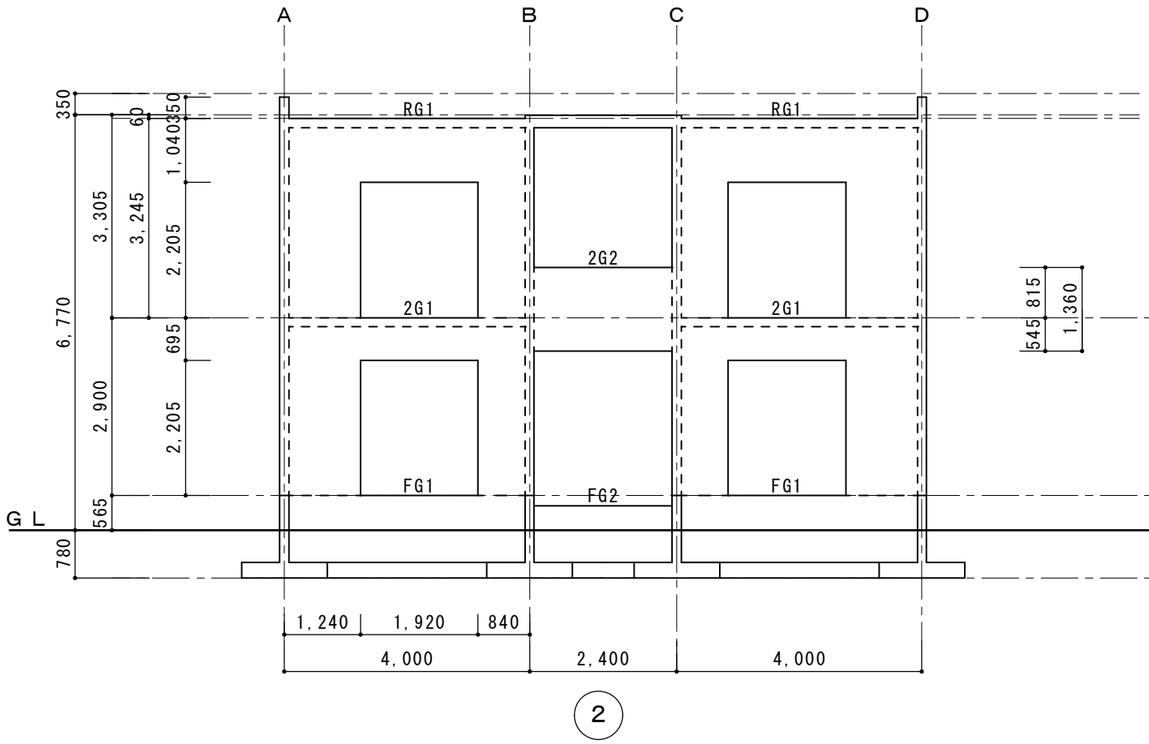
CHECKED

DRAWN

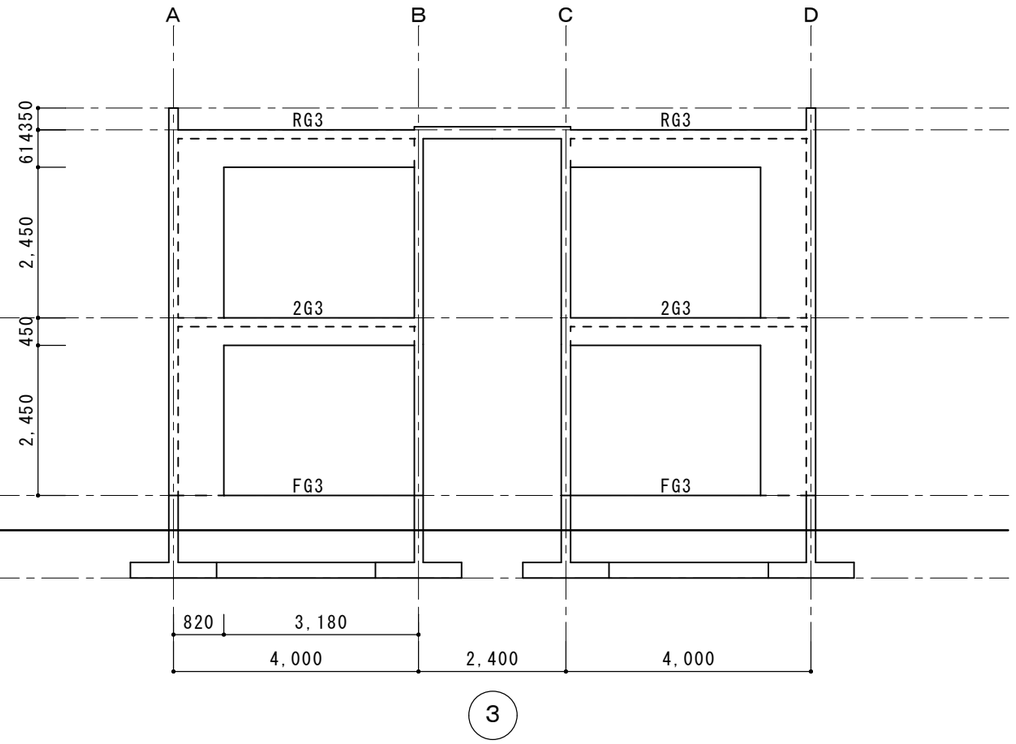
梁伏図　1:100

DATE

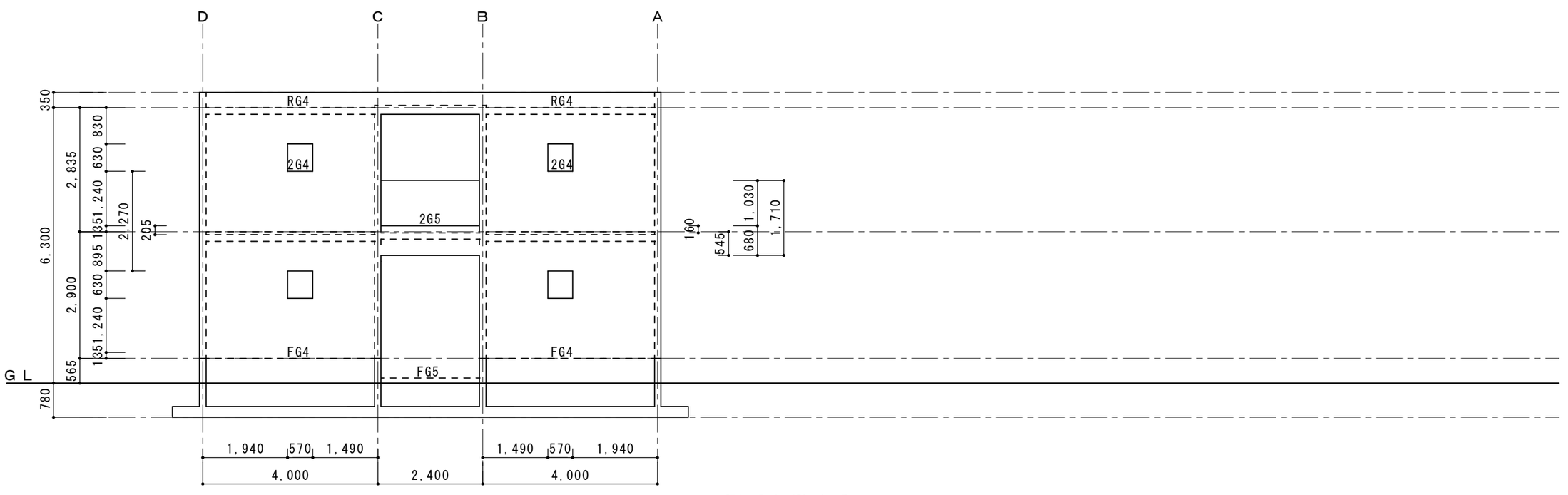
NO. S－5



2



3



4

特記なき壁はｱ150㎜とする

軸組図（1）　S=1:100

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市遊沢１丁目１７番２４号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮 健一

構造設計
河野忠建築設計事務所 Tel.055-228-4658
１級建築士事務所　NO1-23772
400-0043　山梨県甲府市国母2-17-1
一級建築士　河野忠　NO195052
構造設計一級建築士　NO1966

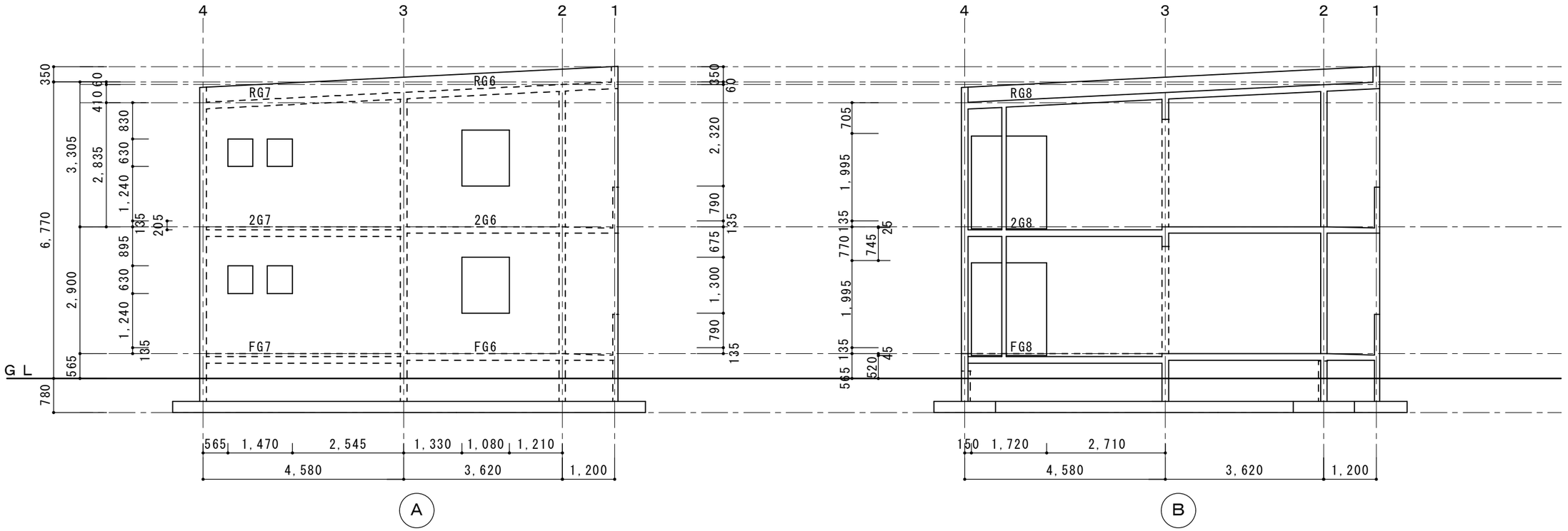
CHECKED

DRAWN

軸組図 1　1:100

DATE

NO. S − 6



特記なき壁はｱ150㎜とする

軸組図（2）　S=1:100

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市遊沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

構造設計
河野忠建築設計事務所 Tel.055-228-4658
１級建築士事務所　NO1-23772
400-0043　山梨県甲府市国母2-17-1
一級建築士　河野忠　NO195052
構造設計一級建築士　NO1966

CHECKED

DRAWN

軸組図２　1:100

DATE

NO. S − 7

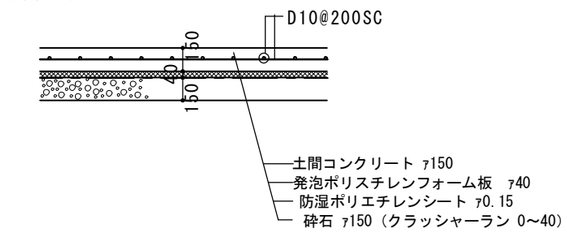
記　号	ＦＧ１・４	ＦＧ２	ＦＧ３	ＦＧ５	ＦＧ６・７
上端筋	２－Ｄ１６	３－Ｄ１６	２－Ｄ１９	３－Ｄ１９	２－Ｄ１３
下端筋	２－Ｄ１６	３－Ｄ１６	２－Ｄ１９	３－Ｄ１９	２－Ｄ１３
ＳＴＰ	Ｄ１０－１５０@	Ｄ１０－２００@	Ｄ１０－１５０@	Ｄ１０－２００@	Ｄ１０－１５０@
腹筋	８－Ｄ１０	８－Ｄ１０	８－Ｄ１０	６－Ｄ１０	８－Ｄ１０
ベース筋	Ｄ１３－２００@	Ｄ１３－２００@	Ｄ１３－２００@	Ｄ１３－２００@	Ｄ１３－２００@
配力筋	４－Ｄ１３	４－Ｄ１３	４－Ｄ１３	４－Ｄ１３	４－Ｄ１３

記　号	ＦＧ８	ＦＧ９
上端筋	２－Ｄ１６	１－Ｄ１３
下端筋	２－Ｄ１６	１－Ｄ１３
ＳＴＰ	Ｄ１０－１５０@	Ｄ１０－１５０@
腹筋	８－Ｄ１０	８－Ｄ１０
ベース筋	Ｄ１３－２００@	Ｄ１３－２００@
配力筋	４－Ｄ１３	４－Ｄ１３

記　号	ＦＢ１
上端筋	２－Ｄ１３
下端筋	２－Ｄ１３
ＳＴＰ	Ｄ１０－１５０@
腹筋	５－Ｄ１０

基礎詳細図　S=1:40

土間コンクリート



山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市遠沢１丁目１７番２４号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

構造設計
河野忠建築設計事務所 Tel.055-228-4658
１級建築士事務所　NO1-23772
400-0043　山梨県甲府市国母2-17-1
一級建築士　河野忠　NO195052
構造設計一級建築士　NO1966

CHECKED

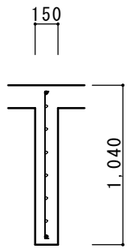
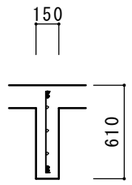
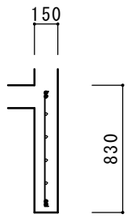
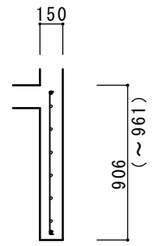
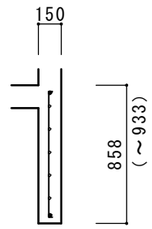
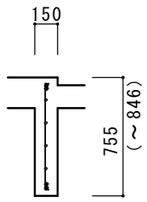
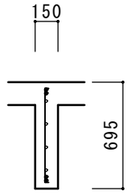
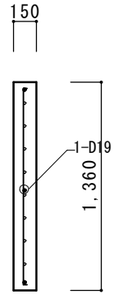
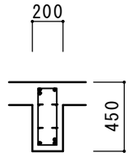
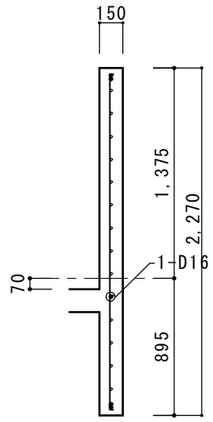
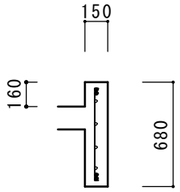
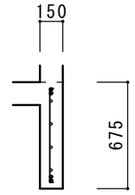
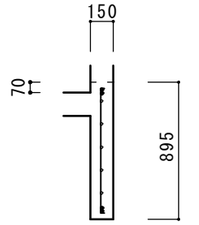
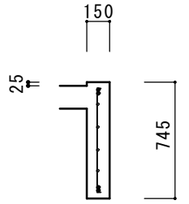
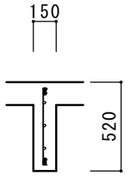
DRAWN

基礎詳細図　1:40

DATE

NO. Ｓ－８

梁 断 面 リ ス ト　1 / 40　R階は水勾配により高さの調整あり

記　号	G　1	G　2	G　3	G　4	G　5	G　6	G　7	G　8	B　1
R　階 断　面									
位　置	全断面		全断面	全断面		全断面	全断面	全断面	
上　筋	1－D16		1-D16+1-D19	2－D13		1－D13	1－D13	2-D13	
下　筋	1－D16		1-D16+1-D19	2－D13		1－D13	1－D13	2-D13	
S　T	D10@150		D10@150	D10@150		D10@150	D10@150	D10@150	
腹　筋	6－D10		3－D10	4－D10		6－D10	5－D10	4－D10	
2　階 断　面									
位　置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
上　筋	2-D19	1－D19	3-D19	2－D13	2-D16	2-D13	2-D13	2-D19	2-D16
下　筋	2-D19	1－D19	3-D19	2－D13	2-D16	2-D13	2-D13	2-D19	2-D16
S　T	D10@150	D10@150	D10@200	D10@150	D10@150	D10@150	D10@150	D10@150	D10@150
腹　筋	4－D10	8－D10	4－D10	13－D10	4－D10	4－D10	5－D10	4－D10	3－D10

梁リスト図　S=1:40

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市湯沢１丁目１７番２４号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

構造設計
河野忠建築設計事務所 Tel.055-228-4658
１級建築士事務所　NO1-23772
400-0043　山梨県甲府市国母2-17-1
一級建築士　河野忠　NO195052
構造設計一級建築士　NO1966

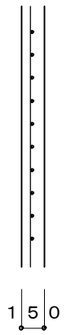
CHECKED　DRAWN

梁リスト図　1:40

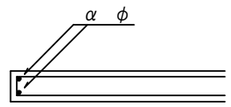
DATE

NO. S－9

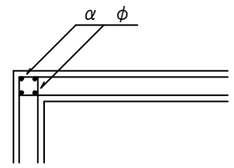
壁リスト　S=1/40　縦筋．横筋の位置（内側．外側）は打ち合わせによる

符　号		W１５	W１０
断　面		 150	100
配　筋	タテ筋	Ｄ１０－１５０@	Ｄ１０－２００@
	ヨコ筋	Ｄ１０－１５０@	Ｄ１０－２００@
端部補強	α　φ	１－Ｄ１６	１―Ｄ１３
出隅補強	α　φ	１－Ｄ１６	１－Ｄ１３
Ｔ型部補強	α　φ	１－Ｄ１６	１－Ｄ１３
開口補強	α　φ（縦）	１－Ｄ１６（L>1000　2-D16）	
	α　φ（横）	１－Ｄ１６（L>1000　2-D16）	
	β　φ	１－Ｄ１６（L>1000　2-D16）	

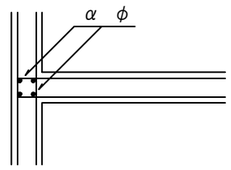
端　部　補　強



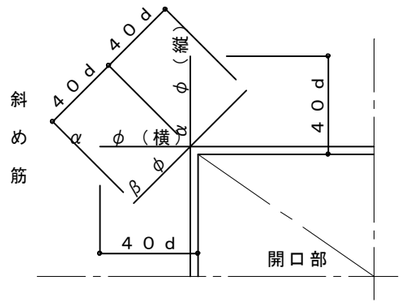
出　隅　補　強



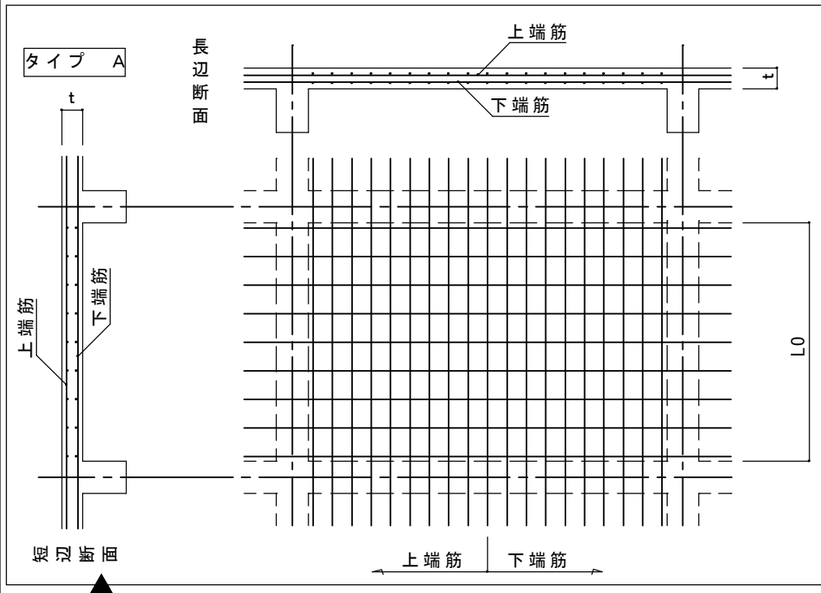
Ｔ　型　部　補　強



開　口　部　補　強



床版リスト　S=1/40



符　号	タイプ	t（t1～t2）	位　置	短辺方向（主筋） 中間部（片持スラブ） 端部（元端）	短辺方向（主筋） 中間部（片持スラブ） 中央（先端）	短辺方向（主筋） 周辺部 全域	長辺方向（配力筋） 中間部 端部	長辺方向（配力筋） 中間部 中央	長辺方向（配力筋） 周辺部 全域
２～ＲＳ１	A	１５０	上端筋	D13-200@	同　左	同　左	D10+D13-200@	同　左	同　左
			下端筋	D13-200@	同　左	同　左	D10+D13-200@	同　左	同　左
ＲＳ２	A	２００	上端筋	D13-200@	同　左	同　左	D10+D13-200@	同　左	同　左
			下端筋	D13-200@	同　左	同　左	D10+D13-200@	同　左	同　左
２Ｓ２	A	２００	上端筋	D13-200@	同　左	同　左	D13-200@	同　左	同　左
			下端筋	D13-200@	同　左	同　左	D13-200@	同　左	同　左

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

構造設計
河野忠建築設計事務所 Tel.055-228-4658
１級建築士事務所　NO1-23772
400-0043　山梨県甲府市国母2-17-1
一級建築士　河野忠　NO195052
構造設計一級建築士　NO1966

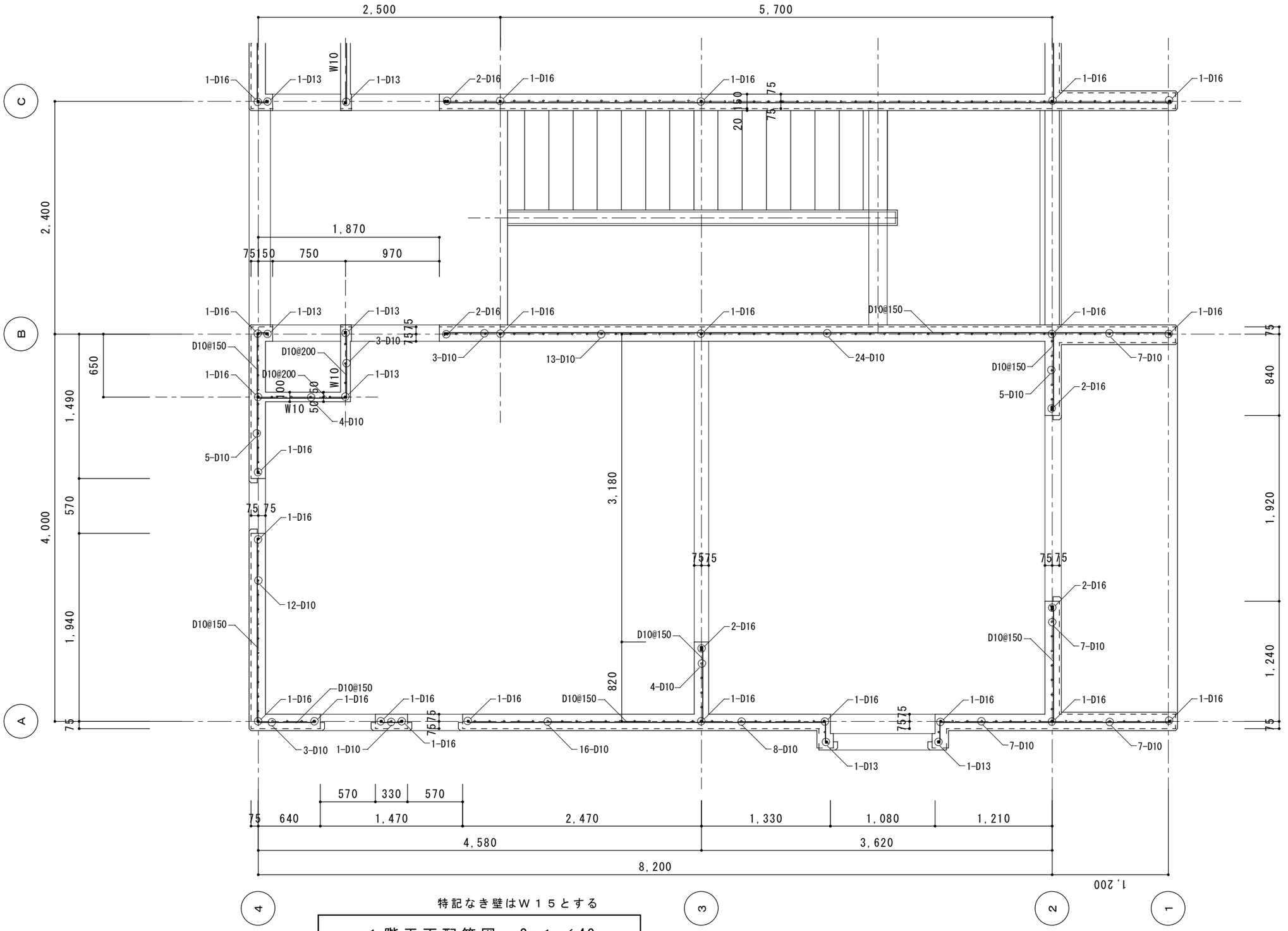
CHECKED

DRAWN

壁　床リスト図　1:40

DATE

NO. Ｓ－１０



特記なき壁はＷ１５とする

１階平面配筋図　S=１／40

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市遊沢１丁目１７番２４号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号 雨宮健一

構造設計
河野忠建築設計事務所 Tel.055-228-4658
１級建築士事務所 NO1-23772
400-0043 山梨県甲府市国母2-17-1
一級建築士 河野忠 NO195052
構造設計一級建築士 NO1966

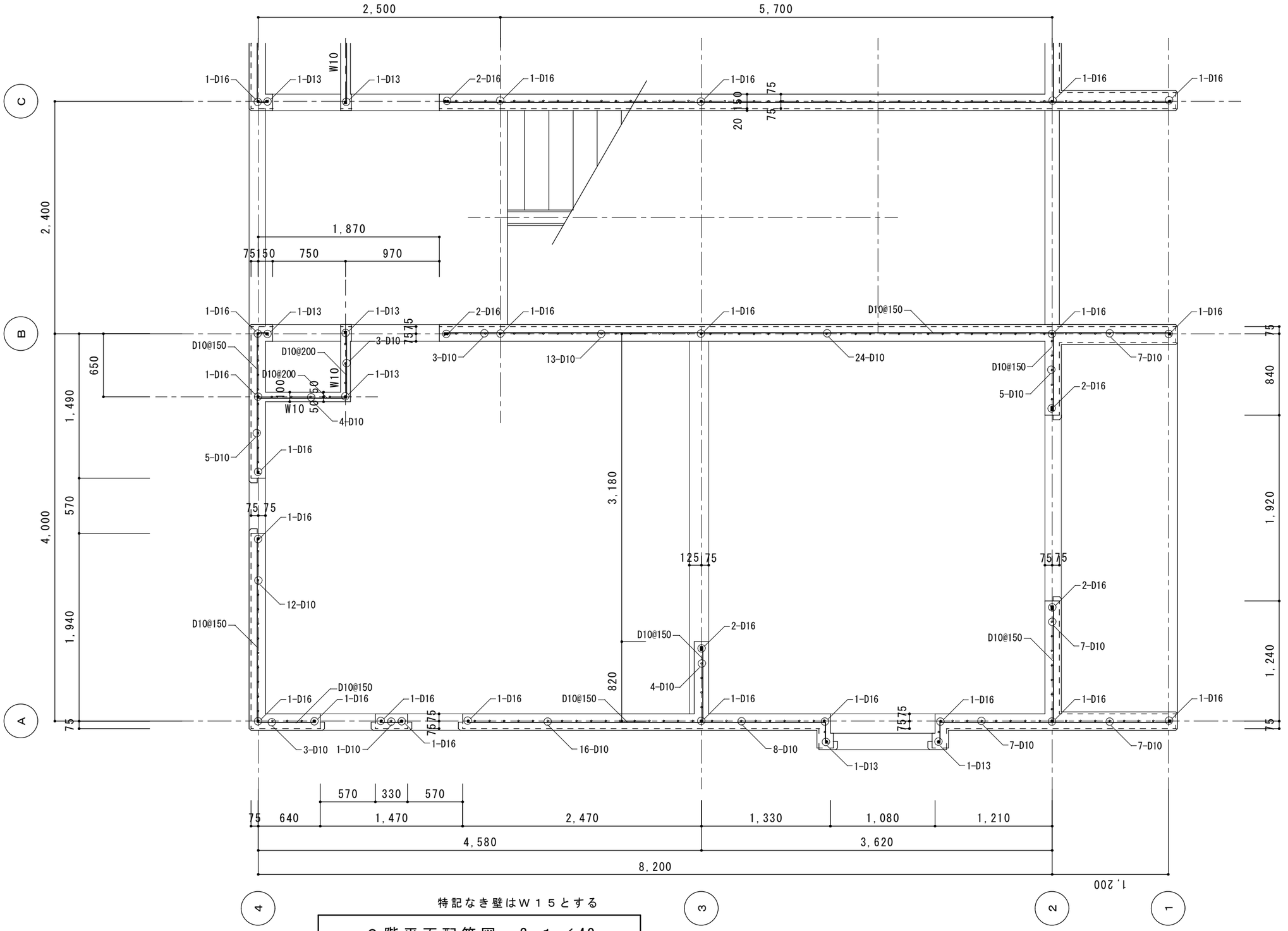
CHECKED

DRAWN

１階平面配筋図 1:40

DATE

NO. S－１１



特記なき壁はＷ１５とする

２階平面配筋図　S=１／40

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市蓮沢１丁目１７番２４号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号 雨宮健一

構造設計
河野忠建築設計事務所 Tel.055-228-4658
１級建築士事務所 NO1-23772
400-0043 山梨県甲府市国母2-17-1
一級建築士 河野忠 NO195052
構造設計一級建築士 NO1966

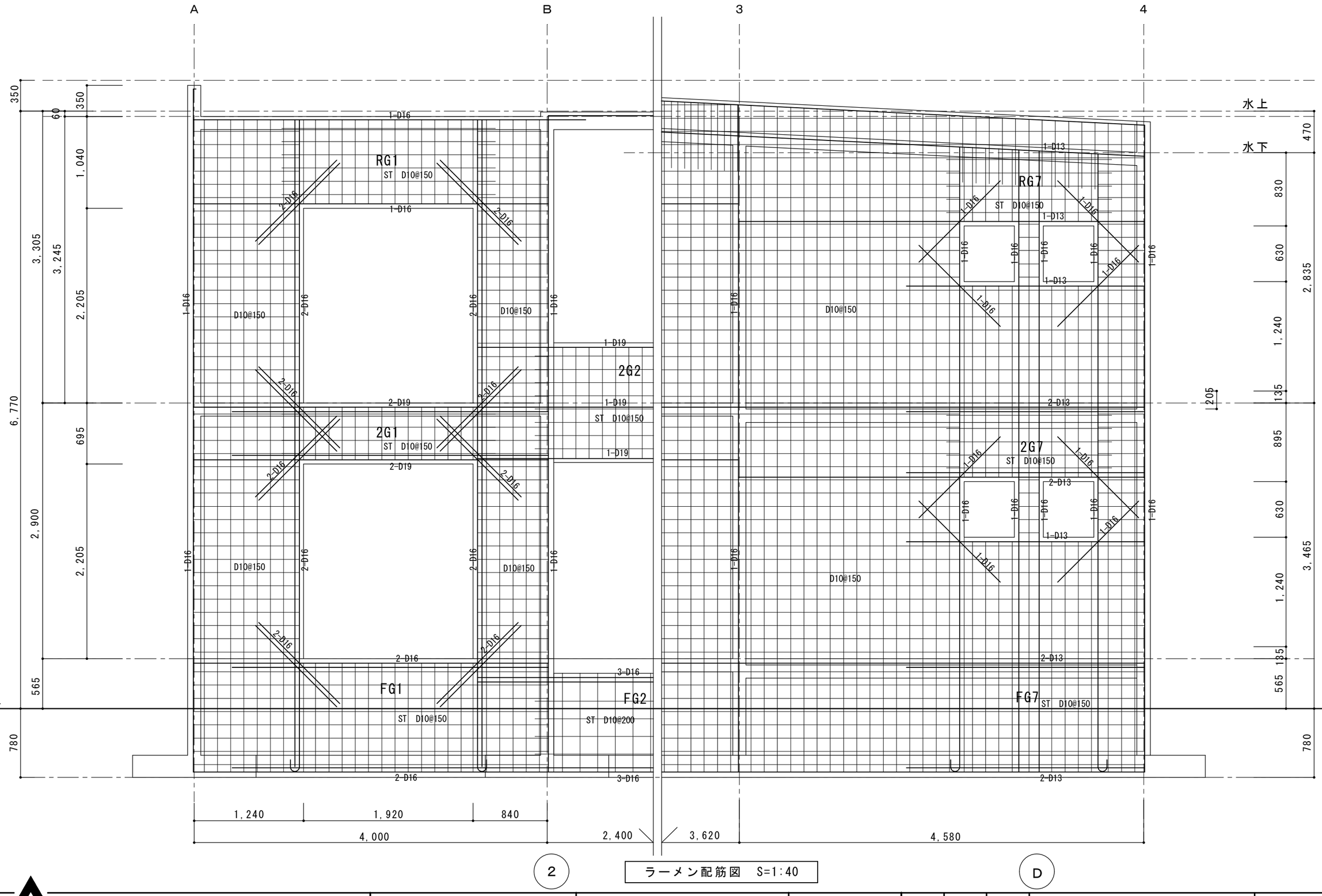
CHECKED

DRAWN

２階平面配筋図 1:40

DATE

NO. S－１２



ラーメン配筋図　S=1:40

2　　D

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400-0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

構造設計
河野忠建築設計事務所 Tel.055-228-4658
１級建築士事務所　NO1-23772
400-0043　山梨県甲府市国母2-17-1
一級建築士　河野忠　NO195052
構造設計一級建築士　NO1966

CHECKED

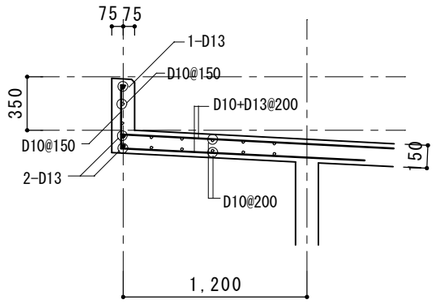
DRAWN

ラーメン配筋図　1:40

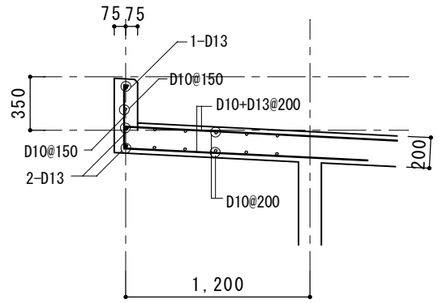
DATE

NO. S－１３

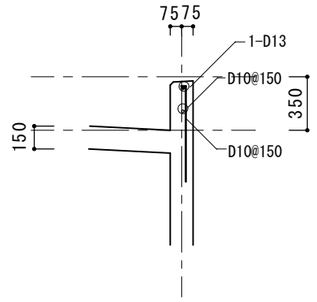
RCS1



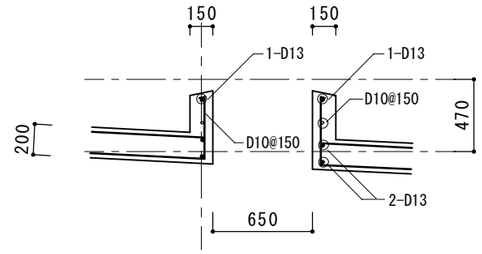
RCS2



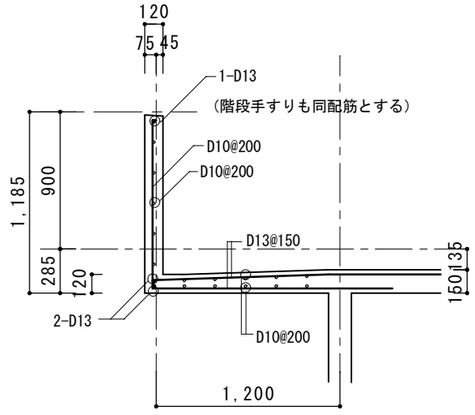
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ



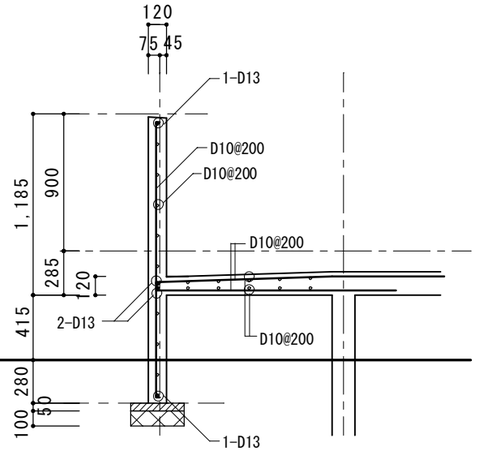
屋根開口



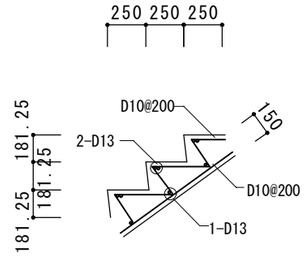
2CS1



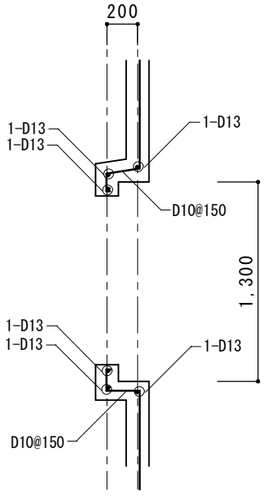
1階ﾊﾞﾙｺﾆｰ部分



階段



出窓部分



山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号 雨宮健一

構造設計
河野忠建築設計事務所 Tel.055-228-4658
1級建築士事務所 NO1-23772
400-0043 山梨県甲府市国母2-17-1
一級建築士 河野忠 NO195052
構造設計一級建築士 NO1966

CHECKED

DRAWN

雑詳細図 1:40

DATE

NO. S－１４

電 気 設 備 特 記 仕 様

１．　工事名称　山梨県北病院医師宿舎新築工事

２．　工事場所　山梨県韮崎市旭町上條南割字外御勅使３３１４－１３の一部

３．　建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積	防火対象物の区分	備考
	ＲＣ造	２階建	161.68㎡	共同住宅	

４．工事項目

No.	工事項目	新築	増築	改築	改修	備考
1	幹線設備工事	◎				
2	電灯・コンセント設備工事	◎				
3	電話ＬＡＮ用空配管設備工事	◎				
4	テレビ共同受信設備工事	◎				
5	インターホン設備工事	◎				

(2) 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されてない事項は、全て 1) による。ただし、2) による場合は、1) によるものと同等とみなす。また、下記年度表すも最新版を優先するものとする。

1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書　（電気設備工事編・平成 19年）」
「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編・平成 19年）」
及び「公共建築設備工事標準図　（電気設備工事編・平成 19年）」

2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部の「電気設備工事共通仕様書　（平成 19年版）」
「公共建築工事標準仕様書　（電気設備工事編・平成 16年）対応追補」
「電気設備改修工事共通仕様書　（平成 19年版）」
「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編・平成 16年）対応追補」
「電気設備工事標準図　（平成 19年版）
及び「公共建築設備工事標準図　（電気設備工事編・平成 16年）対応追補」

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
尚、機械設備工事の工事仕様書及び建築工事の工事仕様書は、各々電気設備工事に準ずる。

2. 工事範囲

設計図書、現場説明及び工事契約書による。

3. 提出書類

現場説明書、工事契約書及び監督員の指示するもの。（ ○印の付いたものを適用する）

○工程表	○施工計画書	○設備機材等選定表	○機器類製作図	○施工図面
○工程写真	○完成写真	○試験成績書	○機器類完成図	○完成図面
○保証書類	○取扱説明書	○届出書類の控え	○機器材納品書	○工事日報

※　営繕課ホームページ参照のこと。

4. 特記仕様

(1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項において選択する内容の事項は、○印の付いたものを適用する。
(3) その他細部については、監督員の指示による。

７．　工事範囲

設計図書現場説明工事契約書に依る。

８．　提出書類

現場説明書監督員の指示するものとする。

項目	特記事項
①グリーン購入法	グリーン購入法に該当する品目は、その判断基準よる仕様を満足すること。
②機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書（「設備機材等選定表」を含む ）に規定するもの
	又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は
	監督員の承諾を受ける。
	化学物質を発散する建築材料等はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチル
	ベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
	尚、ホルムアルデヒドを発散しないものとは JIS及び JISの F☆☆☆☆表示
	建築材料を、ホルムアルデヒドの発散が極めて少ないものとは JIS及び JASの
	F☆☆☆表示建築材料又は同等品を云い、原則として F☆☆☆☆表示建築材料を使用
	するものとするが、該当する材料等がない場合は、F☆☆☆表示建築材料又は同等品
	を使用するものとする。

3 工事用電力・水・その他：本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。

④ 工事写真：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真の撮り方（最新版）建築設備編」による。

⑤ 発生材の処理：
1) 引渡しを要するもの
・ 有（　　）　⊙ 無し　　）
2) 引渡しを要するもの以外　・ 別途工事とする。　・ 本工事とする。
構外搬出とし、搬出及びその処理は　⊙ 無し
3) 特別管理産業廃棄物
・ 有（ PCB 使用機器：　　）　・ 無し　　）
PCB 使用機器は関係法令により適切に処理し、建物管理者に引渡す。
4) 再利用又は再資源化を図るもの
・ 有（現場監督職員の指示による　　）
⊙ 現場説明書による。

6 残土処理：
・ 埋戻し後の建設残土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。
・ 現場説明書による。　・ 場外搬出処分とする。

⑦ 電線本数管路など：分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配線経路は、電線太さ、電線本数及び管経等は監督職員の承諾を受けて変更しても差し支えない。
また、機械室等の床配線は図面上　PF 管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。

⑧ 使用電線管：特記なき電線管は、合成樹脂可とう電線管（ PF一重管）とし、ボックス及び附属品等も樹脂製とする。露出配管はネジナシ電線管（EP)とする。
ただし雨線外の露出部分は、薄鋼電線管（CP）を使用すること。

⑨ 予備配管：埋込形の盤類には、予備配管を設ける。［予備回路×3 までは（22）相当を 1本、×4 以上は（22）相当を 2本とし、予備スペース 1に対して（28）相当を各 1本
天井内まで立ち上げる］

⑩ 導入線：予備（空）配管には、太さ 1.2mm以上の被覆鉄線を挿入する。

11 金属製電線管の塗装：下記の露出配管は塗装を行う。(プライマー処理後、SOP2回塗り指定色仕上)
・ 屋外（　　）・ 屋内（　　）

12 産廃物の適正処理：施工に際して発生する建設副産物は、関係法令に従って適切に処理すること。

⑬ 寸法・形状：本設計図のうち、機器姿図等に記入の寸法・形状は参考とする。

⑭ 盤類の鍵：盤類の鍵は、基本的に 200番とし、使い分けが必要な場合は 550番と併用する。

15 電磁開閉器用：遠方操作用押ボタンは、連用形とする。

⑯ スイッチ：⊙ タンブラ JIS連用大角形　・ ネーム付（印刷文字）　・ ワイド形

⑰ コンセント：図面に特記なき場合は、コンセント 2P15A（接地極付）は、プラグ不要とする。

18 フロアコンセント：プラグ収納形　・ アップ形　・ 上下動形

⑲ プレートの材質：フラッシプレート　・ 金属製　⊙ 樹脂製

20 ローテンションアウトレット：フロアプレート　・ 砲金製　・ アルミ合金製
・ ＯＡ対応形（大口）・ 片口形　・ 両口形

㉑ 保安器用接地：⊙ 本工事　・ 別途

㉒ 接地極埋設標：屋外灯を除く接地極埋設箇所には接地極埋設標（金属製・国土交通省彫）を取付けること。

23 地中線の埋設標：構内線路における埋設標の材質及びその個数は、図面に記載のない場合は次による。
・ 鉄製（　箇所）　・ コンクリート製（　箇所）

㉔ 施工図等の取扱い：施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

㉕ 環境対策型製品（線ケーブル類）：電線ケーブル類は、環境対策型「エコマテリアル」(EM) 製品を使用する。
但し、既製品のない種類の物は監督職員の承諾を得ること。
EM電線等で規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料により構成されているものとし、次の記号、仕様による。

記号	仕様
EM−UTP	JIS X 5150 (UTP)に準じ、シースに JCS規格による EMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの
EM−CEES	JIS X 4258 D(制御用ケーブル(遮へい付))に準じ,絶縁材及シースに JIS規格による EMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの
EM−MEES	JCS 271(MVVS) に準じ、シースに JCS規格による EMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの

㉗ その他：
・ 機材メーカーに拠る施工要領で禁止事項及び注意義務は施工者の責任施工とする。
・ ケーブル配線等、防火区画貫通個所は、耐火処置を施すこと。
・ 屋外（多湿所）に使用するプルボックス、支持金物及びビス類はステンレス製とすること。
・ 波付硬質ポリエチレン管（FEP）は難燃性製品を使用すること。
・ 波付硬質ポリエチレン管より建物、盤及び露出立上がり箇所は、異種管接続材を使用し厚鋼電線管等にて施工すること。(耐震処置例による)
・ 屋外より地下ピットへの配管飛込み部分は、つば付スリーブ、防水用止水材を使用し防水処置を行う。
・ 地中配管口には、湿気、泥水、小動物及び危険性ガス等が浸入せぬ様、管口止水材（パテ、シール等）を使用すること。
・ 建築構造上のエキスパンジョイント箇所は、配線上支障なき様処置すること。
・ ハンドホール、プルボックス内では、ケーブル本数及び、点検等を考慮しケーブル支持金物などを設ける。
・ ハンドホール、幹線用プルボックス及び、分電盤等要所の電線等には、プラスチック製の名札を取付け、配線サイズ、系統種別、行先、施工年月日及び施工者名を刻印表示する。
・ 断熱施工する外壁面取付の位置ボックスには、結露防止材を使用すること。
・ 図面に特別指示なくも技術上、構造上、美観上当然必要とみとめられるものは請負者負担において、良心的に行うものとする。
・ 引込み取付け点は、電力会社,NTT,CATV等 関係担当員と協議の上決定する。

28 機器類の施工：メーカー建材・製品・電気及び機械設備機器類の施工については、工事標準仕様書によるほか
メーカー仕様書に基づき責任施工とし、メーカー立会いのもと施工状況を確認し
完成届を監理者に提出する事。
完成届受理後、監理者は検査を行なうが、メーカー建材・製品・設備機器類、施工の瑕疵については、監理者は責任を負わない事とする。

29 特別事項：
1. 工事に支障となるＬＡＮ配線、モール取外しは本工事で行う。
なお、ＬＡＮ配線については本工事終了後、別途工事にて再利用するため養生し工事の支障ない場所に仮置きすること。
2. 耐力壁への打込み配管、位置ボックスの取付けは行わないこと。
耐震壁へのスリーブについては、ＶＥ２８以下を建築担当者と取付け位置等協議の上施工すること。
（耐震壁にスリーブ設置については、構造担当者との協議の結果了解を得ている）
3. 記載電灯コンセント回路番号は仮番号とし、各盤改修時に既設未改修回路をあわせ決定し盤表示を行うこととする。また、コンセント負荷はブレートにも表示のこと。
4. 本工事は衛生環境研究所業務に支障きたさないよう配慮し、十分な協議の上施工のこと。
（記載既設図は参考とし、施工前に現状を把握し改修施工計画を作成協議のこと。）
5. 必要な区画処理は、既存未処理場所も今回本工事にて関連法規に適正な処理・補修を行うこととする。

5. 凡例

図中特記なきシンボル等は JIS-C-0303-00 に準拠。(細目は、平面図等による)

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400-0827 山梨県甲府市湯沢１丁目１７番２４号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

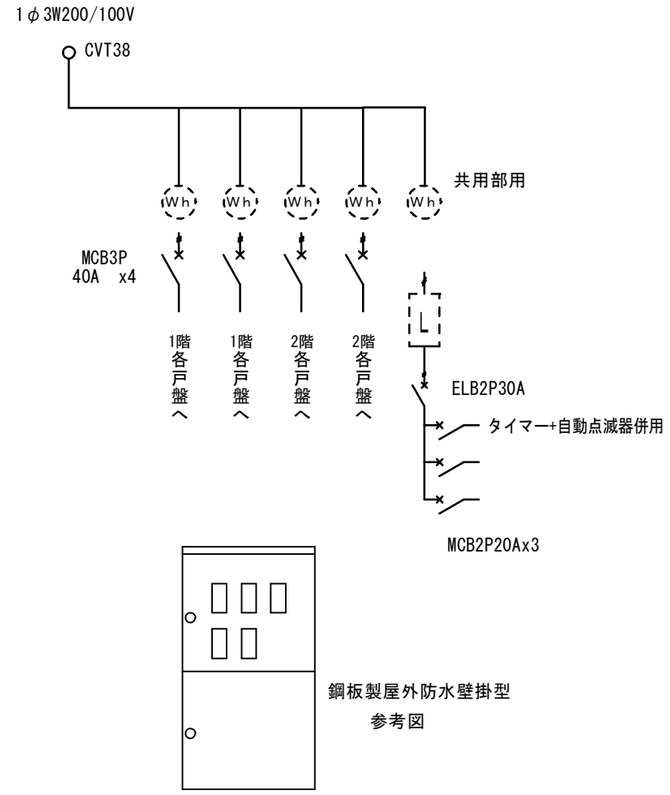
CHECKED　DRAWN

電気設備特記仕様書　1:100

DATE

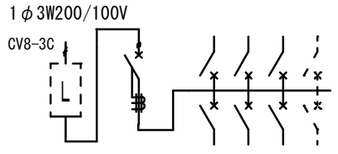
NO. Ｅ－１

引込開閉器盤



鋼板製屋外防水壁掛型
参考図

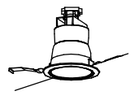
各戸盤（４面）　　樹脂製　露出型



ELB3P40A　　２E1P20Ax6+ｽﾍﾟｰｽx2

A	ＥＦＤ２５Ｗ×１　ダウンライト

玄関・便所
クローゼット　　電球色



枠：プラスチック（高反射ホワイト）
反射板：プラスチック（高反射ホワイト）
埋込穴Φ１００　埋込高Ｈ＝１７０
ＮＦ２１７２８Ｆ

B	ＦＨＦ３２Ｗ×１　シーリングライト

キッチン

カバー：アクリル（乳白）
ＨＦＡ１７２０

C	ＦＬ２０Ｗ×１　キッチンライト

キッチン棚下灯　　スイッチ付

カバー：プラスチック（乳白）
ホワイト仕上
ＨＷ２８５１

D	ＦＨＣ２０Ｗ×１　浴室灯

洗面脱衣室　　電球色　防湿・防雨型

カバー：アクリル（乳白つや消し）
プラスチック（ホワイト）
ＨＡＷ２０１１

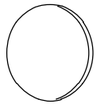
E	ＦＨＤ８５Ｗ×１　シーリングライト

洋室　　リモコンスイッチ付

カバー：高拡散アクリル（乳白）
クローム仕上
ＨＦＡ７３７１ＺＣ

F	ＥＦＤ１０Ｗ×１　ブラケット

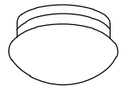
外灯・通路　　電球色　防湿・防雨型



カバー：アクリル（乳白）
壁面・天井面取付専用
ＨＥＷ４７０１

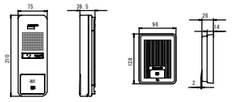
G	ＣＬ２０Ｗ×１　階段通路誘導灯

非常時５５%点灯



一般型（３０分間）
点検スイッチ付、防雨型、低誘虫仕様
パナソニック　ＪＦ２１５００

タッチ１型セット
（親機、ドアホン子器セット）



①Ⓓ
タッチ１型親機

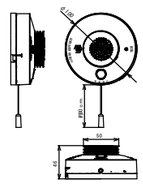
定格	定格電圧 AC100V 50／60Hｚ
消費電力	待機時：２W以下 最大時：４W以下
形状	適合ﾎﾞｯｸｽ 1個用ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ

ドアホン子器（露出型）（ブラウン）

形状	適合ﾎﾞｯｸｽ 1個用ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ

パナソニック㈱ＮＳ１０９Ｗ相当品

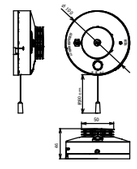
Ⓢ けむり当番２種埋込型（AC100V端子式）
（警報音・音声警報機能付）



-

電源	AC100V 50/60Hz
定格電流	５０ｍＡ
使用周囲温度	0℃～＋40℃
質量	約275ｇ
警報音量	87 $^{+10}_{-3}$ dB(1m)
警報音周波数	0.3ｋＨｚ～４.０ｋＨｚ

Ⓣ ねつ当番定温式露出型(AC100V端子式)
（警報音・音声警報機能付）



電源	AC100V 50/60Hz
定格電流	５０ｍＡ
使用周囲温度	0℃～＋40℃
質量	約200ｇ
警報音量	87 $^{+10}_{-3}$ dB(1m)
警報音周波数	0.3ｋＨｚ～４.０ｋＨｚ

参考図とする。

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

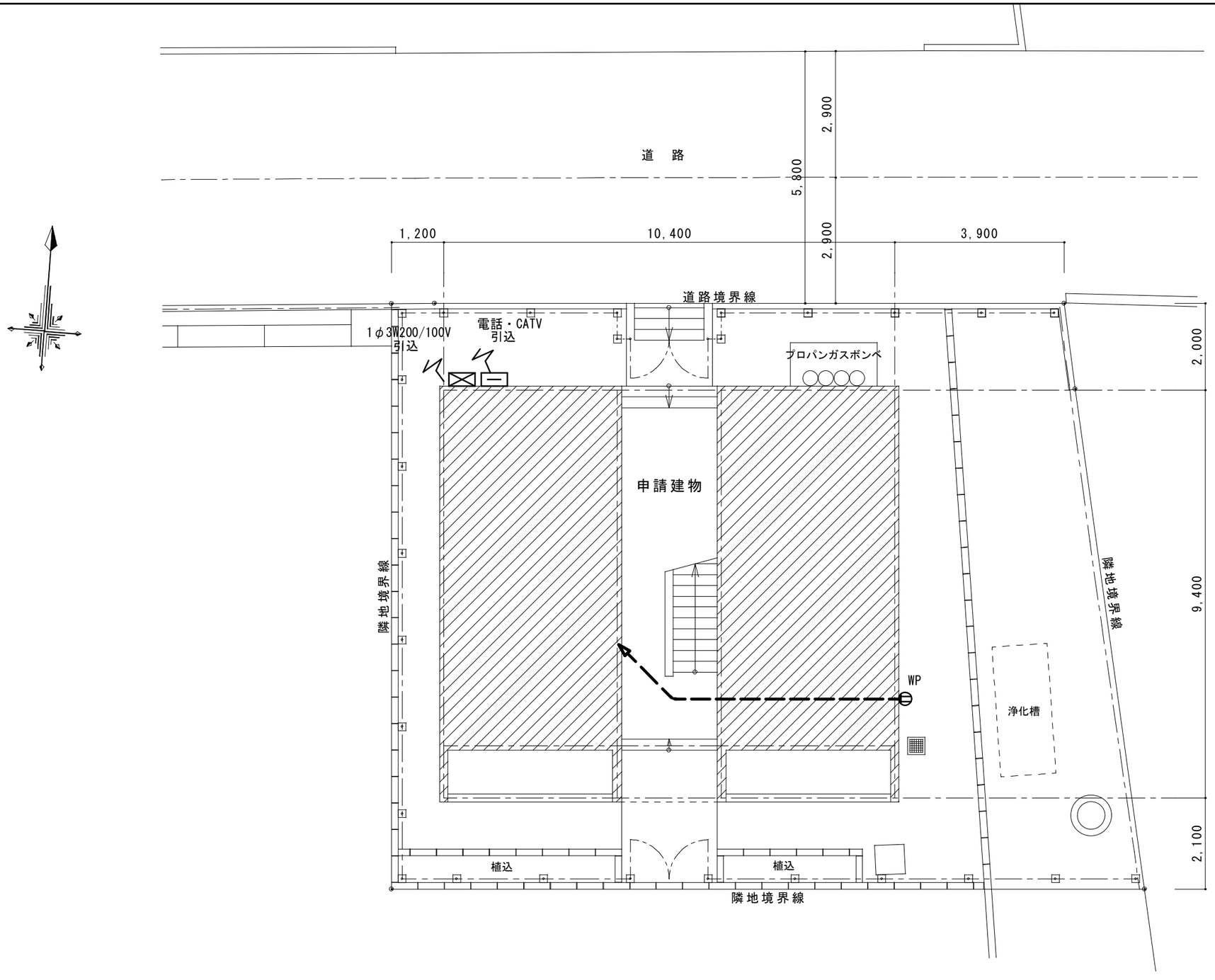
有限会社竜巳一級建築設計事務所
〒400-0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第1－20603号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

盤図・器具表　1:100

DATE

NO. Ｅ－２



配　置　図　　S=1:100

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

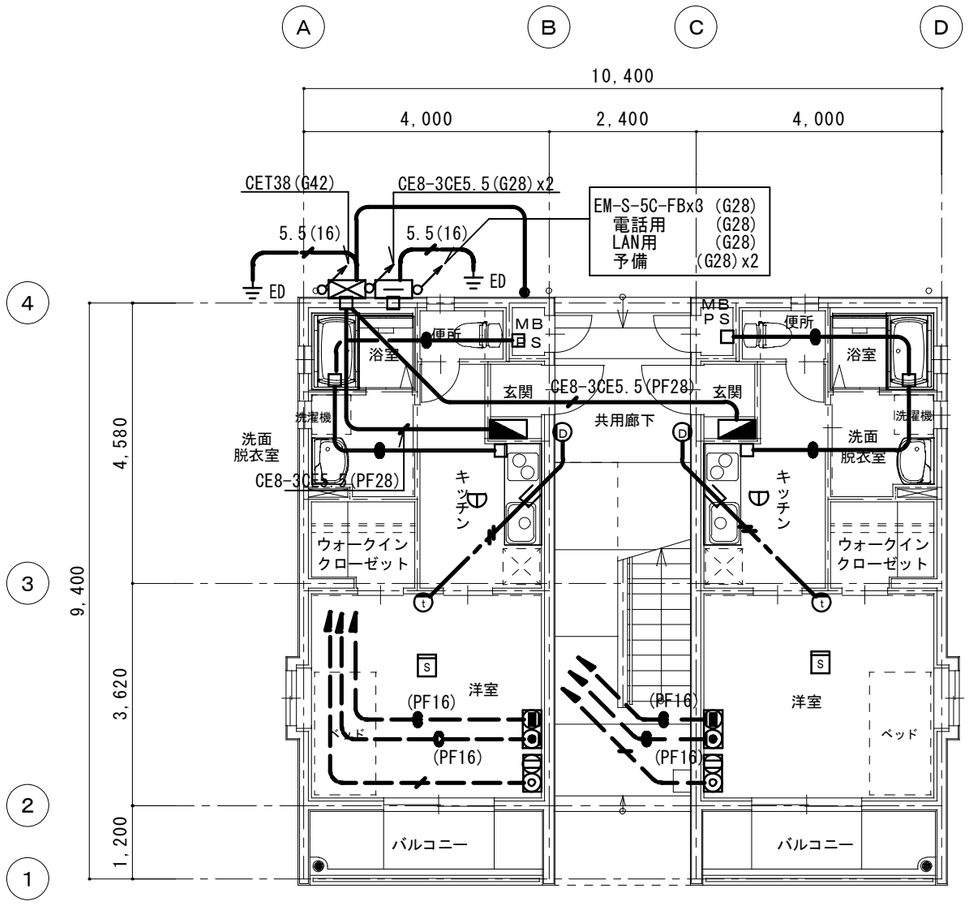
有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

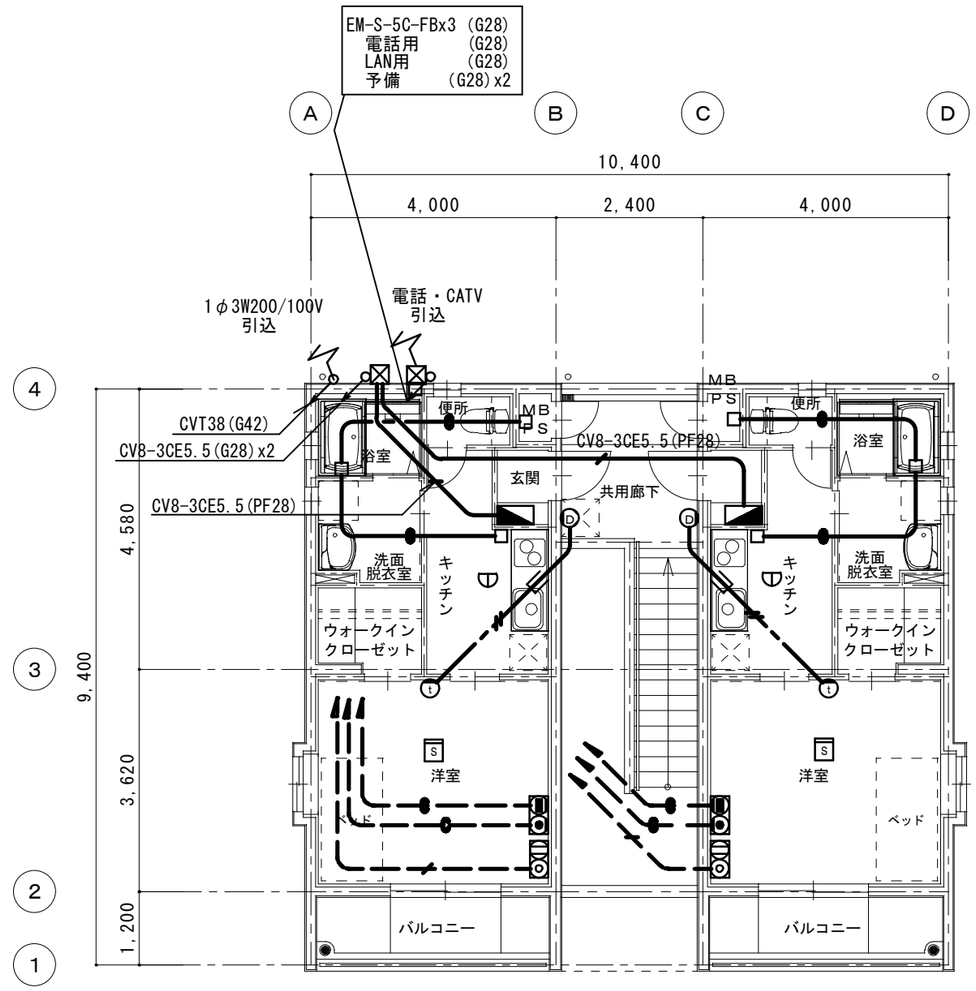
電気設備配置図　1:100

DATE

NO. E − 3



1階配置図　S=1:100



2階配置図　S=1:100

弱電設備　凡例		
⊠	引込開閉器盤	
◢	各戸盤	
◫	コンセント+直列ユニット	H=250
◫	電話（6芯２極）LAN（8芯８極）	H=250
Ⓓ Ⓘ	インターホン	H=1200
□	給湯リモコン用（取付別途）	H=1200
⊠	プルボックス　防水　SUS 300×300×200	

端子盤　鋼板製屋外防水壁掛型
MDF10P　４分配器
LAN用スペース

特記なき配線配管は下記による

- ＡＥ０.９－２Ｃ　保護管(PF16)
- Ｓ－５Ｃ－ＦＢ（ＰＦ１６）床隠蔽配管
- 予備配管（リモコン用）（ＰＦ１６）
- 予備配管（電話・LAN用）（ＰＦ１６）

コンクリート・壁内は保護管にて配管

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

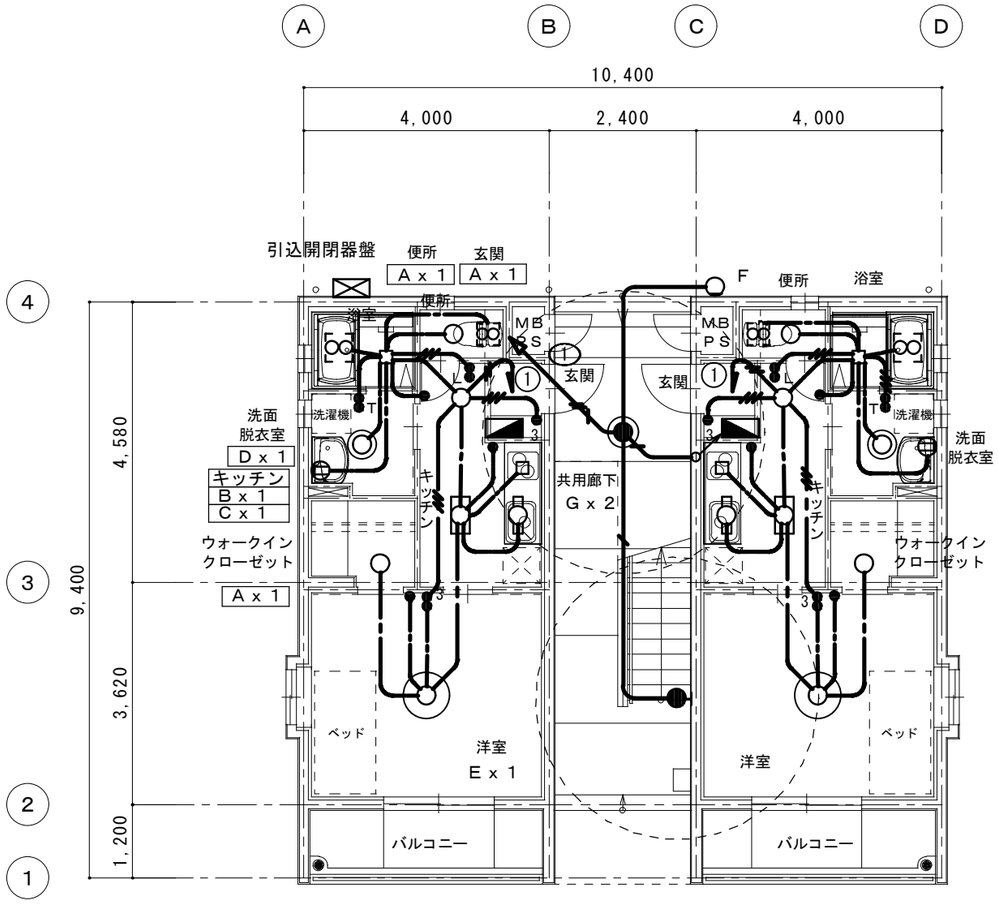
有限会社竜巳一級建築設計事務所
〒400-0827 山梨県甲府市遠沢１丁目１７番２４号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

幹線・弱電設備平面図 1:100

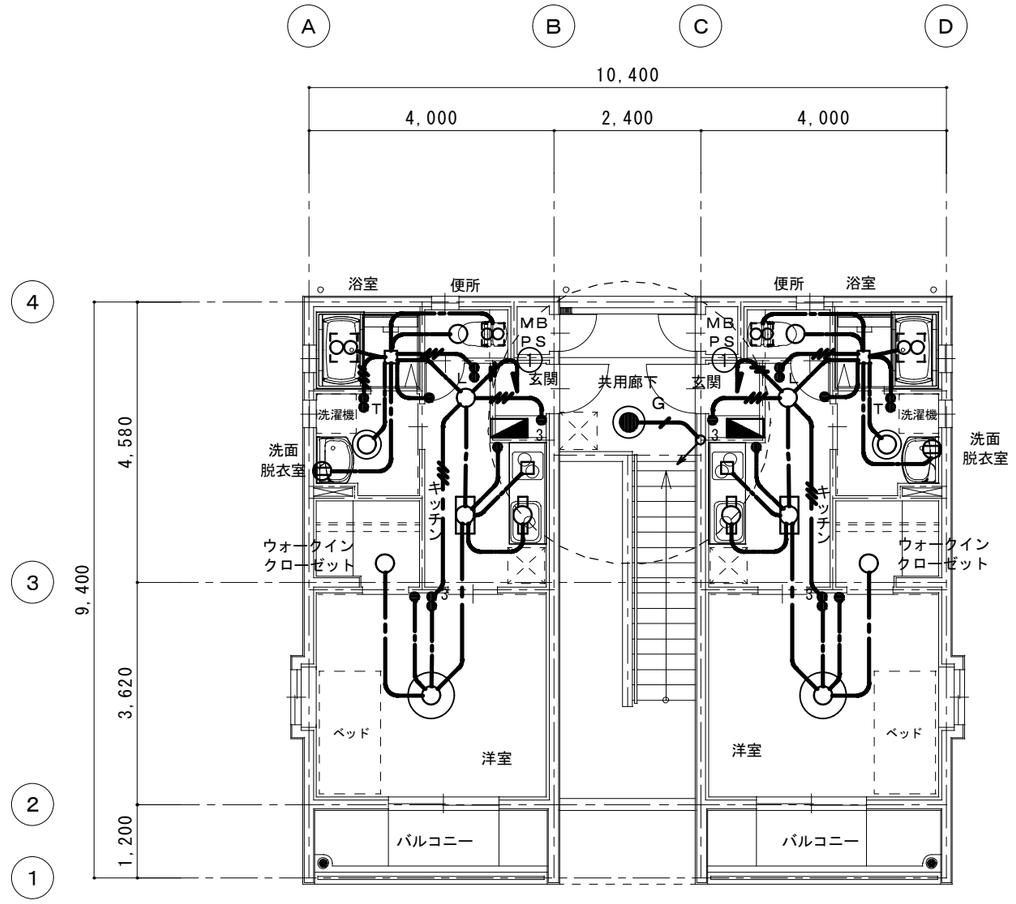
DATE

NO. Ｅ－４



１階配置図　S=1:100

電灯設備　凡例		取付高さ
	各戸盤　別図参照	
	蛍光灯照明器具　別図参照	
	ダウン・直付照明器具 壁付 H=2000	別図参照
●	埋込スイッチ　１Ｐ１５Ａ	H=1200
●3	埋込スイッチ　３路	H=1200
●L	埋込スイッチ　１Ｐ１５Ａ＋ＰＬ	H=1200
●T	埋込スイッチ　１Ｐ１５Ａ＋タイマー120分	H=1200



２階配置図　S=1:100

特記なき配線配管は下記による

天井ころがし配線

- ＥＥＦ１.６－２Ｃ　保護管(PF16)
- ＥＥＦ１.６－３Ｃ　保護管(PF16)
- ＥＥＦ２.０－２Ｃ　保護管(PF16)

天井隠蔽配管配線

- ＩＥ１.６－３Ｃ（ＰＦ１６）
- ＩＥ２.０ｘ３（ＰＦ１６）

コンクリート・壁内は保護管にて配管

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

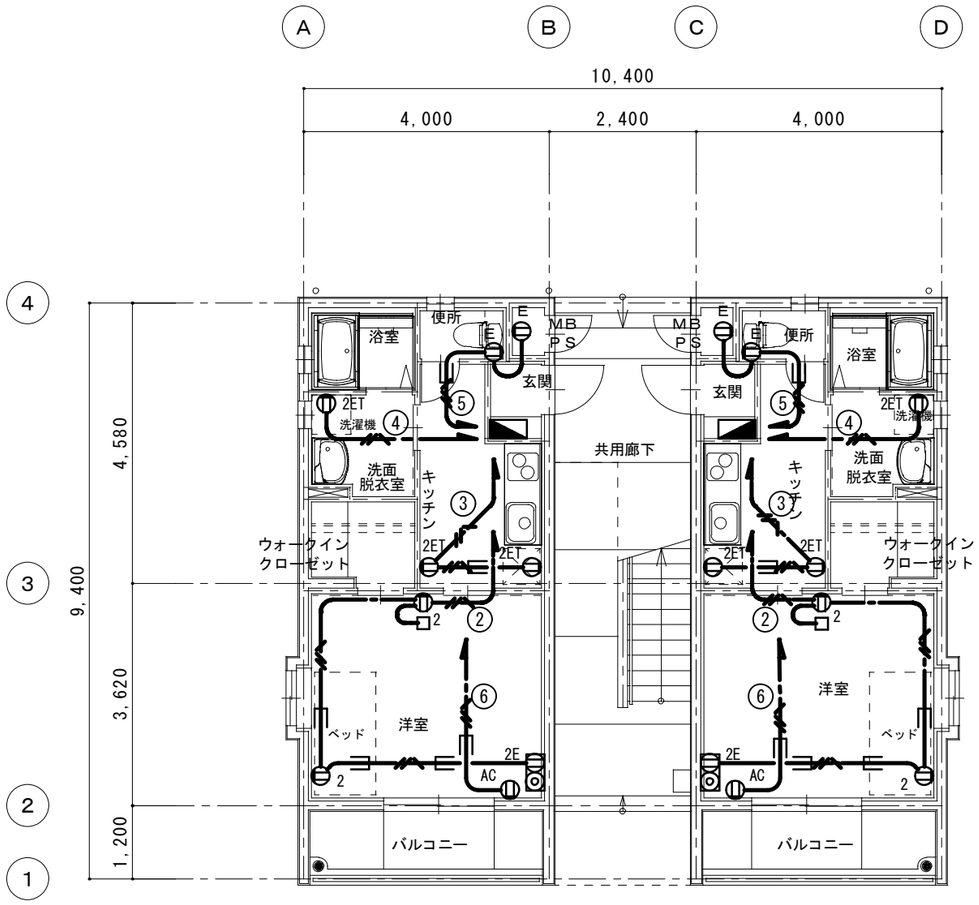
有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400-0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

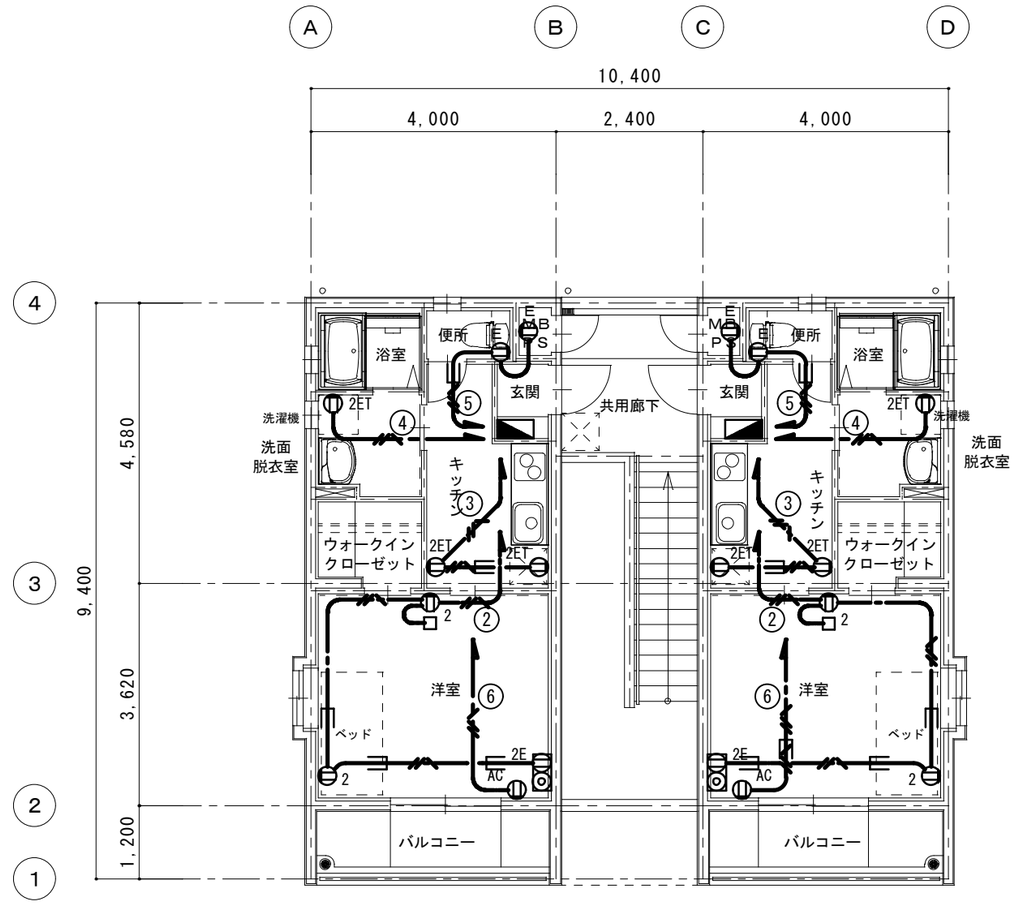
電灯設備平面図　1:100

DATE

NO. Ｅ－５



１階配置図　S=1:100



２階配置図　S=1:100

コンセント設備　凡例		
ⓓ2	埋込コンセント ２Ｐ１５Ａｘ２	H=250
ⓓE	〃 ２Ｐ１５Ａ＋接地端子	H=250
ⓓ2ET	〃 ２Ｐ１５Ａｘ２＋接地端子	H=1250
ⓓAC	〃 ２Ｐ１５Ａ＋接地端子ＡＣ用	H=2250
2E ⓓ	〃 ２Ｐ１５ＡＥｘ２　接地極付	H=250
	テレビユニット同一ボックス	

特記なき配線配管は下記による

ＥＥＦ２.０－３Ｃ　保護管(PF16)

コンクリート・壁内は保護管にて配管

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社竜巳一級建築設計事務所
〒400-0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

コンセント設備平面図 1:100

DATE

NO. Ｅ－６

機械設備特記仕様書

１．	工事名称	県立北病院医師宿舎新築工事
２．	工事場所	韮崎市旭町上条南割字外御勅使3314-13の一部
３．	建物概要	敷地面積　221.55　㎡
		建築面積　97.76　㎡
		延床面積　164.56　㎡
		構　造　・SRC　⊙RC　・S　・木造
		地下　階　地上　2 階　塔屋　階
４．	主要用途	消 防 法　第　項
５．	工事項目	給排水衛生設備工事　空調設備工事
		１．給水設備工事　１．冷暖房設備工事
		２．給湯設備工事　２．換気設備工事
		３．排水通気設備工事
		４．衛生器具設備工事
		５．浄化槽設備工事
		６．ガス設備工事
６．	一般事項	１．本工事は全て、図面 ・ 本仕様書及び、共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書）
		に基づき、諸官庁関係法規に準拠して施工する。
		２．関係ある法令 ・ 条例および規則に基づいて、工事の施工を行い施工に必要な官公署その他への届出 ・ 手続き
		は遅滞なく行う。尚、その届出費用は請負人の負担とする。
		３．機器及び器具類は、特記無き限りメーカー標準仕様とする。
		４．設計図書の優先順位は、次の通りとする。
		１．現場説明書（追加説明、質疑応答を含む。）
		２．特記仕様書　３．設計図　４．共通仕様書
		５．本工事に於いて、図面 ・ 本仕様書に疑義が生じた場合及び、それに明記なきものでも技術上当然必要なものは、
		監督員と協議の上誠実に施工するものとする。
		６．本設計図は、工事概要を示すものであるから、請負人は充分なる理解の上、工事着手前に工程表・機器承諾図等
		を提出し、監督員の承諾を得る事。
		７．工事完成時には、機器取り扱い説明書 ・ 保証書 ・ 各申請書類 ・ 試験表 ・ 施工図 ・ 工程写真 ・ 完成
		写真を提出すること。尚、部数等詳細については、監督員の指示に従う事。
７．	特記事項	１．給水管埋設深さ屋外部分～ＧＬ－６００以下（凍結防止のため）寒冷地は凍結深度以下とする。
		２．バルブは、防食コア入りバルブを使用する事。
		３．塩ビライニング鋼管（耐熱共）の管端処理は、管端防食継手（コア入り）を使用する事。
		４．土間下埋設配管は、沈下防止のためそれぞれの管種に応じ天井配管と同ピッチで土間配筋より吊る事。
		５．保温、塗装、防食仕様は、特記無き限り共通仕様書に準じて施工する事。
		６．給水工事は、管轄水道局規定に準拠して施工する事。
		７．屋外露出配管は、ヒーター巻とする。
		８．給気ダクトは、防露仕様とする。
		９．レンジフードダクトはロックウール50㎜巻とする。

８．	工事監理項目	以下の項目についての監理を原則とし、詳細については工事監理者と打合せの事。
		１．室内温度の確認。
		２．設計風量の確認。
		３．圧力試験による配管の気密性、水密性の確認。
		４．排水の通水による確認。
９．	設計条件	室内温度　冷房　２６℃　暖房　２２℃

１０．	工事区分	工事項目	建築	機械	電気	別途	備考
		１．受水槽等水槽類基礎工事					
		２．室外機等機器類基礎工事		○			
		３．梁貫通スリーブ及び補強工事		○			
		４．躯体壁及び床の穴明及び補強工事		○			
		５．天井開口及び補強工事		○			
		６．点検口取り付け工事					
		７．空調機器の室内室外間の渡り配線及び接続工事		○			
		８．同上電源供給工事			○		
		９．換気扇、天井扇類の機器及び取り付け工事		○			
		１０．同上電源供給工事			○		
		１１．電極棒及びフロートスイッチ等の機器及び取り付け工事					
		１２．同上配管配線工事					
		１３．ルーフドレン及び立て樋取り付け工事	○				
		１４．雨水配管工事（ＧＬ以降横引き）		○			
		１５．外部取り付けのガラリ・給気口	○	○			
		１６．給水一次側引込み工事		○			
		１７．給水メーター加入金				○	
		１８．ガス設備工事		○			
		１９．下水公設桝引き込み工事					

１１．	メーカーリスト	同等品以上とする	
		機器名	メーカー名
		ガス給湯器	ノーリツ、リンナイ、パロマ
		衛生器具	TOTO 、 INAX
		合併処理浄化槽	アムズ、フジクリーン、クボタ
		エアコン	ダイキン工業、三菱電機 、日立アプライアンス
		天井扇、換気扇類	三菱電機 、松下電器産業

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第１－２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮 健一

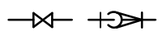
CHECKED　DRAWN

機械設備特記仕様書

DATE

NO. Ｍ－１

凡例

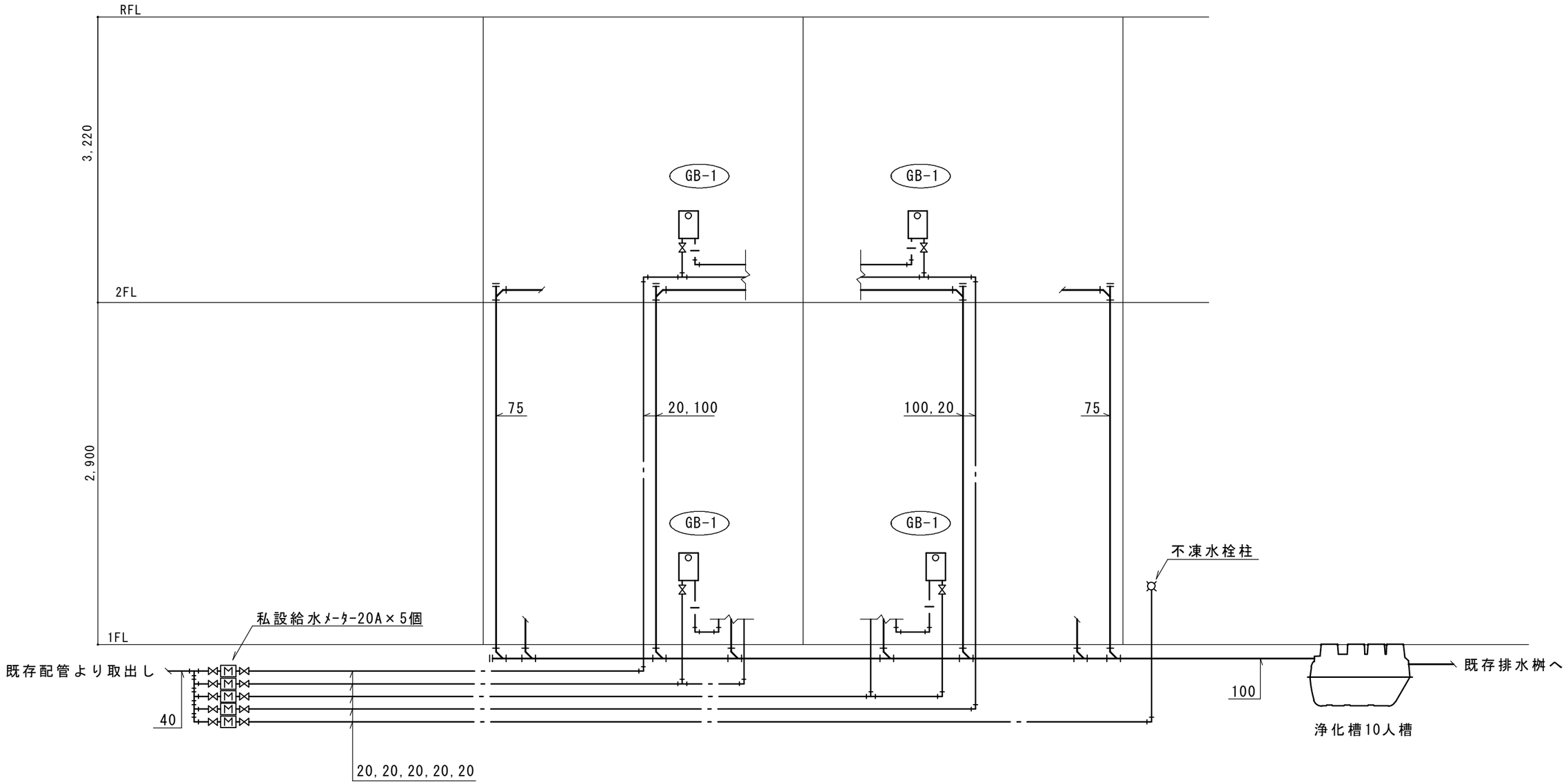
記号	名称	仕様	備考
――――-――――	給水管	耐衝撃性硬質塩化ビニール管(JIS-K-6742)	HIVP(屋外埋設)
――――-――――	給水管	内外面塩ビライニング鋼管(JWWA-K-116)	VD(屋内埋設)
――――-――――	給水管	ステンレス鋼鋼管(JIS-G-3448)	拡管式
――――I――――	給湯管	ステンレス鋼鋼管(JIS-G-3448)	拡管式
――――――――	排水管	硬質塩化ビニール管(JIS-K-6741)	VP
――――――――	排水管	耐火二層管	
- ー ー ー ー ー -	通気管	耐火二層管	
――――――――	雨水管	硬質塩化ビニール管(JIS-K-6741)	VP
――――G――――	ガス管	ガス会社認定品	
――――R――――	冷媒管	保温付銅管セット(JIS-H-3300)	
――――D――――	ドレン管	硬質塩化ビニール管(JIS-K-6741)	VP
――――――――	スパイラルダクト	亜鉛鍍鉄板	
	汚水桝	ビニール桝	
	雨水桝	ビニール桝	
	ゲート弁		

機　器　表

記号	名称	仕様	電源 Φ	電源 V	電源 KW	台数	備考
AC-1	空冷ヒートポンプエアコン	壁掛形 冷房能力 2.2(0.9～2.8) KW 暖房能力 2.2(0.9～4.1) KW 圧縮機 600 W 消費電力 リモコン、渡り配線共	1	100	1140W	4	参考 S22NTFXS-W 基礎本工事
EF-1	天井扇	低騒音 ｲﾝﾃﾘｱﾀｲﾌﾟ 60 CMH x 40 Pa x 7.2 W ステンレス深型セルフード共	1	100		4	参考 VD-10ZC9
EF-2	天井扇	二室用 120 CMH x 60 Pa x 13.5 W ステンレス深型セルフード共	1	100		4	参考 VD-15ZFCD9
RF-1	レンジフード	自然給気ﾀｲﾌﾟ 500 CMH x 40 Pa x 79.0 W ステンレス深型セルフード共	1	100		4	参考 V-604KQE7
GB-1	ガス給湯器	PS設置形 設置フリー形 オート 能力 16 号 ガス消費量 45.2 KW 2リモコン、付属品共	1	100	139W	4	参考 GT-1650SAWX-TBL

器　具　表

名称	仕様	数量	備考
洋風大便器	CS670B,SH671BA,TCF6421,YH51R	4	便所
洗濯機パン	PWSP64ASW	4	洗面 脱衣
水栓	T200SUN13	4	洗面 脱衣
タオル掛け	YT51S4R	8	便所,洗面 脱衣
散水栓	T200SUN13,不凍水栓柱共	1	屋外



山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400-0827 山梨県甲府市湯沢1丁目17番24号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第1-20603号
一級建築士登録第107852号 雨宮健一

CHECKED | DRAWN

系統図

DATE

NO. M－4

排水桝リスト

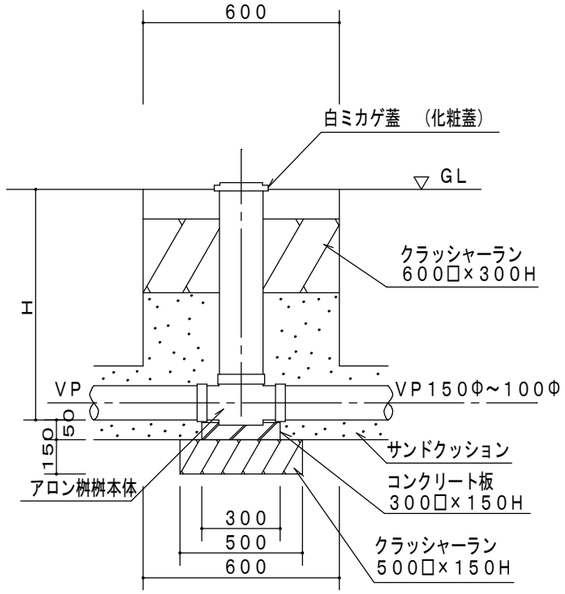
NO	記　　号	深　さ	蓋	備　　考
1	塩ビ桝 90L 100-150	350	ミカゲ蓋	
2	塩ビ桝 90Y 100-150	353	ミカゲ蓋	
3	塩ビ桝 90L 100-150	400	ミカゲ蓋	
4	塩ビ桝 90Y 100-150	449	ミカゲ蓋	
5	塩ビ桝 90Y 100-150	452	ミカゲ蓋	
6	塩ビ桝 90Y 100-150	461	ミカゲ蓋	
7	塩ビ桝 90Y 100-150	464	ミカゲ蓋	
8	塩ビ桝 90L 100-150	516	ミカゲ蓋	
9	塩ビ桝 90Y 100-150	562	ミカゲ蓋	
10	塩ビ桝 90Y 100-150	565	ミカゲ蓋	
11	塩ビ桝 90L 100-150	589	ミカゲ蓋	
12	塩ビ桝 90L 100-150	639	ミカゲ蓋	

桝の深さは設計GLからの参考値とし、現場にて確認後施工する事。

雨水桝リスト

NO	記　　号	深　さ	蓋	備　　考
A	塩ビ桝 90L 100-150	300	ミカゲ蓋	
B	塩ビ桝 90Y 100-150	338	ミカゲ蓋	
C	塩ビ桝 90Y 100-150	402	ミカゲ蓋	
D	塩ビ桝 90L 100-150	414	ミカゲ蓋	
E	塩ビ桝 90Y 100-150	501	ミカゲ蓋	
F	改良桝 300×300	350	格子蓋	
G	塩ビ桝 90L 100-150	300	ミカゲ蓋	
H	塩ビ桝 90Y 100-150	399	ミカゲ蓋	
I	塩ビ桝 90Y 100-150	516	ミカゲ蓋	

桝の深さは設計GLからの参考値とし、現場にて確認後施工する事。



アロン桝一般部据付要領図

使用上の注意

① 掃除口桝に接続される排水管は、全てＶＰとする。
② 掃除口桝と排水管の接続には、ＶＰ変換ソケットを用いる。
但し、トラップ桝への接続及び掃除口桝に接続される配管口径が５０Φ、ＯＲ７５Φの場合には、
ＶＰ変換ソケットは使用しない。
③ ドロップインバート桝は、使用しない。

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

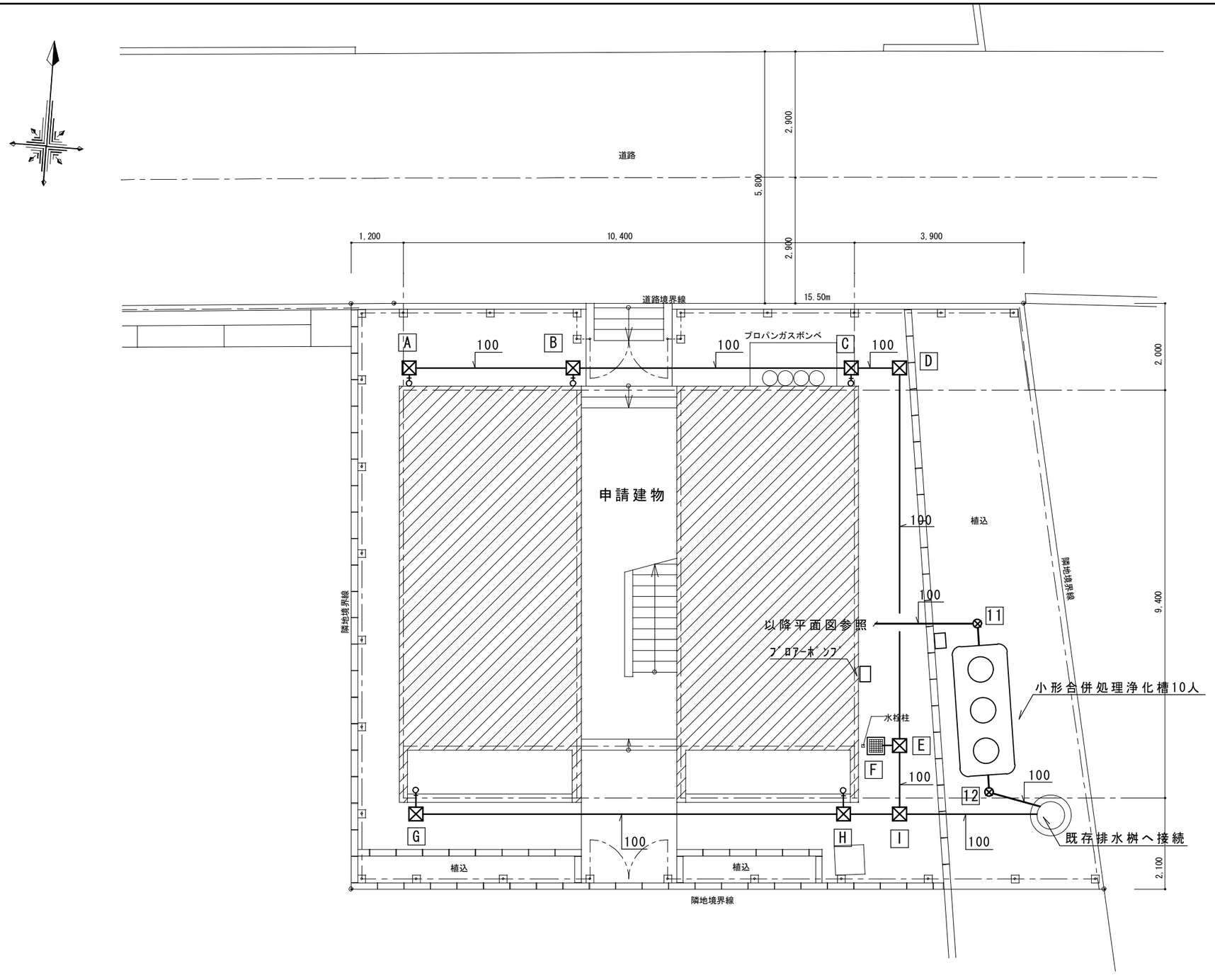
有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

桝リスト

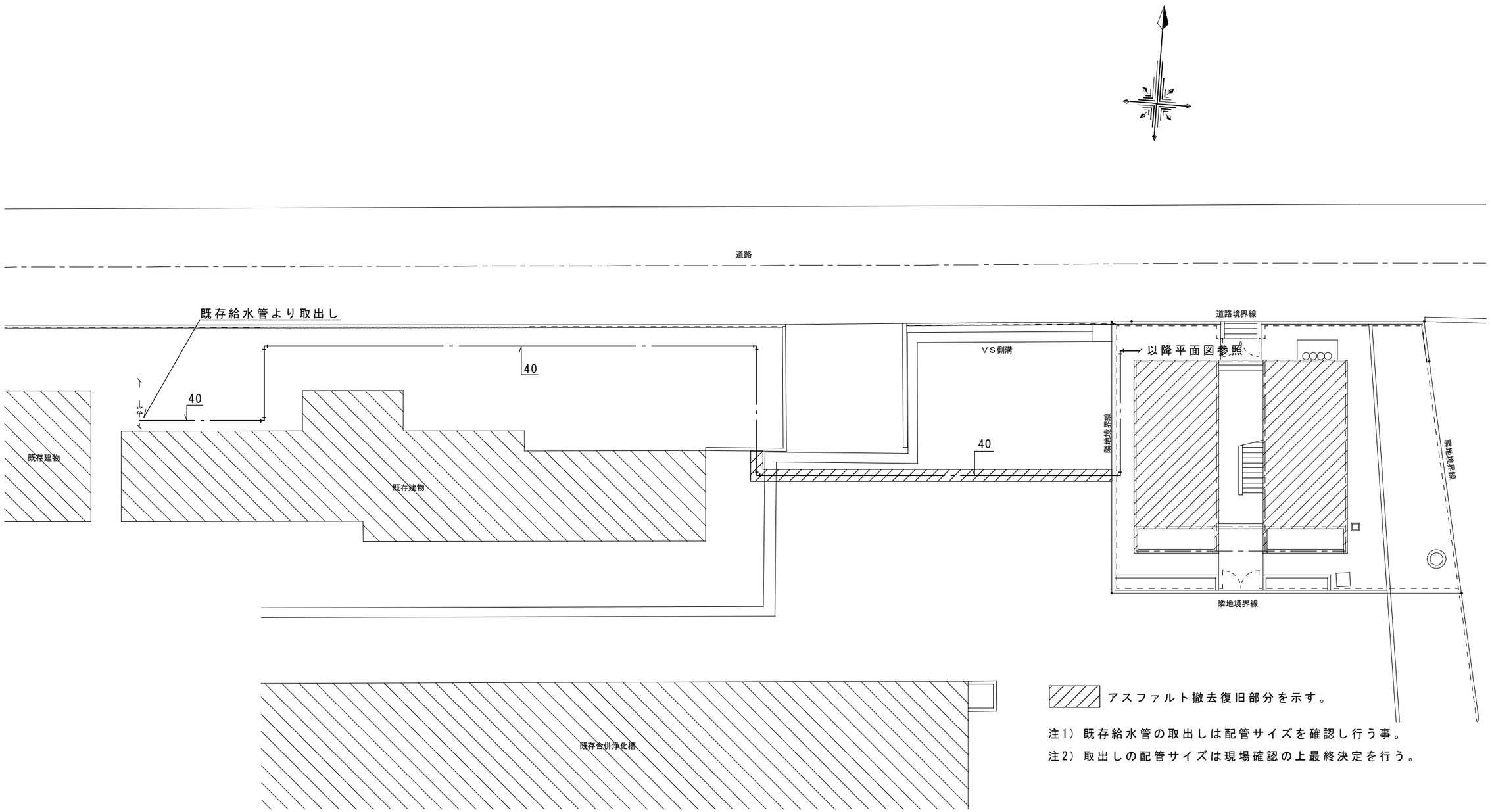
DATE

NO. M－5



配　置　図　　S=1:100

山梨県立北病院医師宿舎新築工事		有限会社 竜巳一級建築設計事務所 〒400−0827 山梨県甲府市蓬沢１丁目１７番２４号 TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400 一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号 一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一	CHECKED	DRAWN		衛生設備配置図　1:100	DATE NO. M − 6



アスファルト撤去復旧部分を示す。

注1）既存給水管の取出しは配管サイズを確認し行う事。

注2）取出しの配管サイズは現場確認の上最終決定を行う。

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

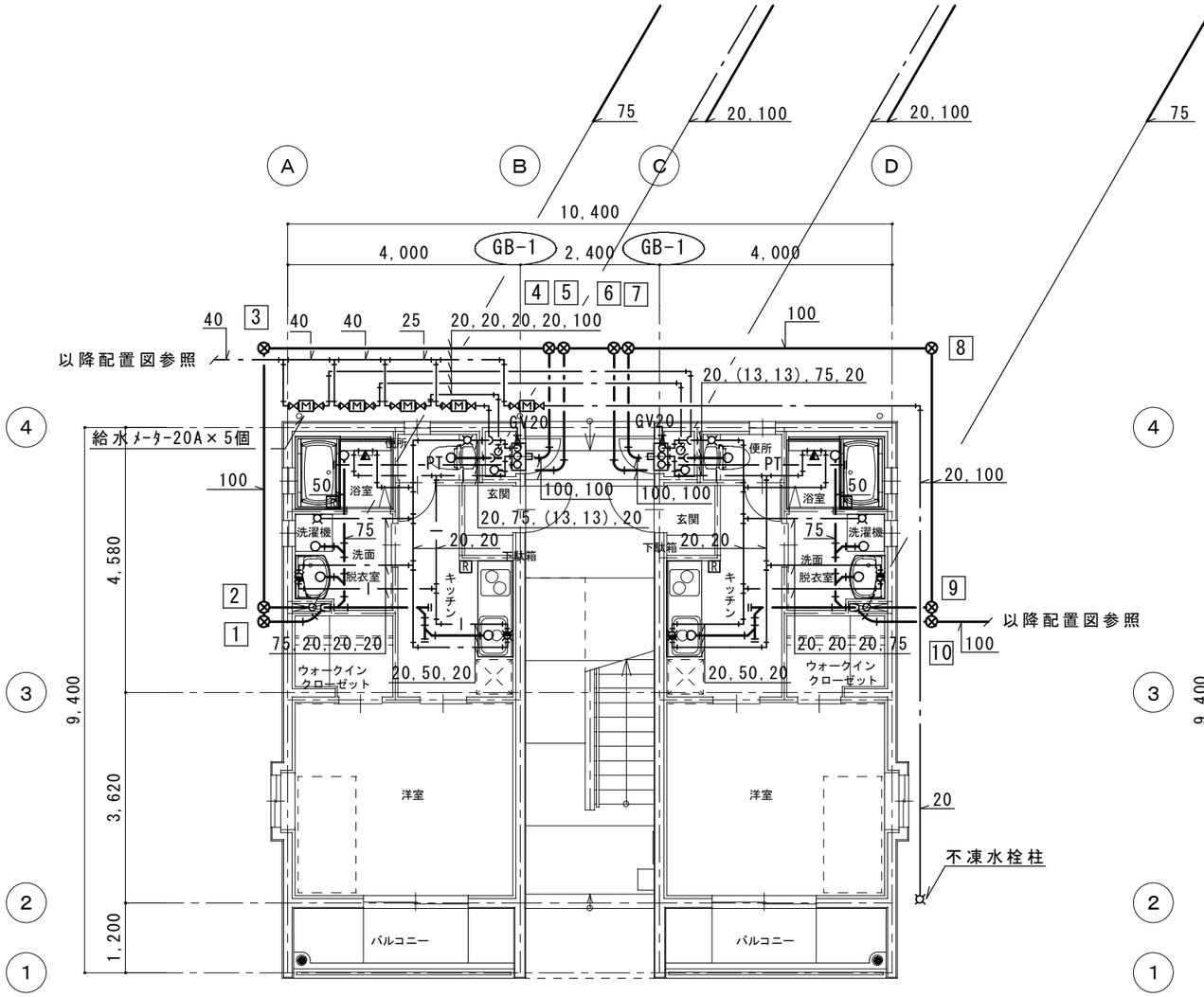
有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400-0827 山梨県甲府市湯沢1丁目17番24号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第1－20603号
一級建築士登録第107852号 雨宮健一

CHECKED | DRAWN

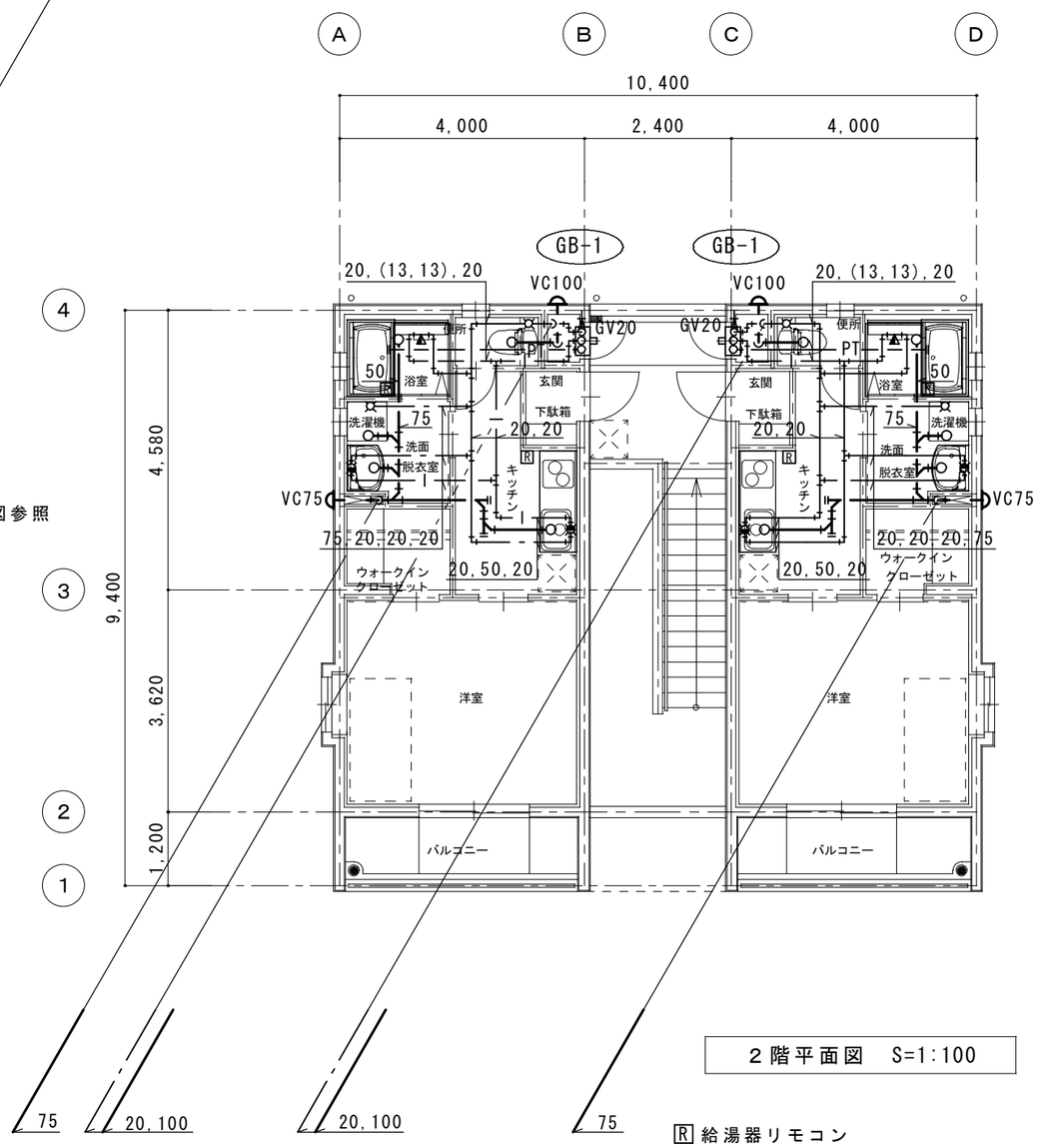
給水設備配置図 1:200

DATE

NO. M－7



1階平面図　S=1:100



2階平面図　S=1:100

R 給湯器リモコン

注1）配管は床上コロガシ配管とする。

注2）給湯器リモコン配線工事は本工事とする。

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400-0827 山梨県甲府市蓬沢1丁目17番24号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第1－20603号
一級建築士登録第107852号　雨宮健一

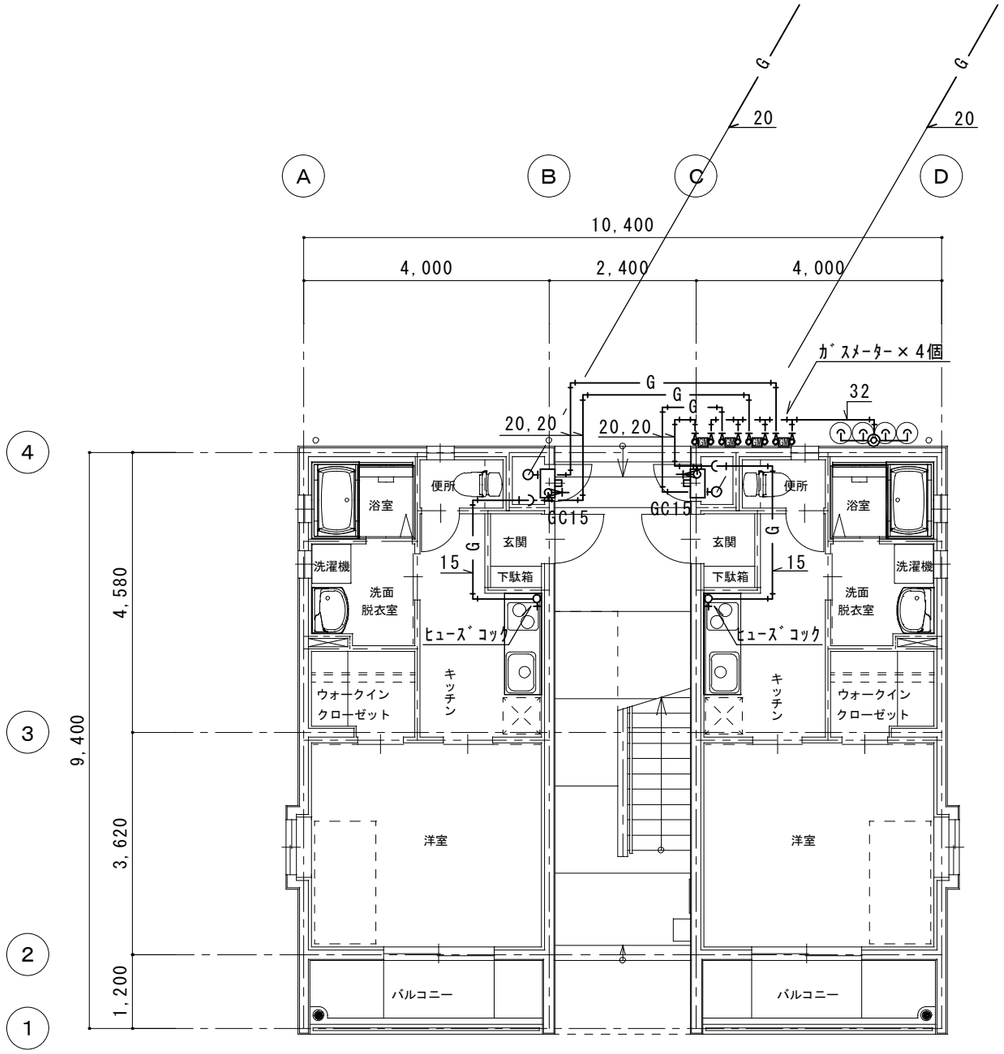
CHECKED

DRAWN

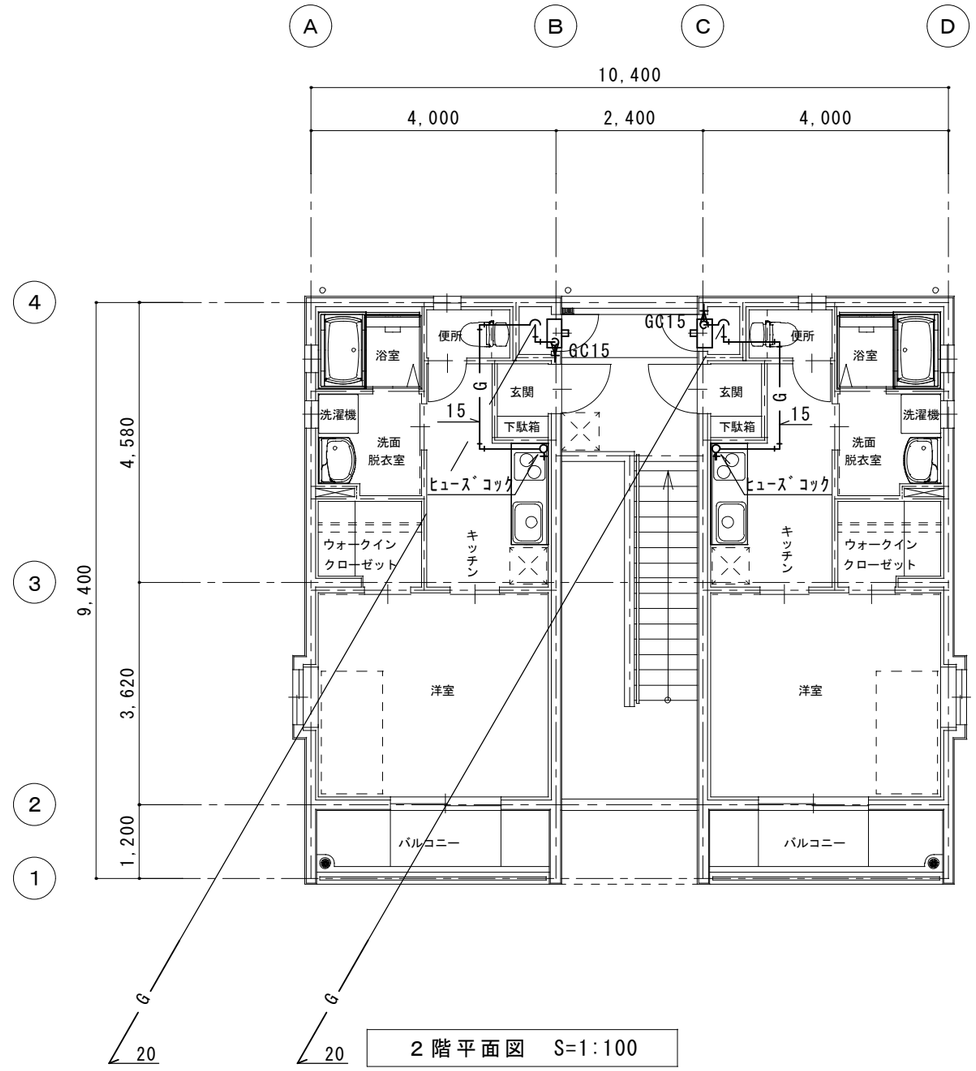
衛生設備平面図　1:100

DATE

NO. M－8



1階平面図　S=1:100



2階平面図　S=1:100

注1）配管は床上コロガシ配管とする。
注2）ガス漏れ警報機はガス会社貸与品とする。

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市湯沢1丁目17番24号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第1−20603号
一級建築士登録第107852号　雨宮健一

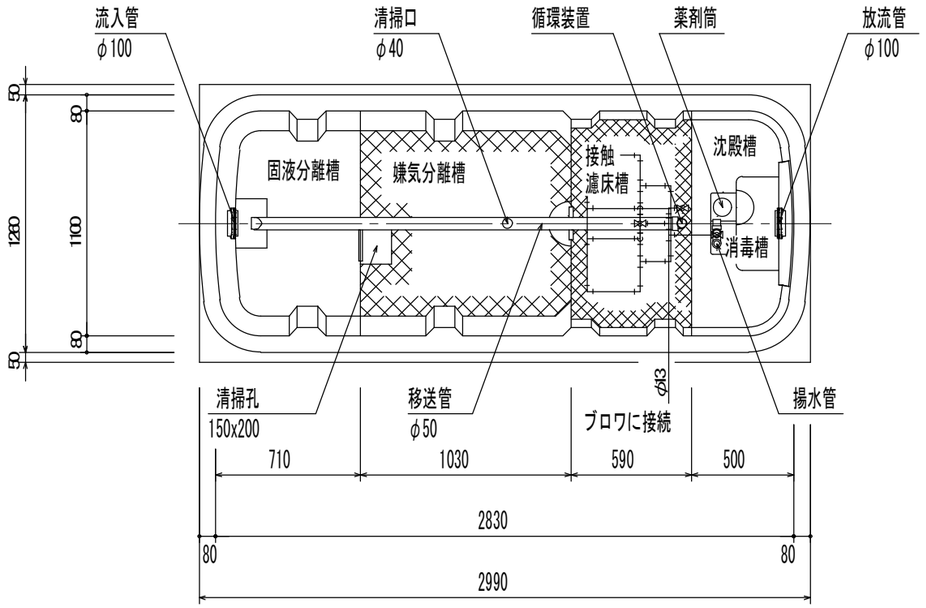
CHECKED

DRAWN

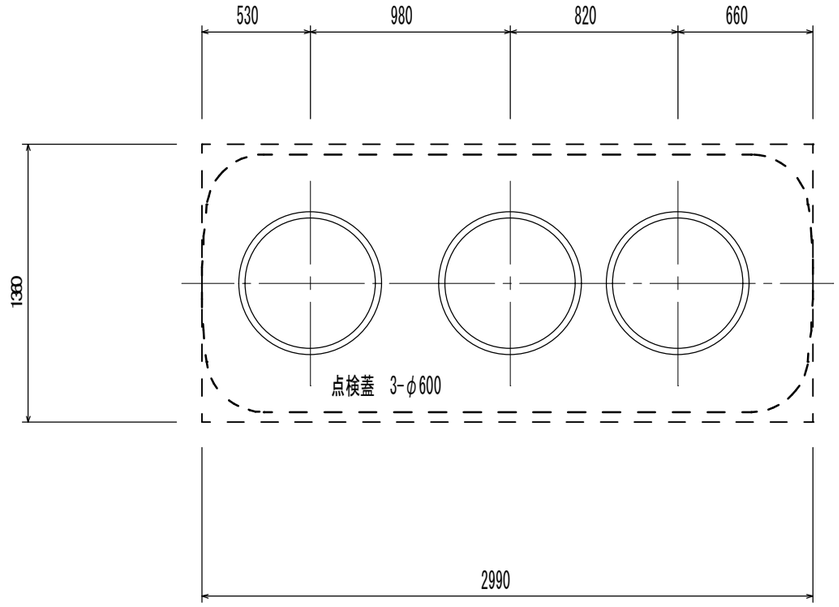
ガス設備平面図　1:100

DATE

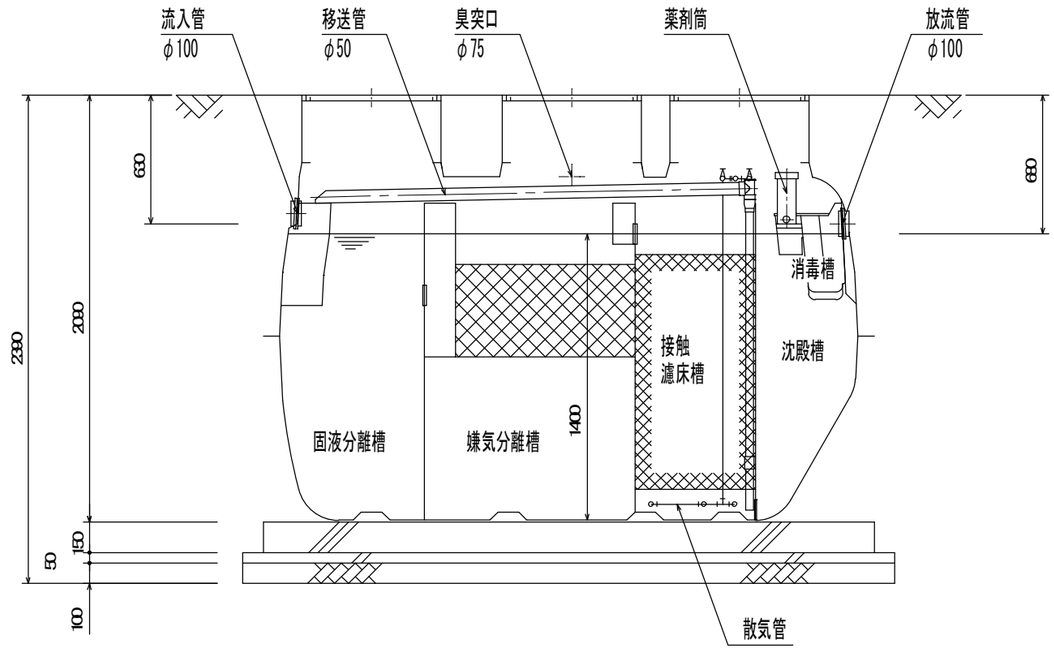
NO. M−9



平 面 図　　S=1/30



スラブ平面図　　S=1/30



断 面 図　　S=1/30

設計仕様

型式	CXN-10		
認定番号	4-10-H-001-2		
適合認定番号	型01CadOa0103951		
処理対象人員	10	人	
日平均汚水量	2.00	m3/日	
流入水水質	BOD	200	mg/L
	T-N	50	mg/L
流出水水質	BOD	20	mg/L
	T-N	20	mg/L
	SS	15	mg/L

槽　名	有効容量(m3)
固液分離槽	0.909
嫌気分離槽	1.397
接触濾床槽	0.841
沈 殿 槽	0.483
消 毒 槽	0.022
槽 容 量	3.652
槽 重 量	270kg

品　名	台数	仕　様	
ブロワ	1	13 A x120/130 L/分 x 15.0 kPa x 95/101W	AHP-120LL

［注 記］開口の表示は内径寸法とする。
流入管底は最深施工時の寸法であり、全高は外寸とする。

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

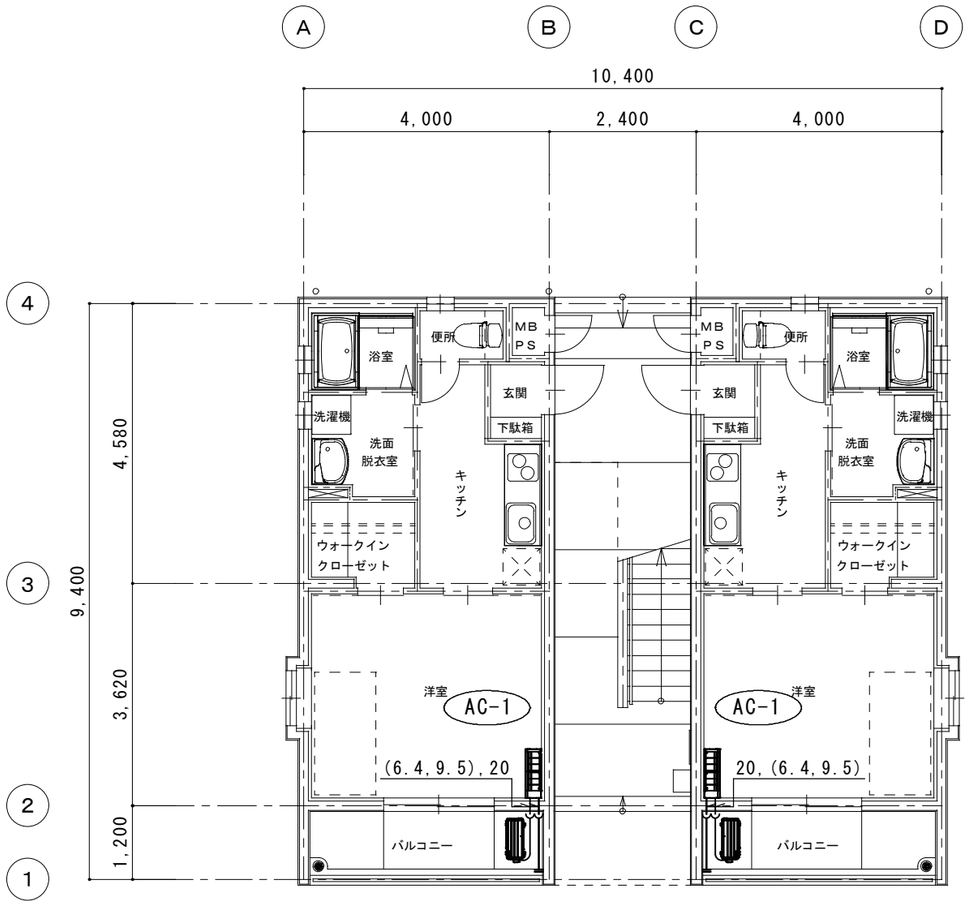
有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市湯沢１丁目１７番２４号
TEL 055（235）4100 FAX 055（227）9400
一級建築士事務所（梨）登録第１−２０６０３号
一級建築士登録第１０７８５２号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

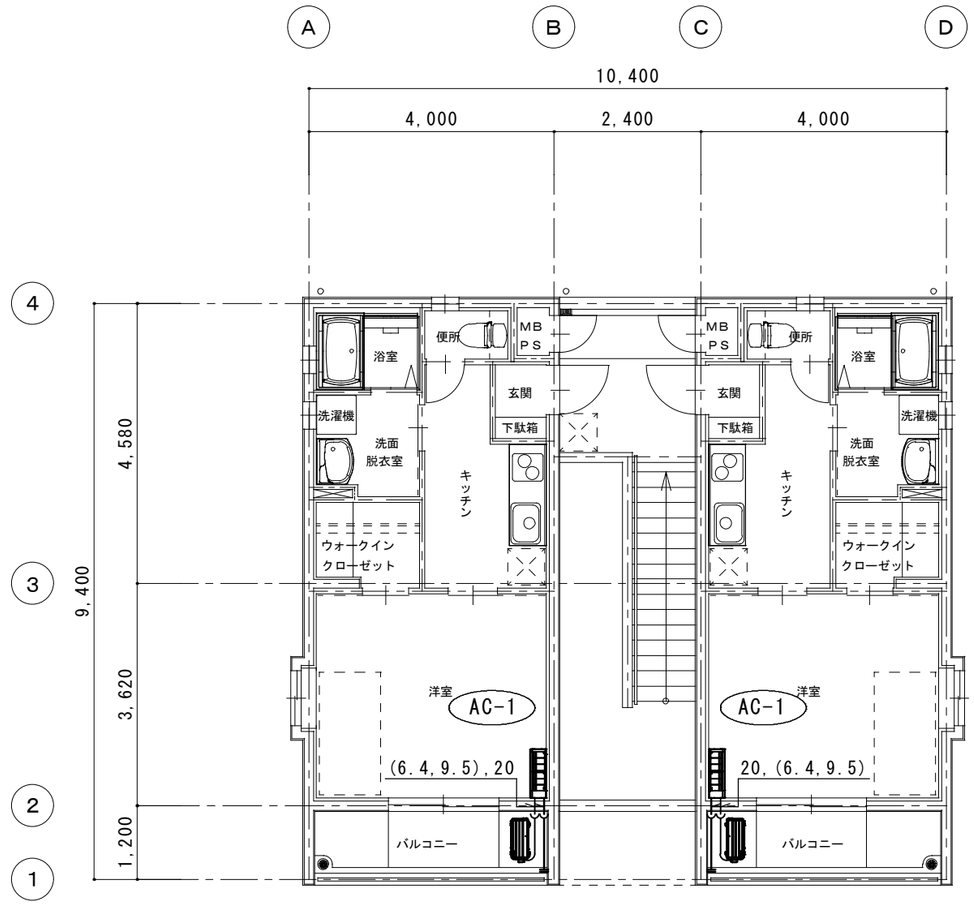
浄化槽設備図　1:30

DATE

NO. M－１０



1階平面図　S=1:100



2階平面図　S=1:100

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市湯沢1丁目17番24号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第1−20603号
一級建築士登録第107852号　雨宮健一

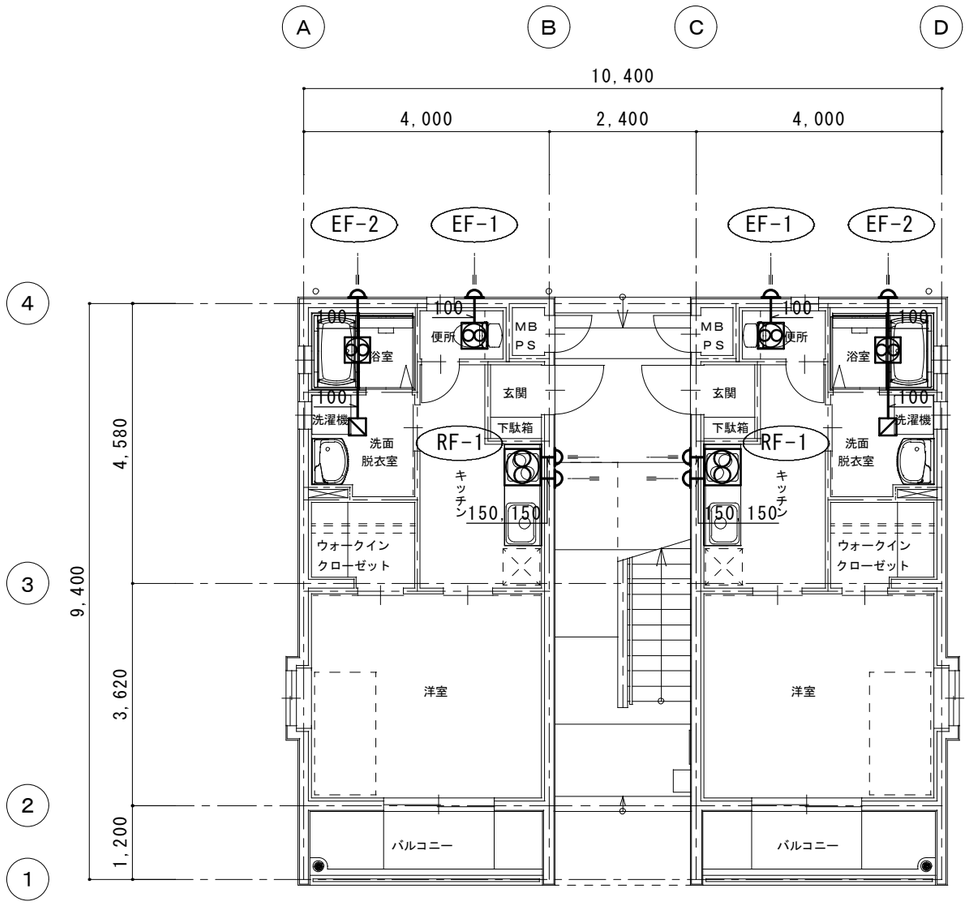
CHECKED

DRAWN

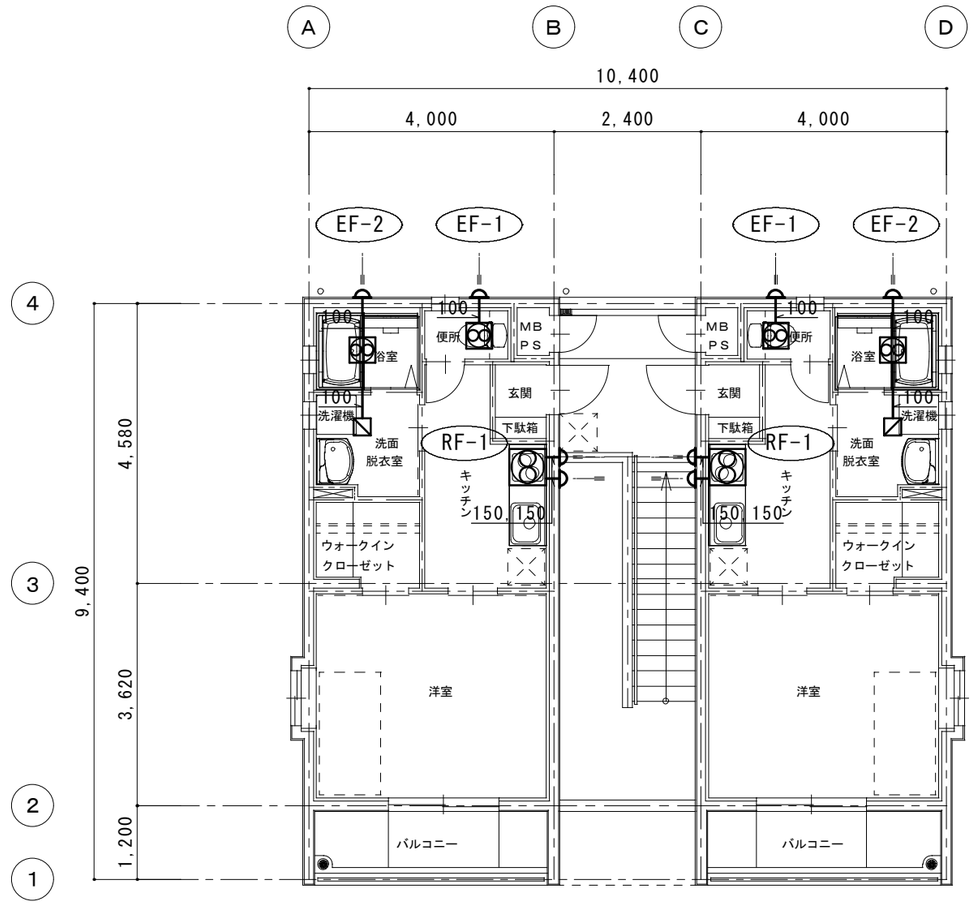
空調設備平面図　1:100

DATE

NO. M−11



1階平面図　S=1:100



2階平面図　S=1:100

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市湯沢1丁目17番24号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第1−20603号
一級建築士登録第107852号　雨宮健一

CHECKED

DRAWN

換気設備平面図　1:100

DATE

NO. M−12

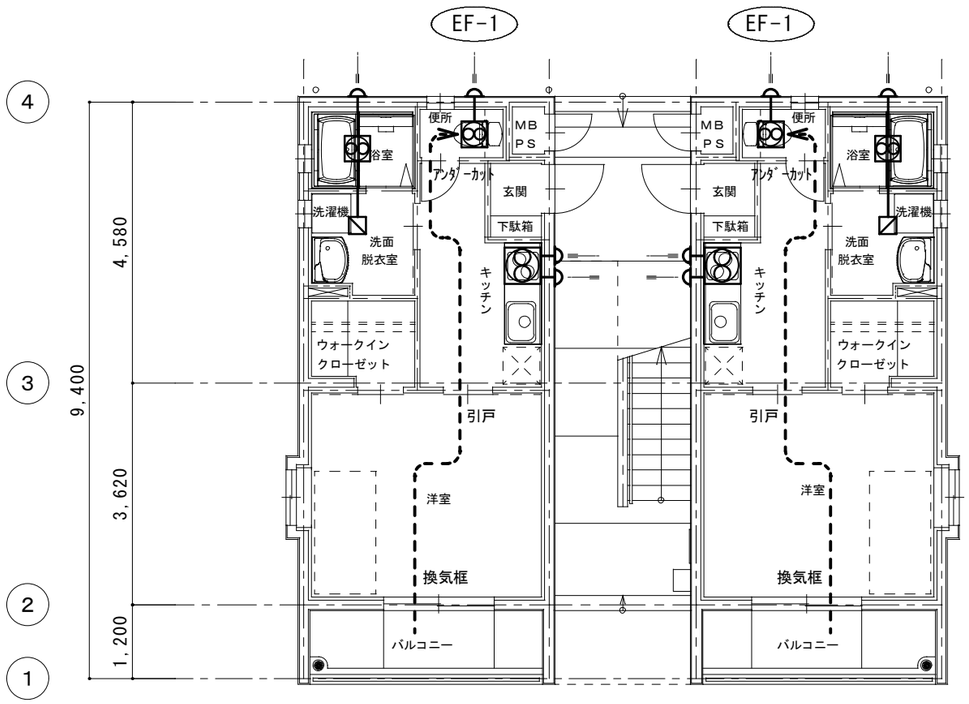
階	室　名	シックハウス換気チェック									
		面積(Af)	天井高	容積	シックハウス対策室容積	換気種別	設計換気量	換気回数 換気量/室容積	判定	機器表記号	型番
		m2	m	m3	m3		CMH	回/h	0.5回/h以上		
1、2階	洋　　室	14.00	2.4	33.60	54.55	3	60	1.0	OK	EF-1	VD-10ZC9
	キッチン・玄関	8.09	2.2	17.80							
	便　　所	1.43	2.2	3.15							

便所

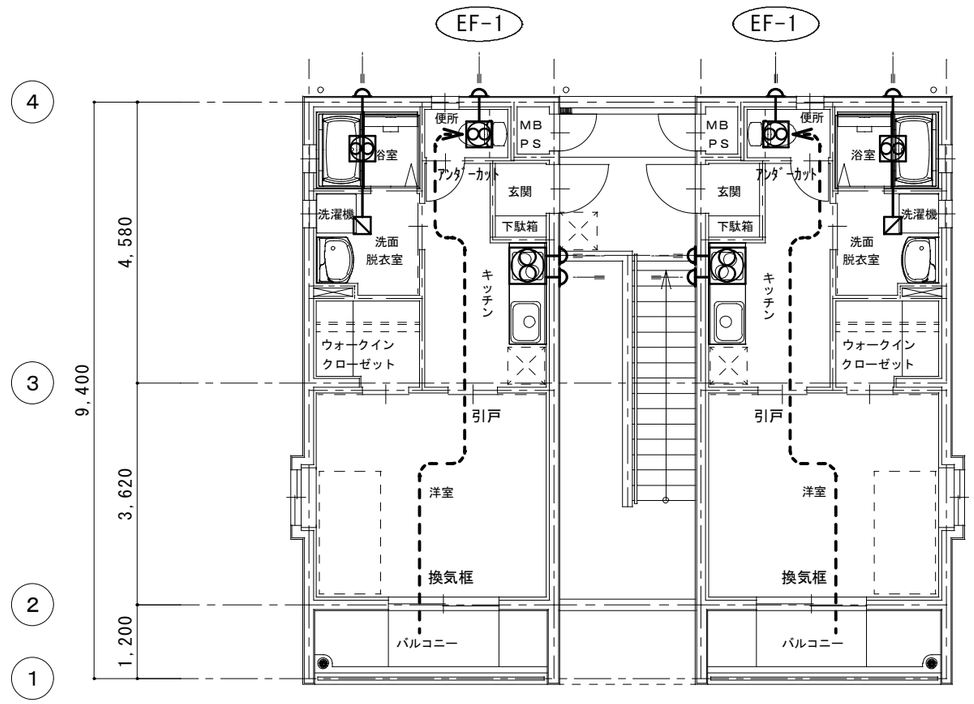
ファン静圧計算
各静圧を
直管　1Pa
エルボ　10Pa
ベントキャップ　10Pa　とすると。
直管　0.5m
エルボ　0ヶ所
ベントキャップ　1ヶ所
静圧＝(0.5m×1Pa)+(0ヶ所×10Pa)+(1ヶ所×10Pa)
＝10.5Pa＜40Pa　(OK)

キッチン

火を使用する室の換気計算	
V=40KQ	V：有効換気量　m3/h
	K：理論排ガス量　KW
	Q：燃料消費量　KW
ｶﾞｽｺﾝﾛ　4.9KW	
V=40×0.93KW×4.9KW	
=182.3m3/h<500m3/h　(OK)	



1階平面図　S=1:100



2階平面図　S=1:100

山梨県立北病院医師宿舎新築工事

有限会社 竜巳一級建築設計事務所
〒400−0827 山梨県甲府市湯沢1丁目17番24号
TEL 055(235)4100 FAX 055(227)9400
一級建築士事務所（梨）登録第1−20603号
一級建築士登録第107852号　雨宮健一

CHECKED　DRAWN

24時間換気平面図 1:100

DATE

NO. M−13